

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第203集

猫田遺跡群 井戸尻遺跡
熊の堂遺跡

長野県佐久市鳴瀬井戸尻・熊の堂遺跡発掘調査報告書

2013.3

佐 久 市
佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第203集

猫田遺跡群 井戸尻遺跡
熊の堂遺跡

長野県佐久市鳴瀬井戸尻・熊の堂遺跡発掘調査報告書

2013.3

佐 久 市
佐久市教育委員会

例 言

- 1 本書は佐久市建設部道路建設課による平成22・23・24年度道路改良事業に伴う猫田遺跡群井戸尻遺跡、熊の堂遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 事業主体者 佐久市建設部道路建設課
- 3 調査主体者 佐久市中込3056 佐久市教育委員会 教育長 土屋 盛夫
- 4 遺跡名及び発掘調査所在地 猫田遺跡群井戸尻遺跡 (N N I)、熊の堂遺跡 (N K D)
佐久市鳴瀬3062番地先から2747-4番地先
- 5 調査担当者 上原 学
- 6 本書の編集・執筆は上原が行った。
- 7 本書及び出土遺物は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。

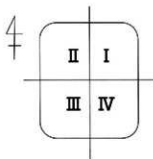
凡 例

- 1 遺構の略称は以下の通りである。
H - 竪穴住居址・住居址 Ta - 竪穴状遺構 D - 土坑 M - 溝跡 P - ビット
- 2 スクリーントーンの表示は以下の通りである。

遺構 - 地山断面  焼土 

遺物 - 須恵器断面  赤色塗彩  灰釉・緑釉  石器使用痕 

- 3 挿図の縮尺は以下の通りである。
遺構 - 竪穴住居址・住居址・竪穴状遺構・溝跡・土坑・ビット 1/80 1/120 1/160
遺物 - 縄文土器・弥生土器・土器・石製品・鉄製品1/4 古銭 1/1
- 4 遺物の写真番号と実測図番号は一致する。
- 5 遺構の標高は各遺構ごとに統一し、水糸高を標高とした。
- 6 調査グリッドは小グリッド4×4m、大グリッド40×40mである。
- 7 遺物表中の [] は推定値、〈 〉 は残存値を表す。
- 8 土層、遺物の色調は「新版・標準土色帖」による。
- 9 遺物の出土地点は、下図の遺構分割によるものである。



目次

巻頭カラー

例言・凡例

目次

第I章 発掘調査の経緯	1
第1節 発掘調査の経緯	1
第2節 調査日誌	2
第3節 調査体制	2
第4節 発見された遺構と遺物	3
第II章 遺跡の環境	3
第1節 自然環境	3
第2節 周辺遺跡	5
第3節 基本層序	8
第III章 猫山遺跡群 井戸尻遺跡	15
第1節 A区	15
第2節 B区	16
(1) 竪穴状遺構	16
(2) 溝跡	18
(3) 土坑	20
(4) ビット	20
(5) 出土遺物	25
(6) 土坑・ビット観察表	27
第3節 C区	28
(1) 竪穴状遺構	28
(2) 住居址	30
(3) 溝跡	31
(4) 土坑	32
(5) ビット	40
(6) 出土遺物	50
(7) 土坑・ビット観察表	51
第IV章 熊の堂遺跡	56
第1節 竪穴住居址	56
第2節 溝跡	74
第3節 土坑	76

写真図版

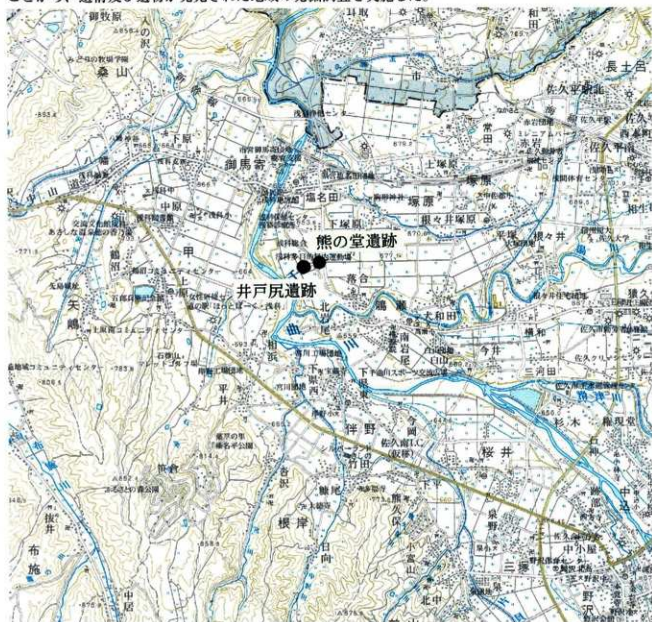
抄録

第1章 発掘調査の経緯

第1節 発掘調査の経緯

猫田遺跡群井戸尻遺跡は、佐久市の鳴瀬地籍に位置する縄文時代から中世の複合遺跡で、千曲川右岸の河岸段丘上、圃場整備された水田地帯に展開する。標高は633～639mを測る。一方、熊の堂遺跡は、井戸尻遺跡のさらに東方、比高差19mを測る一段上の河岸段丘東端に位置する。東には南北方向の低地が存在することから、細長い微高地を形成している。標高は657m内外を測る。

今回、佐久市建設部道路建設課による道路改良工事が行われることとなり、平成22年2月～3月にかけて、平成22年度工事予定地域に所在する猫田遺跡群の試掘調査を実施した。結果、弥生～古墳時代の土器を含む包含層及び中近世の竪穴状遺構などの遺構が発見されたことから、遺跡が存在する地域の発掘調査を猫田遺跡群井戸尻遺跡として実施した。また、東方上段の河岸段丘上に位置する熊の堂遺跡は平成23年5月に平成23年度以降の工事予定地域で試掘調査を実施した。結果、台地端部に近い微高地上から弥生時代の住居址が発見され、東側の低地からは弥生土器を含む包含層が確認されたことから、遺構及び遺物が発見された地域の発掘調査を実施した。



猫田遺跡群井戸尻遺跡・熊の堂遺跡位置図(1:50,000)

第2節 調査H誌

平成21年度

2月16日～2月24日、3月23日 試掘調査。調査の結果、開発地域の一部から遺構・遺物が発見された。文化財保護協議の結果、遺跡の発見された地域の発掘調査を平成22年度に実施する運びとなった。

平成22年度

4月26日～ 重機によるA・B・C区表土除去作業。駐車場造成・ハウス・トイレ設置。
4月30日 発掘調査機材準備・搬入。
5月6日～12月17日 調査員による発掘調査。包含層・遺構掘り下げ・図面作成・写真撮影。
雨天時室内整理作業。
5月13日 A・B区基準杭設定作業。
5月21日 C区基準杭設定作業。
5月11日～平成23年3月31日 井戸尻遺跡室内整理作業。
遺物洗浄・注記・接合・図面修正・写真整理。

平成23年度

5月16日～5月18日 試掘調査。調査の結果、開発地域の一部から弥生時代の竪穴住居址等が発見された。文化財保護協議の結果、遺跡の発見された地域の発掘調査を実施する運びとなった。
8月1日～ 調査区草刈り・機材準備。
8月2日～ 重機による表土除去及び表土搬出作業。駐車場造成・ハウス・トイレ設置。
8月4日 機材搬入。
8月8日～9月22日 調査員による発掘調査。遺構掘り下げ・図面作成・写真撮影。雨天時室内整理作業。
5月11日～平成24年3月30日 井戸尻遺跡・熊の堂遺跡室内整理作業。
図面修正、写真整理、遺物注記・接合・復元・実測、遺構・遺物トレース、遺構・遺物図版作成、遺物観察表作成、割付作成、原稿作成。

平成24年度

4月23日～ 井戸尻遺跡・熊の堂遺跡発掘調査整理作業。
遺物実測、遺物写真撮影、遺物トレース、遺構・遺物図版作成、割付作成、原稿作成、印刷製本。
12月 原稿人稿。
12月～ 校正・遺物・図面整理。

平成25年3月 報告書刊行。

第3節 調査体制

調査受託者

佐久市教育委員会 教育長 土屋盛夫

事務局

社会教育部長 工藤秀康（平成22年度）
伊藤明弘（平成23・24年度）
社会教育部次長 藤牧浩（平成23年度）

文化財課長	森角吉晴（平成22年度） 吉澤隆（平成23・24年度）
文化財調査係長	三石宗一
文化財調査係専門員	林幸彦（～平成23年度） 須藤隆司 小林真寿 羽毛田卓也 富沢一明（平成23年度～） 上原学（平成23年度～）
文化財調査係	並木節子 富沢一明（平成22年度） 上原学（平成22年度） 神津一明（平成23年10月～） 井出泰章（～平成23年9月） 久保浩一郎（平成24年度）
嘱託職員	林幸彦（平成24年度）
調査主任	佐々木宗昭 森泉かよ子
調査担当者	上原学
調査員	浅沼勝男 安藤孝司 江原富子 小幡弘子 風間敏 狩野小百合 木内勇 小井戸秀元 小林百合子 堺益子 清水澄生 清水律子 滝沢三男 田中ひさ子 土屋武士 中嶋フクジ 中條勝良 比田井久美子 日向昭次 広瀬梨恵子 武者幸彦 柳澤孝子 山井重明 横尾敏雄 依川三男 渡辺長子 渡辺学

第4節 発見された遺構と遺物

平成22年度 熊山遺跡群 井戸尻遺跡

遺構	A区	遺物包含層	弥生時代～古墳時代前期	遺物	縄文土器（深鉢） 弥生土器（壺・甕・高坏・器台） 土師器（坏・甕） 須恵器（坏・甕） 陶磁器（擂鉢・皿・碗・内耳土器・ 瓶子・壺・こね鉢） 銅製品（古銭） 鉄製品 石器・石製品（打製・磨製石斧・ 敲石・すり石・搗臼・石製円盤・門石）
	B区	住居址	1軒 不明		
		竪穴状遺構	2棟 中世		
		溝跡	6条 中世		
		土坑	6基 中世		
		ピット	中世		
		遺物包含層	縄文時代中期～平安時代		
	C区	竪穴状遺構	5棟 中世		
		溝跡	2条 中世		
		土坑	95基 中世		
		ピット	中世		

平成23年度 熊の堂遺跡

遺構	竪穴住居址	10軒	弥生時代	遺物	弥生土器（壺・甕・高坏・鉢・甌・蓋） 石器（敲石・すり石） 土製品（紡錘車・土製円盤）
	土坑	2基			
	溝跡	1条	弥生時代		
	遺物包含層	1箇所	弥生時代		

第Ⅱ章 遺跡の環境

第1節 自然環境

佐久地域は、周辺を山地及び台地に囲まれた盆地状を呈し、一般に佐久平と呼ばれ、北には現在も

第2節 周辺遺跡

猫田遺跡群井戸尻遺跡(2)及び熊の堂遺跡(1)周辺に目を向けると、縄文時代から中世に至る幅広い時期の遺跡が所在する。佐久市が作成した遺跡地図では北に屋敷裏遺跡群・下川原遺跡(7)・山王遺跡(8)、東に尻塚遺跡(11)・狐塚古墳・宮の前遺跡・新城遺跡(10)、南に堂畑遺跡・柏田遺跡(13)・北古屋遺跡(18)・岩尾城跡(20)、千曲川対岸の西には倉瀬遺跡(29)・神平遺跡・上ノ山古墳(28)などが所在する。

縄文時代

北方の千曲川河岸段丘右岸の海戸田A遺跡(4)の調査では、千曲川に向かって下がる微段丘斜面から縄文時代中期末～後期前半の集落跡が発見され、柄鏡形敷石住居址5軒、配石遺構8基、土坑20基程度が調査された。また、熊の堂遺跡と同一段丘上の北に位置する舟久保地域では敷石住居址1軒と加曾利・掘之内・安行式などの土器が出土している。さらに、北方の千曲川左岸段丘上の御馬寄古城跡(38)では縄文前期から後期の土器・石器が出土し、集落以外の生活領域が発見された。

弥生時代

遺跡の分布は、千曲川及び湯川を望む河岸段丘端部の台地上に形成される傾向が認められる。周辺の状況として、熊の堂遺跡と同一台地上の北方には原遺跡(3)が所在し、弥生時代後期の住居址2軒が発見され、南側の千曲川右岸河岸段丘端部の大ふけ遺跡(12)からは弥生時代後期～古墳時代前期の周溝墓が発見されている。原遺跡は立地及び発見された遺構の時期から熊の堂遺跡と同一の集落である可能性が窺える。また、熊の堂遺跡から見下ろすことのできる千曲川右岸台地端部に存在する大ふけ遺跡は、集落と墓域といった関係があった可能性も推察される。この他、北方の御馬寄古城跡(38)では残存状態は不良であるが、堅穴状遺構3基が発見され、後期箱清水期の土器が出土し、東方の湯川右岸河岸段丘上に位置する川原端遺跡では中期～古墳時代初頭の住居址13軒が調査されている。

古墳時代

古墳時代になると、馬の飼育が開始され、後に千曲川対岸の西方である御牧の台地上では信濃国最大級の牧が形成されて行く。この時代も千曲川及び湯川の河岸段丘上に集落が形成され、遺構が近接あるいは密集して存在する傾向が認められる。

北方の千曲川右岸の段丘上に位置する砂原遺跡(9)では、カマド導入以前である4世紀代の1軒及び7世紀代の4軒の住居址が切り合うように発見され、1m以上の砂層に覆われていた。千曲川による洪水が関係していると思われる。代表的な水害として平安時代の仁和4年(888年)信濃国6郡に被害をもたらした仁和の水害が古文書に見受けられ、砂原遺跡の砂層堆積に影響を及ぼした可能性が考えられている。また、北方の海戸田A遺跡(4)では、千曲川右岸河岸段丘の平坦面から斜面にかけて前期の住居址3軒が近接して発見されている。さらに、東方の川原端遺跡では後期の堅穴住居址40軒以上が湯川河岸段丘上の狭い自然堤防上に密集して集落を形成していた。この時代の集落は河川の河岸段丘上端部に集落を形成する傾向が見受けられる。

近隣地域には点在するように、北方に原古墳(40)、東に狐塚古墳、道見塚古墳、千曲川対岸の河岸段丘端部に上平塚古墳、上ノ山古墳(28)が存在するが、原古墳は現在消滅し、上平塚古墳、上ノ山古墳は半壊状態となっている。調査を実施した古墳としては、距離は離れるが北北東に位置する藤塚古墳群で、平成3・4年に4基の調査が行われている。

奈良・平安時代

古墳時代も終わりに近づくと石附窯跡(37)など佐久地域でも須恵器の生産が開始される。奈良・平安時代になると盛んになり、千曲川対岸の御牧原台地や蓼科山から延びる舌状台地先端付近の斜面から打越窯跡・前林窯跡・権現山窯跡・柳沢窯跡・須窯窯跡群などの須恵器窯跡が発見されている。

集落では北方の砂原遺跡(39)で奈良・平安時代の住居址1軒が、東方の寺中遺跡(24)では調査面積

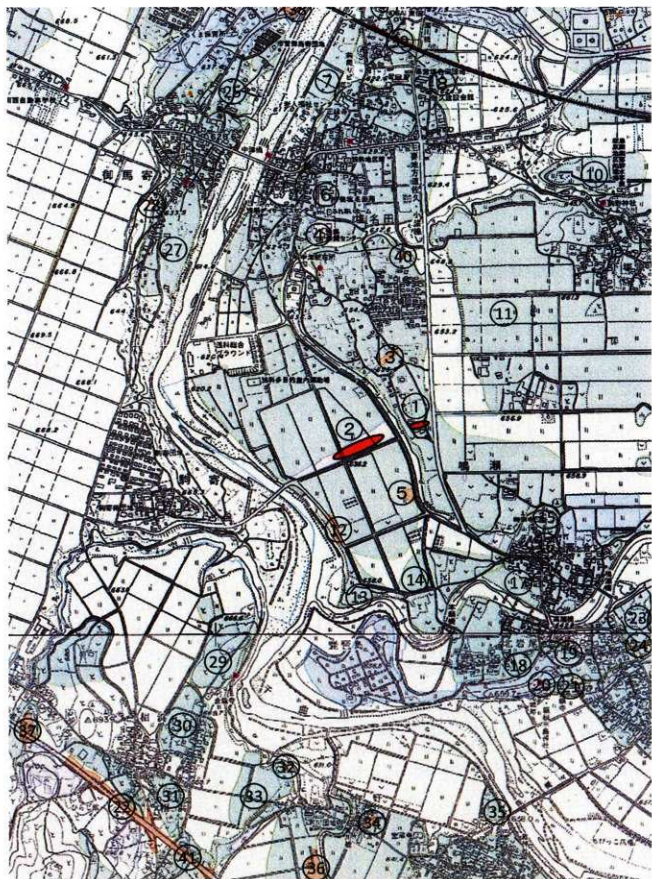
は僅かであったが平安時代の住居址1軒が発見されている。また、北方の千曲川右岸河岸段丘上の海戸川A遺跡(4)では9世紀後葉～10世紀前葉の住居址3軒が発見されている。古墳時代のように遺跡が密集する様子は認められず、小規模な集まりが広範囲にわたり存在しているようである。

中世・近世

北方の御馬寄古城跡(38)では堅穴状遺構が発見され、床面から土鍋・土師質土器皿が出土している。南方には1478年大井行親が築城した岩尾城が所在する。現在も、本郭から東に向かう二の郭・三の郭及び二ヶ月堀、台曲輪、控曲輪、堀切等を認めることができ、県指定史跡となっている。

No.	遺跡名	遺跡番号	所在地	旧	縄	弥	古	中	近	備考
1	猿の穴遺跡	78	佐久市鳴瀬字部の堂			○				2011 (H23) 調査 佐久市第203集
2	篠田遺跡群井戸尻遺跡	75	佐久市鳴瀬字篠田		○	○	○	○		2010 (H22) 調査 佐久市第203集
3	塚遺跡	78	塩名田字入道			○				2000 (H12) 調査 浅科村第13集
4	海戸田A遺跡	816	塩名山甲		○	○	○			1998 (H10) 調査 浅科村第14集
5	瀬田遺跡	75	鳴瀬字瀬田		○	○	○			1975 (S50) 調査 佐久市 細田
6	塚遺跡群	816	塩名山字塚遺跡					○		
7	下川原遺跡	815	塩名山字下川原					○		
8	山手遺跡	814	塩名山字山王・初坪					○		
9	砂原遺跡	813	塩名山字砂原				○	○		1991 (H3) 調査 浅科村第6集
10	新城遺跡	80	塚原字新城他		○	○				
11	尾塚遺跡群	79	鳴瀬字尾塚		○	○				
12	大ふけ遺跡	75	鳴瀬字大ふけ		○	○	○			1990 (H2) 調査 佐久市第4集
13	船田遺跡	202	鳴瀬字船田					○		
14	磐畑遺跡	203	鳴瀬字磐畑他			○	○			
15	落合神明館跡	237	鳴瀬字神明					○		
16	鳴瀬神明遺跡	224	鳴瀬字神明		○	○	○			
17	落合居屋敷遺跡	204	鳴瀬字居屋敷		○	○	○			
18	下北古屋遺跡	207	鳴瀬下北古屋・北田							
19	鳴瀬宮の前遺跡	206	鳴瀬字宮の前他		○	○	○			
20	岩尾城跡	206	鳴瀬字城跡・宮の前					○		県指定史跡
21	鳴瀬中屋敷遺跡群	229	鳴瀬字中屋敷・殿中・細越・寺中			○		○		
22	立石遺跡	213	根岸字立石				○	○		1981 (S56) 調査 佐久市「小金平・立石」
23	上平遺跡群	228	鳴瀬字上平・十二山・寺中		○	○	○			
24	上平遺跡群寺中遺跡	228	鳴瀬字寺中			○	○			1996 (H7) 調査 佐久市第51集
25	野野遺跡	822	御馬寄字野野					○		
26	上平塚古墳	824	御馬寄字上平							
27	神平遺跡	825	御馬寄字神平		○			○		
28	上ノ山古墳	826	御馬寄字上ノ山					○		
29	倉瀬遺跡	209	伴野字倉瀬		○					
30	東福遺跡	210	伴野字東福					○		
31	馬場平遺跡	214	根岸字馬場平			○				
32	大の雨塚古墳	223	伴野字青松坂216				○			
33	青松坂遺跡	218	伴野字青松坂					○		
34	依石遺跡	219	伴野字依石							1978 (S53) 調査 佐久考古学会報NO4
35	東窪井)遺跡	222	伴野字東窪井戸			○		○		
36	舞台場遺跡	220	伴野1892-1.2・1897-1他		○	○				1981 (S56) 調査 佐久市「舞台場」
37	石附畑跡群Ⅲ	212	根岸字炭塚				○	○		1981 (S56) 調査 佐久市第3集
38	御馬寄古城跡	820	御馬寄字山中島		○				○	1983 (H5) 調査 浅科村第9集 「御馬寄古城跡」
39	砂原遺跡	813	塩名山字砂原		○	○	○	○		1994 (H6) 調査 長野県縄文文化財センター 第30集
40	原古墳	817	塩名山字原				○			沼城
41	小金平遺跡	216	根岸字小金平		○	○	○	○		1982 (S57) 調査 佐久市「小金平・立石」

周辺遺跡表



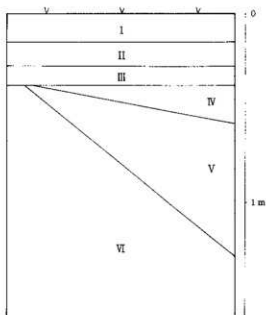
馬辺遺跡位置図 (1:14,000)

第3節 基本層序

新田遺跡群井戸尻遺跡と熊の堂遺跡にはおよそ19mの比高差が認められ、立地条件から基本層序にも違いが認められる。低位段丘上に位置する井戸尻遺跡周辺は基本的には河川の氾濫源沖積地であり、砂礫層、沖積粘土層、シルト層等の河川堆積物が交互に厚く堆積している。これに対して一段上の台地端部に位置する熊の堂遺跡付近は、東に低地が存在することによって南北方向に細長い台地を形成しており、板状に剥離する軟質の基盤層直上に黄褐色ロームがおよそ50cmの厚みで堆積し、直上を耕作土が覆うといった状況であった。各遺跡の層序は、以下のとおりである。

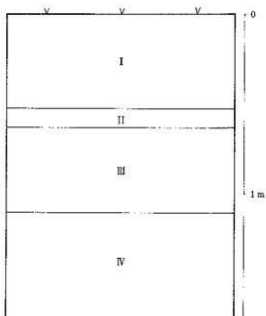
猫田遺跡群 井戸尻遺跡

- I層は厚さ10～20cmを測る褐色土の水田耕作土上層である。
- II層は厚さ10～15cmを測る褐灰色土の水田耕作上下層である。
- III層は厚さ10cm内外を測る赤褐色土の水田床土である。
- IV層は厚さ10～20cmを測る明褐色シルトで、B・C区の遺構確認面となる。
- V層は10～90cmを測る黒色土で、縄文時代～古墳時代前期の包含層である。A・B区の西側・C区東端に堆積が認められた。
- VI層は明褐色土の砂礫層である。薄い砂層・砂礫層・シルトが交互に厚く堆積している。
- IV・V層の堆積が認められないC区の一部地域ではこの上面が遺構確認面となる。

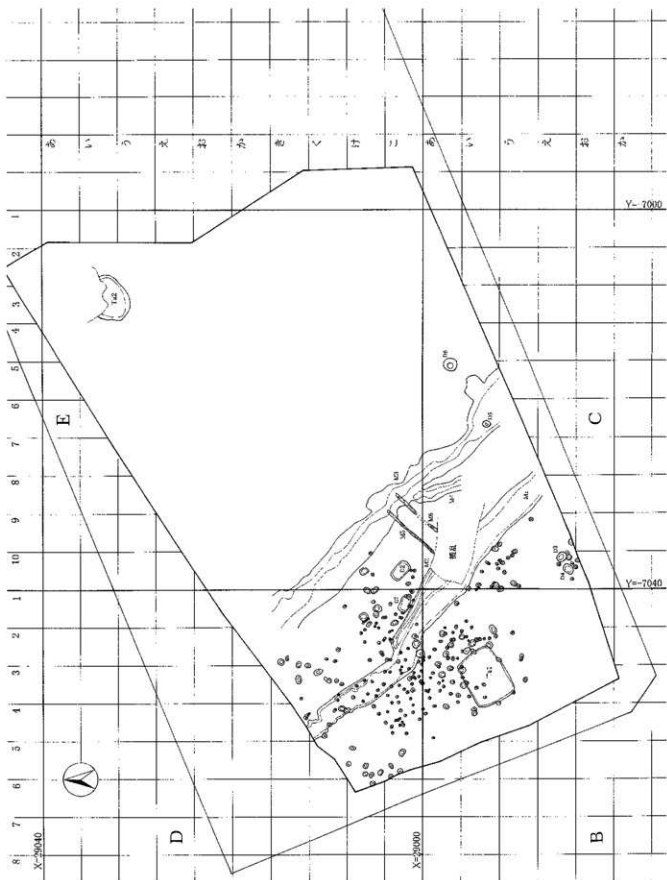


熊の堂遺跡

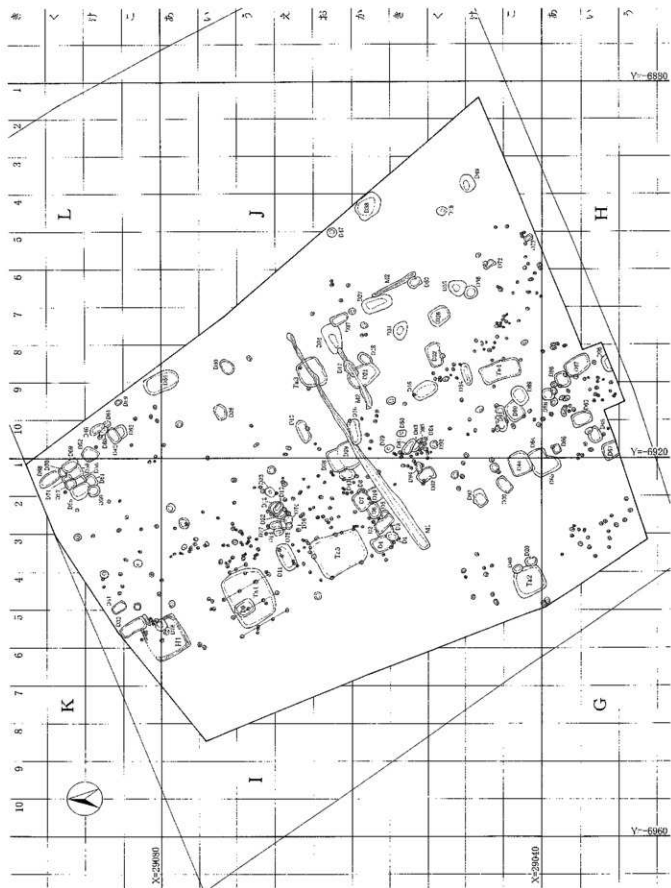
- I層は厚さ50cmを測る黒褐色土の耕作土である。
- II層は耕作土とロームの中間に位置する漸位層である。下層で遺構の存在が僅かに認められるが不明瞭である。
- III層は層厚40～50cmを測る黄褐色ロームで、この上面で遺構の存在が明確に認められる。今回は、基本的にIII層上面で遺構の確認を実施した。
- IV層は薄く板状に剥離する性質を持ったやや軟質の岩盤で、本遺跡周辺の基盤層である。住居地の床面は岩盤層を平らにし、床として利用していた。柱穴は基盤層を掘り込んでいる。



基本層序模式図



井戸尻遺跡B区 遺構配置図 (1:400)

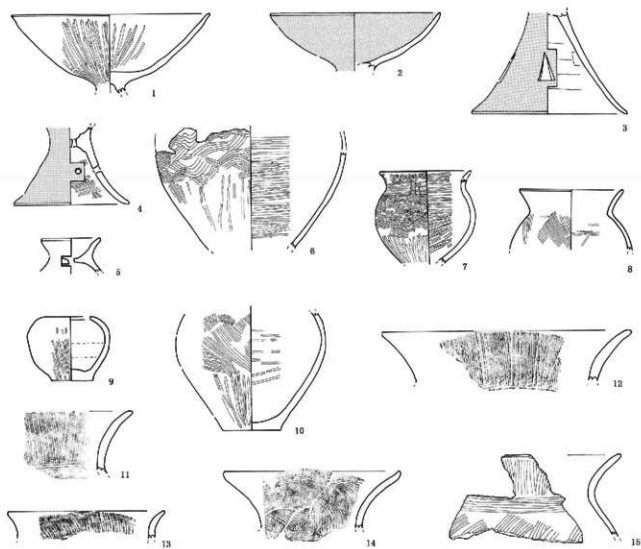


井戸尻遺跡C区 遺構配置図 (1:400)

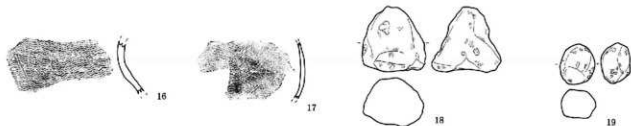
第三章 猫田遺跡群 井戸尻遺跡

第1節 A区

試掘調査の結果、千曲川右岸第一段丘周辺の基本層序は水田床土、シルト層、厚い砂礫層であることが確認されたが、一部地域のシルト質堆積土直下から、南北方向の低地帯と思われる土器を含む黒色土が確認されたため、A区として調査を実施した。堆積状況は、上層に層厚10~20cmを測る褐色土の水田耕作土、層厚10~15cmを測る褐灰色、赤褐色の水田床土がほぼ水平に堆積しており直下に明褐色のシルト質土が10~20cmの厚みで堆積している。シルト直下に黒色土の堆積が認められ、調査区東端から始まり、西に向かって徐々に厚みを増し、北壁部のもっとも厚い西端部で約90cmを測る。黒色土直下には砂礫主体の明褐色土が堆積している。黒色土の検出面付近である上層からは古墳時代初頭と思われる土器が、黒色土中・下層からは弥生時代後期と考えられる土器が出土した。いずれも表面が摩耗気味の土器であった。黒色帯南方延長線上付近の段丘端で道路改良に伴い調査が行われた大ふけ遺跡からも、弥生時代後期~古墳時代前期の周溝墓が発見されており関係が窺われる。なお、本黒色帯から遺構と思われる掘り込みは確認されなかった。本黒色帯は東から西方向に緩やかに傾斜する斜面地又は谷状地形に周囲から土砂が流入し形成された遺物包含層と考えられる。



A区遺物実測図(1)



A区遺物実測図(2)

番号	品名	形状	口径cm	底径cm	厚みcm	調査地	調査者	調査年-期	備考	
1	弥生土器	高杯	12.6	—	0.30	内野前ヘラミダキ	内野孝純	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
2	弥生土器	高杯	17.6	—	0.11	内野前赤色塗彩	渡辺や幸純	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
3	弥生土器	高杯	—	16.1	0.30	内野赤色塗彩	山越かしら乳あり	西野ハナミダキ	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土
4	弥生土器	高杯	—	12.1	0.20	内野赤色塗彩	山越かしら乳あり	西野ハナミダキ	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土
5	弥生土器	甕	フタミ径4.1	孔径0.6	0.34	フタミ塚山腰(乳)あり	渡辺幸純	フタミ塚山腰	外野73727に似る褐色土器土片出土	
6	弥生土器	甕	—	—	0.24	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
7	弥生土器	甕	9.3	—	0.8	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
8	土器部?	甕	13.6	—	0.40	外野前1号	内野ミダキ	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
9	土器部?	甕	1.8	4.3	0.8	外野前1号	ミダキ	30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
10	弥生土器	甕	—	6	0.24	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
11	土器部?	甕	—	—	0.60	13区外野前塚遺文	内野前1号	13区	外野73704に似る褐色土器土片出土	
12	土器部?	甕	15.6	—	0.30	13区外野前塚遺文	内野前1号	13区	外野73704に似る褐色土器土片出土	
13	土器部?	甕	16.2	—	0.20	13区外野前塚遺文	内野前1号	13区	外野73704に似る褐色土器土片出土	
14	弥生土器	甕	18.2	—	0.6	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
15	土器部?	甕	—	—	0.27	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
16	弥生土器	甕	—	—	0.30	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
17	弥生土器	甕	—	—	0.20	外野前1号	宇野藤雄	昭和30	外野73704に似る褐色土器土片出土	
番号	品名	形状	最大径(cm)	最大径(cm)	最大径(cm)	調査地	調査者	調査年-期	備考	
18	石器	磨石製すり石	6.9	6.6	7	全帯にすり石	—	737	黒色土器土片	
19	石器	磨石製すり石	4.3	3.9	3	全帯にすり石	—	1041	黒色土器土片	

A区遺物観察表

第2節 B区

以前は東から千曲川に向かう緩やかな傾斜地であったと思われる、右岸第1段丘上の中央付近に位置する。試掘調査によって土坑・ピット及び土器が発見されたことからB区として調査を実施した。遺構の密集する西側の堆積状況は、上層から水田床土、白色粘土層、中世から近世の生活面及び奈良平安時代の包含層と考えられるシルト層、縄文から弥生時代の遺物を含む黒色帯が確認できた。調査は中世と思われる生活面であるシルト層上面から実施した。

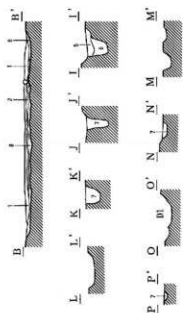
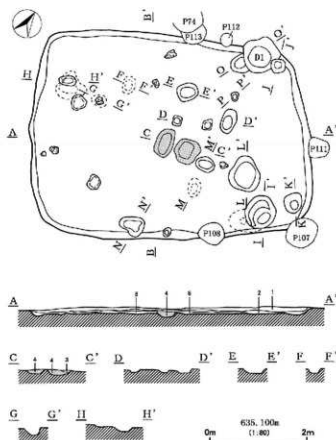
シルト層は薄い砂礫層に覆われた部分も多く、以前からの段丘一帯は水害に見舞われた地域であったことが窺われた。シルト層上面からは住居と思われる竪穴状遺構、土坑、ピット、南北方向の溝跡(流路)が発見された。中世面調査終了後、シルト及び黒色土を掘り下げた結果、上層シルト内から奈良・平安時代の土器・須器が、直下の黒色土及び溝跡覆土内から弥生土器、さらに下層の黒色土内から縄文時代中期・後期の土器が出土した。それぞれの時代の遺構は確認できなかった。西側のA区同様、旧谷状地形に長い年月の間周囲から土砂が流れ込み堆積した遺物包含層と考えられる。また、水田面から砂礫層に至る厚みは調査区東端が40cm、西側は1.2m以上であった。東側は遺構が希薄であることから、斜面上部にあたる東側は、圃場整備によって遺構面が削り取られた可能性が考えられる。

(1) 竪穴状遺構

Ta1号竪穴状遺構

遺構はB-1-3グリッドに位置する。規模は長軸5.6m、短軸4.2m、検出面から床面までは最大で13cmを測る。平面形態は長方形である。床面には硬質面が存在する。ピットは床面及び壁際から確認できた。主柱穴と断定できるピットは認められなかった。床面中央付近に炉と考えられる焼土が

堆積した窪みが並列して2個存在した。遺構中央に炉が設置されていることから住居としての性格を持つ堅穴状遺構と考えられる。

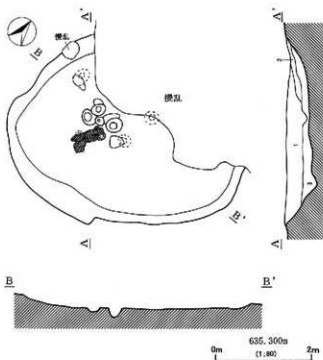


- 1 暗褐色土 (7.5YR2/3) やや砂質。炭化物含む。
- 2 暗褐色土 (7.5YR2/2) 炭化物・焼土多く含む。
- 3 黒色土 (7.5YR2/1) 炭化層。
- 4 明赤褐色土 (2.5YR5/5) 焼土層。
- 5 暗褐色土 (7.5YR3/4) 砂質。焼土・炭化物含む。
- 6 暗褐色土 (7.5YR3/4) 焼土・炭化物多い。
- 7 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂質。しまりなし。
- 8 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂質。炭化物・焼土少量。

B区Ta1号堅穴状遺構実測図

Ta2号堅穴状遺構

遺構はE-1-3グリッドに位置し、北側の約半分は近年の掘削によって破壊されている。調査規模は長軸である東西方向が4.8m、北側を破壊された南北方向である短軸の最大が2.4m、検出面から床面までの深さは最大35cmを測る。平面形態はやや不整の楕円状を呈する。壁面はすり鉢式に緩やかな傾斜で床面に至る。当初は確認面での形態から大型の井戸又は土坑と考えられたが、掘り込みが浅く、底面に平坦な硬質面を持ち、ピット・炭化材が確認されたことから住居としての性格を持つ堅穴状遺構とした。



- 1 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂質。砂・炭化物含む。
- 2 黒褐色土 (7.5YR2/2) 粘土質。炭化物多い。
- 3 暗褐色土 (7.5YR4/2) 粘土層 (磁方)。

B区Ta2号堅穴状遺構実測図

(2) 溝跡 (流路)

M1号溝跡

遺構はC-う-8グリッドからD-く-4グリッドにかけて存在し、確認面上で多数のピットに切れ、調査区内でM2と合流する。遺構の向きは南北方向からおよそ48°西に振れた方向で調査区内を貫流している。調査規模は長さ34.4m、確認面上での幅1.6m~3.2m、底幅0.9m~3.1mを測る。

遺物は土師器・須恵器の破片が出土した。縄文・弥生土器が含まれる黒色土に形成されていることから弥生時代以降の流路と考えられる。

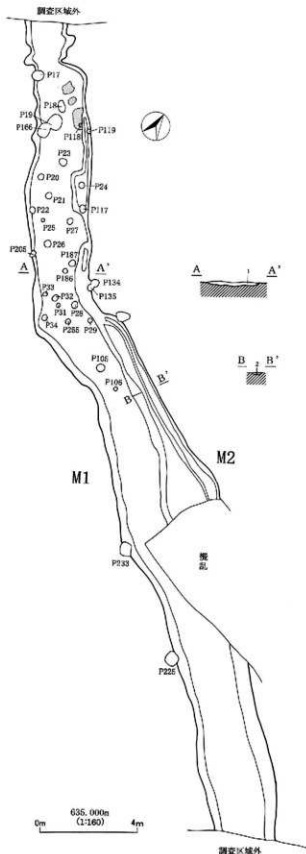
M2号溝跡

遺構はC-あ-10グリッドからD-こ-2グリッドにかけて存在する。M1に並走し、途中で合流する。南側は攪乱中で消滅する。規模は長さ9.2m、確認面上での幅32cm~72cm、底幅15cm~40cm、検出面から床面までの深さは10cmを測る。

遺物は出土しなかった。

M3号溝跡

遺構はC-い-5グリッドからD-き-1グリッドにかけて存在する。南方向は調査区域外に続くと思われるが、北側はM4と途中で合流した後、共に消滅する。遺構の向きは南北方向からおよそ46°西に振れる。調査規模は長さ32.8m、幅は確認面上で2.0m~4.0m、底幅1.0m~3.2m、深さは確認面から最大65cmを測る。遺物は底に堆積した砂礫層内から磨耗した弥生土器が、上層から奈良・平安時代の須恵器片が出土した。時期は下層から弥生土器が、上層から須恵器が出土していることから弥生時代から奈良平安時代には既に存在していた流路と考えられる。



- 1 黒褐色土 (7.5YR3/2) 砂質。シトリアンを含む。
- 2 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂土。

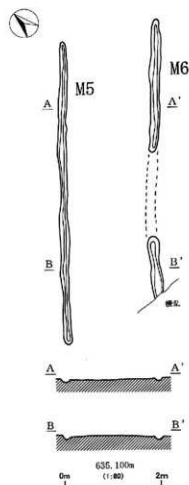
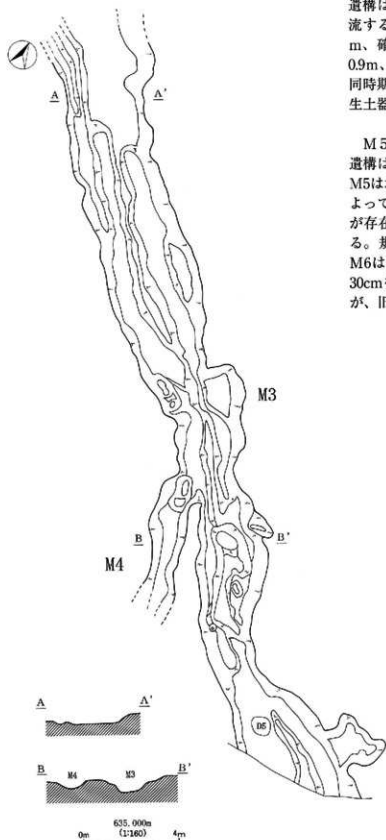
B区M1・2号溝跡実測図

M4号溝跡

遺構はC-あ-8グリッドに存在し、M3に合流する。南側は消滅する。調査規模は長さ4.8m、確認面上での幅0.9m~1.6m、底幅0.4m~0.9m、確認面からの深さは0.4mを測る。M3と同時期に存在した流路と考えられる。遺物は弥生土器片、須恵器が僅かに出土した。

M5・6号溝跡

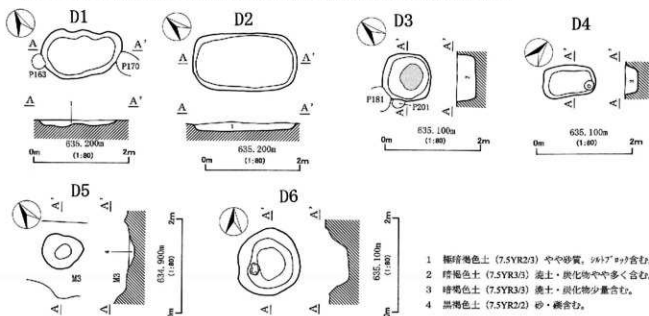
遺構はE-こ-9グリッドに位置し、並走する。M5は北・南ともに消滅する。M6の南は攪乱によって切れ、北側は消滅し、途中未確認部分が存在する。遺構の向きは北から東に40°振れる。規模はM5が長さ6.4m、幅30cmを測る。M6は未確認部を含めた推定で長さ6.0m、幅30cmを測る。確認状況から、断定はできないが、旧道路跡である可能性も考えられる。



B区M3・4・5・6号溝跡実測図

(3) 土坑

ピットと区別するため、直径80cm以上の掘り込みを土坑として取り扱った。



B区土坑実測図

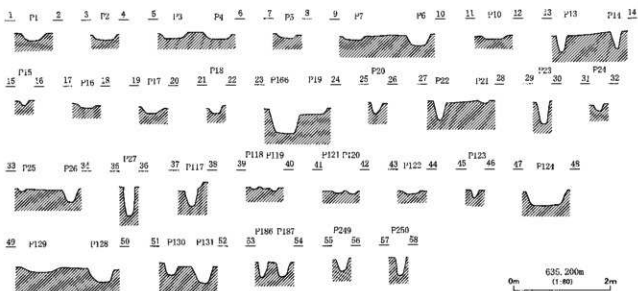
- 1 極褐色土 (7.5YR2/3) やや砂質、シルト質を含む。
- 2 暗褐色土 (7.5YR3/3) 底土・炭化物や多く含む。
- 3 暗褐色土 (7.5YR3/3) 底土・炭化物少量含む。
- 4 黒褐色土 (7.5YR2/2) 砂・礫含む。

(4) ピット

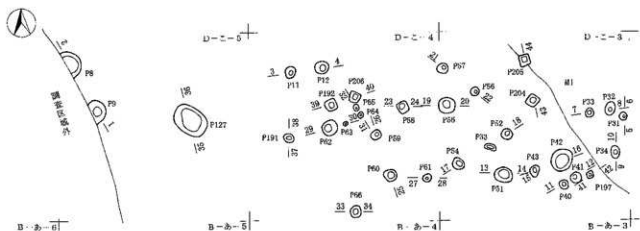
25cm内外の規模を測る小型のピットについては平面方形を呈するものが多く存在したが、やや大型のピットには円形、隅丸の方形等が多く存在した。



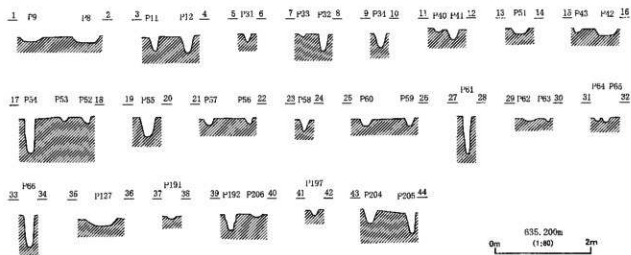
B区ピット実測図(1)

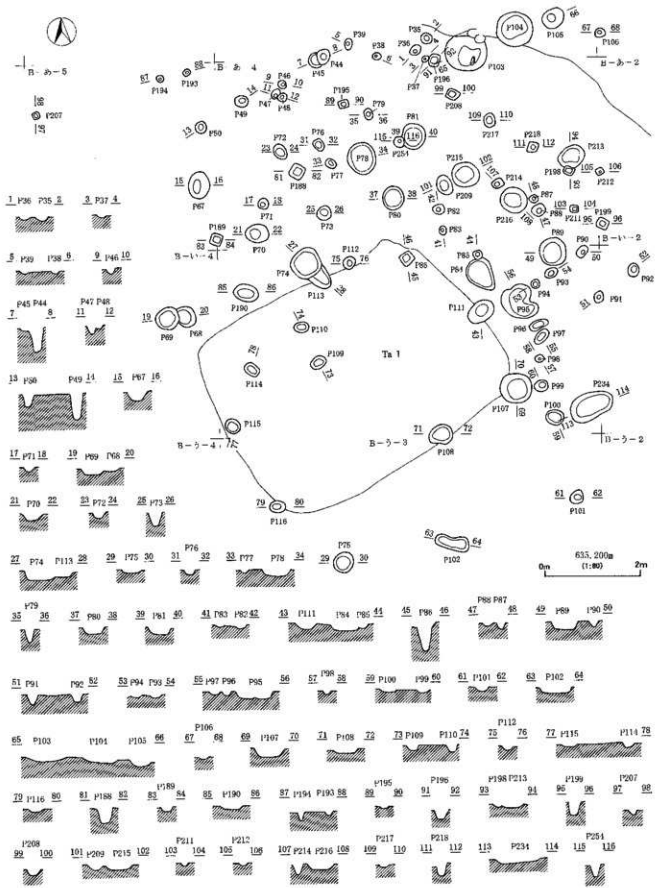


B区ビット実測図 (2)

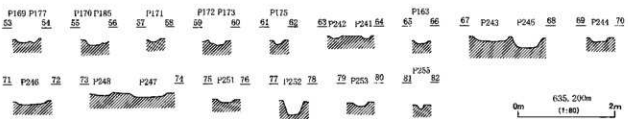
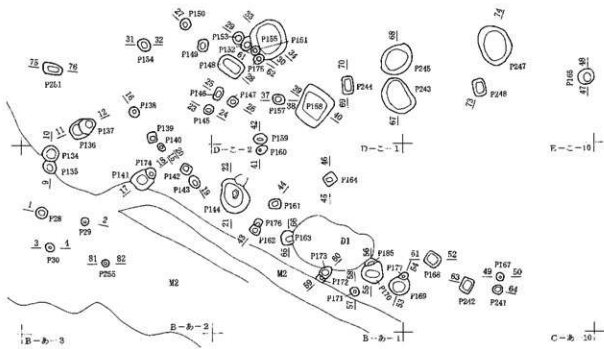
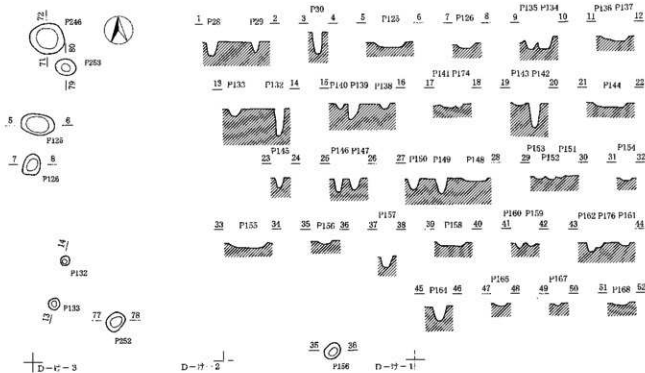


B区ビット実測図 (3)

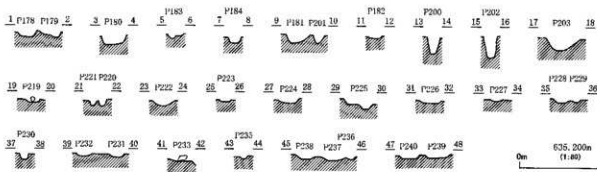
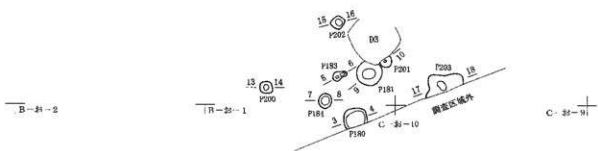
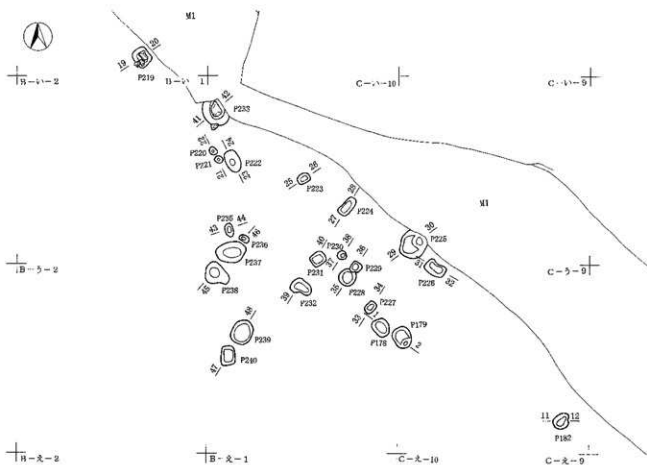




B区ピット実測図(4)

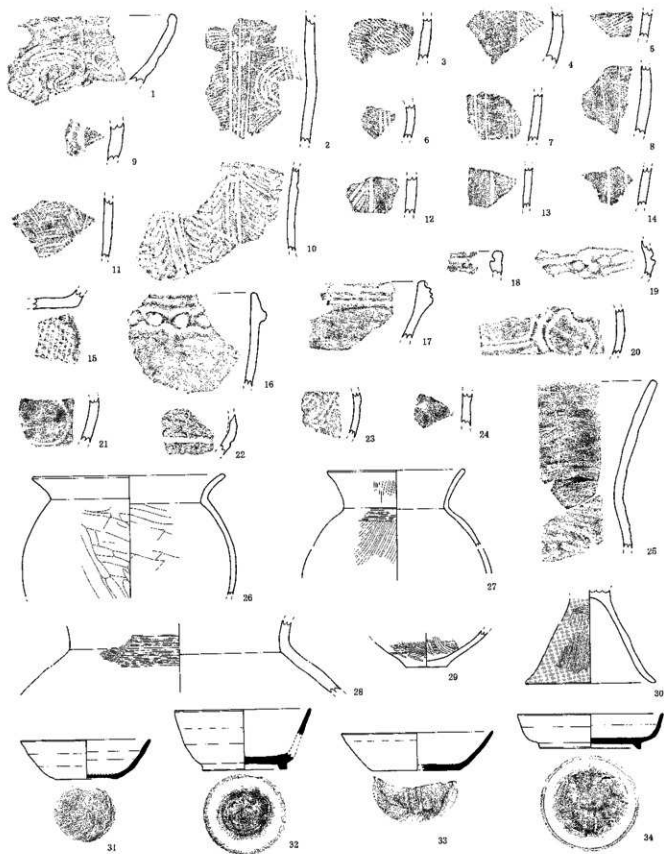


B区ピット実測図(5)

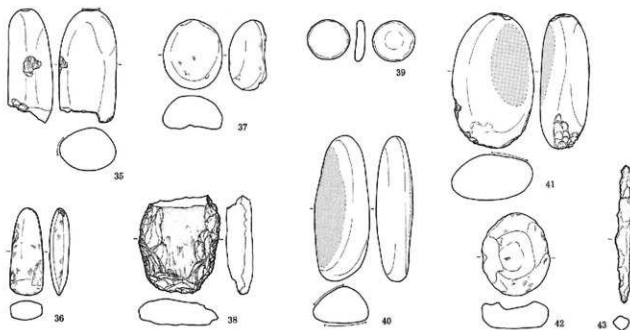


B×ビット実測図 (6)

(5) 出土遺物



B区遺物実測図(1)



B区遺物実測図(2)

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	圖類・大形・原形等	時期	位置(断面)	
								位置	断面
1	縄文土器	深鉢	-	-	-	口縁ナデ 外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
2	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
3	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
4	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
5	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
6	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
7	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
8	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
9	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
10	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
11	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
12	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
13	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
14	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
15	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
16	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
17	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
18	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
19	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
20	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
21	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
22	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
23	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
24	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
25	縄文土器	深鉢	-	-	-	外周に縄文・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	中期	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	位置	断面	位置	断面
26	土師器	壺	130.2	-	118.0	外周ヘラケリ・ナデ 口縁ナデ 内底ナデ	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
27	土師器	壺	148.0	-	111.0	外周ヘラケリ・ナデ 口縁ナデ 内底ナデ	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
28	弥生土器	壺	-	-	7.1	外周に波線・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
29	土師器	壺	-	-	4.2	内径に波線	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
30	土師器	壺	-	-	3.8	内径に波線	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面
31	弥生土器	壺	13.0	6.4	4.1	内周に波線・胎内彫刻文・内径に波線・段状口縁部	口縁-段状部	107106/42-65-1(黄褐色土)	断面

B区遺物観察表(1)

番号	距離	形状	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	遺物・文 物	地層・地代	備 考
32	風車部	高台坪	1421	88	6.4	内側面コラナガ 成層面へのナツリ堆積層	69	2/3部は147号/148号 C-ユーロワッド/11号土内
33	風車部	坪	1461	104	4.1	内側面コラナガ 成層面へのナツリ	30	107号/108号 C-ユーロワッド/11号土内
34	風車部	西台坪	152	107	3.6	内側面コラナガ 成層面へのナツリ	90	104号/105号 C-ユーロワッド/11号土内
番号	距離	形状	最大径(cm) 長さ(m)	最大径(cm) 長さ(m)	最大径(cm) 長さ(m)	遺 物・文 物	地層(x)	出 土 地
35	石部	礫石	11.9	4.1	4.7	下部瓦類 瓦類・埋込瓦打石	506.3	T-01
36	石部	礫石	8.1	3.5	2.1	全体に汚染	1153.7	M
37	石部	ナツリ	7.4	4.1	3.7	全体にナツリ	286.9	B-11-10ワッド
38	石部	打石	163	43	3.7	瓦類瓦類 瓦類瓦類 一部自然焼成 瓦部打石	1163.1	C-ユーロワッド
39	石部	瓦類	4.5	4.2	1	瓦類瓦類 瓦類瓦類	25	C-ユーロワッド
40	石部	ナツリ	153	5.8	3.8	ナツリ	481.8	D-ユーロワッド
41	石部	ナツリ・打石	142	8.4	3	瓦類瓦類・埋込瓦打石 瓦類瓦類	823.9	E-ユーロワッド
42	瓦類	瓦類	87	7.1	3.5	一部瓦類 中央に部 打石	62.56	E-ユーロワッド
43	瓦類	瓦類	149	1.8	1.8		33	出土

B区遺物観察表(2)

(6) 土坑・ピット観察表

遺構名	平面形状	南北(cm)	東西(cm)	深さ(cm)	検出位置	遺構名	平面形状	南北(cm)	東西(cm)	深さ(cm)	検出位置
D1	楕円形	109	169	14	D-1-1	D4	長方形	68	109	25	C-1-10
D2	楕円形	124	221	14	B-1-10	D5	円形	(80)	(84)	(14)	C-1-6
D3	隅丸方形	101	100	39	C-1-10	D6	円形	144	130	50	C-1-5

B区土坑観察表

ピット名	形状	直径(cm)	深さ(cm)	検出位置	ピット名	形状	直径(cm)	深さ(cm)	検出位置	ピット名	形状	直径(cm)	深さ(cm)	検出位置
1	円形	56	16	D-1-6	49	円形	28	56	B-1-3	97	楕円形	38	6	B-1-2
2	円形	56	12	D-1-5	50	円形	27	26	B-1-4	98	円形	20	6	B-1-2
3	円形	57	13	D-1-5	51	円形	40	12	D-1-3	99	円形	32	6	B-1-2
4	円形	52	14	D-1-5	52	円形	22	14	D-1-3	100	円形	37	7	B-1-2
5	円形	45	10	D-1-5	53	楕円形	25	8	D-1-3	101	円形	32	9	B-1-2
6	円形	59	24	D-1-5	54	円形	21	72	D-1-3	102	楕円形	72	12	B-1-2
7	円形	33	8	D-1-5	55	円形	24	8	D-1-3	103	円形	86	10	B-1-2
8	円形	(30)	14	D-1-5	56	円形	18	12	D-1-3	104	円形	74	14	D-1-2
9	円形	(20)	12	D-1-5	57	円形	21	14	D-1-3	105	円形	48	14	D-1-2
10	楕円形	62	8	D-1-5	58	方形	24	24	D-1-4	106	円形	20	4	D-1-1
11	円形	25	30	D-1-4	59	隅丸方形	22	16	D-1-4	107	円形	62	20	B-1-2
12	円形	30	36	D-1-4	60	円形	28	14	D-1-4	108	円形	50	8	B-1-2
13	円形	25	36	D-1-4	61	円形	18	79	D-1-4	109	楕円形	36	11	B-1-2
14	円形	22	36	D-1-4	62	円形	34	5	D-1-4	110	楕円形	32	15	B-1-2
15	円形	18	10	D-1-4	63	円形	10	6	D-1-4	111	楕円形	60	13	B-1-2
16	楕円形	51	8	D-1-4	64	円形	14	6	D-1-4	112	円形	28	9	B-1-3
17	円形	48	10	D-1-4	65	円形	14	10	D-1-4	113	楕円形?	(380)	9	B-1-3
18	楕円形	46	10	D-1-4	66	円形	25	66	D-1-4	114	楕円形	34	12	B-1-3
19	円形	68	14	D-1-4	67	楕円形	57	20	B-1-4	115	円形	32	4	B-1-3
20	円形	23	23	D-1-3	68	円形	44	8	B-1-4	116	楕円形	33	6	B-1-3
21	円形	25	6	D-1-3	69	円形	50	12	B-1-4	117	円形	31	32	D-1-3
22	円形	28	40	D-1-3	70	円形	48	14	B-1-3	118	円形	13	4	D-1-3
23	方形	29	48	D-1-3	71	円形	24	10	B-1-3	119	円形	16	8	D-1-3
24	円形	28	15	D-1-3	72	円形	36	14	B-1-3	120	円形	22	6	D-1-3
25	円形	15	7	D-1-3	73	円形	30	28	B-1-3	121	円形	25	4	D-1-3
26	円形	32	27	D-1-3	74	隅丸方形	59	30	B-1-3	122	楕円形	28	7	D-1-4
27	円形	26	82	D-1-3	75	円形	44	8	B-1-3	123	円形	22	16	D-1-3
28	円形	24	28	D-1-3	76	方形	26	10	B-1-3	124	楕円形	89	33	D-1-3
29	円形	17	24	D-1-3	77	楕円形	24	10	B-1-3	125	楕円形	68	12	D-1-2
30	円形	20	47	D-1-2	78	円形	68	14	B-1-3	126	円形	47	11	D-1-2
31	円形	18	17	D-1-2	79	円形	24	27	B-1-3	127	楕円形	76	16	D-1-2
32	楕円形	30	34	D-1-1	80	円形	51	14	B-1-3	128	楕円形	55	32	D-1-3
33	円形	20	6	D-1-1	81	円形	36	16	B-1-2	129	楕円形	82	10	D-1-3
34	楕円形	27	29	D-1-1	82	円形	26	8	B-1-2	130	円形	32	24	D-1-3
35	円形	24	8	D-1-2	83	円形	20	4	B-1-2	131	楕円形	45	42	D-1-3
36	円形	28	7	D-1-2	84	楕円形	76	14	B-1-2	132	円形	21	58	D-1-2
37	円形	16	6	B-1-2	85	隅丸方形	19	9	B-1-1	133	円形	35	16	D-1-2
38	円形	18	6	B-1-3	86	方形	28	61	B-1-1	134	円形	33	28	D-1-2
39	楕円形	24	6	D-1-3	87	円形	19	14	B-1-2	135	円形	31	27	D-1-2
40	円形	20	8	D-1-3	88	方形	28	6	B-1-2	136	円形?	(20)	(7)	D-1-2
41	円形	23	22	D-1-3	89	円形	59	18	B-1-2	137	円形	36	11	D-1-2
42	円形	49	14	D-1-3	90	楕円形	28	13	B-1-2	138	円形	24	12	D-1-2
43	楕円形	25	9	D-1-3	91	円形	20	22	B-1-2	139	方形	22	34	D-1-2
44	円形	34	82	B-1-3	92	円形	28	16	B-1-1	140	楕円形	19	12	D-1-2
45	円形	(18)	(6)	B-1-3	93	円形	29	7	B-1-1	141	方形	40	6	D-1-2
46	円形	18	12	B-1-3	94	円形	20	5	B-1-2	142	方形	21	63	D-1-2
47	円形	24	15	B-1-3	95	不整形	72	18	B-1-2	143	円形	28	6	D-1-2
48	円形	18	8	B-1-3	96	楕円形	42	8	B-1-2	144	円形	76	10	D-1-1

B区ピット観察表(1)

ビット名	形態	底径(cm)	深さ(cm)	掘出位置	ビット名	形態	底径(cm)	深さ(cm)	掘出位置	ビット名	形態	底径(cm)	深さ(cm)	掘出位置
145	円形	20	21	D-17-2	182	円形	28	4	C-7-9	215	方形	40	7	B-6-1
146	円形	28	28	D-17-1	183	不整形	32	10	C-7-10	220	円形	18	16	B-4-1
147	方形	21	24	D-17-2	184	円形	31	12	C-7-10	221	円形	17	11	C-7-10
148	隅丸方形	34	7	D-17-2	185	円形?	(13)	4	D-1-1	222	隅内形	48	10	C-7-10
149	方形	28	34	D-17-2	186	円形	31	30	D-1-3	223	方形	28	4	C-7-10
150	円形	26	24	D-17-2	187	円形	30	32	B-6-3	224	方形	45	10	C-7-10
151	円形	19	4	D-17-1	188	方形	30	32	B-6-3	225	円形	30	23	C-7-9
152	隅内形?	(28)	7	D-17-1	189	方形	24	10	B-6-4	226	方形	44	6	C-7-9
153	円形	36	5	D-17-2	190	隅内形	32	8	B-1-3	227	方形	28	4	C-7-10
154	円形	29	6	D-17-2	191	円形	18	6	D-1-4	228	円形	37	9	C-7-10
155	円形	34	11	D-17-1	192	方形	24	34	D-1-4	229	方形	24	5	C-7-10
156	円形	87	7	D-1-1	193	隅丸方形	16	8	B-6-4	230	円形	18	13	C-7-10
157	隅丸方形	25	24	D-17-1	194	円形	16	18	B-6-4	231	方形	32	7	C-7-10
158	方形	77	8	D-17-1	195	方形	26	20	B-6-3	232	不整形	45	6	C-7-10
159	隅内形	22	7	D-17-1	196	方形	26	20	B-6-3	233	円形?	(56)	5	B-7-1
160	隅内形	26	11	D-1-1	197	方形	14	12	D-1-3	234	隅内形	46	12	B-7-2
161	隅丸方形	25	6	D-1-1	198	方形	22	7	B-6-2	235	隅内形	29	6	C-7-10
162	隅丸方形	22	19	D-1-1	199	方形	25	28	B-6-2	236	隅内形	21	7	C-7-10
163	円形	31	8	D-1-1	200	方形	21	37	C-7-10	237	隅内形	64	8	C-7-10
164	方形	36	32	D-17-10	201	円形	(19)	36	C-7-10	238	不整形	46	10	B-7-1
165	円形	34	5	D-17-10	202	方形	26	46	C-7-10	239	円形	52	8	C-7-10
166	円形	64	52	D-17-4	203	不整形	42	28	C-7-9	240	方形	52	8	C-7-10
167	方形	17	17	E-1-10	204	方形	21	39	D-1-3	241	円形	20	6	B-7-2
168	方形	25	6	E-1-10	205	方形	24	43	D-1-3	242	方形	32	5	D-17-2
169	円形	44	8	D-1-1	206	円形	22	3	D-1-4	243	円形	40	10	D-17-1
170	円形	49	11	D-1-1	207	方形	16	10	B-6-4	244	方形	28	8	D-17-1
171	円形	19	7	D-1-1	208	方形	65	12	B-6-2	245	円形	24	23	D-17-1
172	隅形?	(12)	6	D-1-1	209	円形	44	12	B-6-2	246	円形	68	8	D-17-2
173	円形	21	11	D-1-1	210	不整形				247	円形	86	8	B-17-10
174	円形	26	8	D-1-2	211	方形	18	6	B-6-2	248	方形	37	6	B-17-10
175	円形	22	9	D-17-1	212	方形	16	5	B-6-2	249	隅丸方形	25	27	D-17-4
176	方形	16	10	D-1-1	213	円形	37	24	B-6-2	250	方形	22	28	D-1-3
177	円形	22	10	D-1-1	214	方形	24	24	B-6-2	251	方形	42	8	D-17-2
178	円形	41	12	C-7-10	215	円形	52	10	B-6-2	252	円形	41	32	D-1-2
179	円形	45	11	C-7-10	216	円形	54	12	B-6-2	253	円形	44	9	D-17-1
180	隅丸方形?	49	20	C-7-10	217	円形	32	5	B-6-2	254	円形	24	26	B-6-3
181	円形	34	19	C-7-10	218	方形	22	27	B-6-2	255	円形	15	8	D-1-2

B区ビット観察表(2)

第3節 C区

千曲川右岸第1段丘の東端に位置する。試掘調査によって土坑・ビット及び土師器等の遺物が発見されたことから、遺跡の確認できた地域の調査を実施した。遺構検出面は地域によって異なり、水田床土直下のシルト上面または砂礫層上面となる。東端の比高差19mを測る段丘との境界付近は低地となり、遺構は確認されなかった。検出された遺構は、中世の住居と考えられる堅穴状遺構、土坑、溝跡、ビットである。遺物は中世の陶磁器・土鍋・古銭などが出土した。

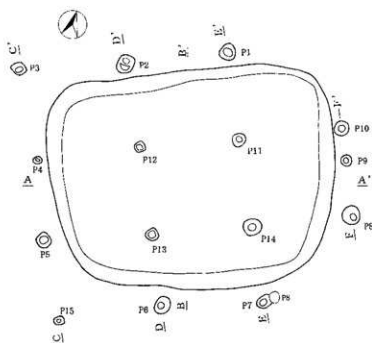
(1) 堅穴状遺構

堅穴状遺構は堅穴建物址・堅穴遺構とも呼ばれ、中世以降の遺跡から発見される代表的な遺構の一つである。形態は方形、長方形が中心で規模は2m前後から時には10mを越す大型も確認されている。遺構の内部に柱穴を持ち建物址と考えられるものや用途不明なものが存在するが、基本的に建物址とされ、人々の住居址・兵士の簡易住居・季節的住居・貯蔵庫・作業場・集会場などと考えられている。本遺跡では多数の掘り込みが確認されているが、今回は土坑と区別するために1辺3mを越す掘り込みを堅穴状遺構として取り扱った。

T-1号堅穴状遺構

遺構は1-9-4グリッドに位置する。規模は長軸6.0m、短軸4.8m、確認面から床面までの深さは最大28cmを測る。平面形態は東西方向に長軸を持つ隅丸の方形である。主軸は北から西に20°振る。シルト面が床面となり、ほぼ平坦で、やや硬さを持つ。ビットは隅丸方形の遺構内に4個、周辺を囲むように11個確認でき、堅穴状遺構と掘立柱建物址が組み合わされた状態で確認された。遺構内及び周辺で火を使用した痕跡は確認できなかった。床面と考えられる平坦な硬質面を持ち、規則正しいビットの存在から、住居的に使用された堅穴状遺構と考えられる。

時期は、周辺の土坑から出土した古銭や陶磁器類の年代から中世とした。



C区 Ta1 号 竪穴状遺構実測図

Ta2号 竪穴状遺構

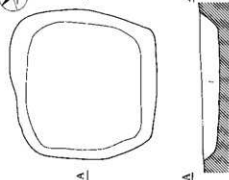
遺構はI-4グリッドに位置する。規模は長軸3.2m、短軸3.1m、確認面から床面までの深さは40cmを測る。平面形態は方形である。

Ta3号 竪穴状遺構

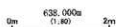
遺構はJ-8グリッドに位置し、M1に切られる。規模は長軸3.3m、短軸2.6m、確認面から床面までの深さは12cmを測る。平面形態は不整形である。



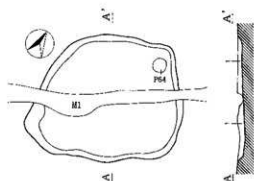
- 1 褐色土 (10YR4/6) 砂質。
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) 褐色シロアツが多い。炭化物含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色シロアツが多い。炭化物含む。
- 4 暗褐色土 (7.5YR3/3) 褐色シロアツが多い。炭化物・砂含む。



- 1 暗褐色褐色土 (5YR2/3) 砂・礫 (1-10 cm大)・炭化物含む。やや粘性あり。



C区 Ta2 号 竪穴状遺構実測図



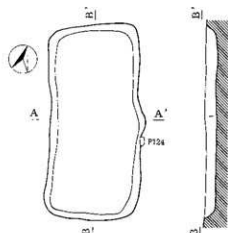
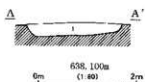
- 1 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・小石・炭化物含む。



C区 Ta3 号 竪穴状遺構実測図

Ta4号竪穴状遺構

遺構はJ-け-8グリッドに位置する。規模は長軸4.2m、短軸1.7m、確認面から床面までの深さは最大30cmを測る。平面形態は南北方向に長軸を持つ長方形で、東壁中央付近に僅かな張り出し部が存在する。



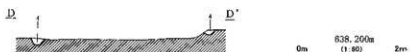
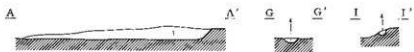
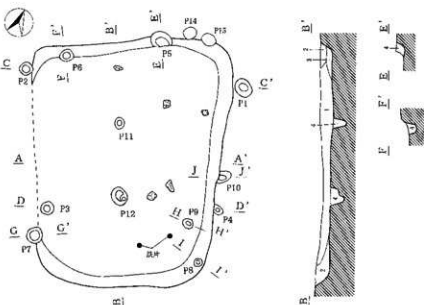
1 黒褐色土 (10YR3/2) 褐色シラップ・砂・炭化物・小石含む。

C区 Ta4号竪穴状遺構実測図

Ta5号竪穴状遺構

遺構はI-お-3グリッドに位置し、規模は長軸5.2m、短軸4.2m、確認面から床面までの深さは最大で25cmを測る。主軸は北から西に21°振る。床面はやや硬さを持つ。ピットは壁面及び中央付近から12個確認できた。P11・12が主柱穴、壁際のピットは壁柱穴と考えられる。周辺で火を使用した痕跡は確認できなかった。

遺物は南東コーナー付近の床面上から鉄片が出土した。



1 黒褐色土 (7.5YR2/3)

※砂・小石・炭化物含む。

2 褐色土 (7.5YR4/3) ※砂・炭。

3 暗褐色土 (7.5YR3/3)

※砂・炭化物含む。

4 暗褐色土 (7.5YR3/3)

※砂・炭化物含む。

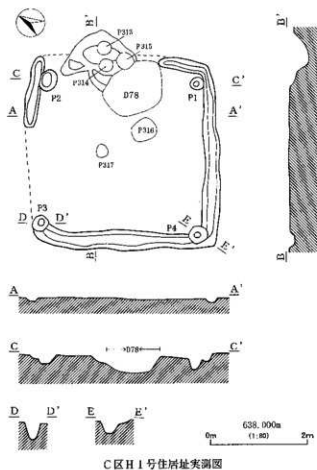
C区 Ta5号竪穴状遺構実測図

(2) 住居址

遺構はI-あ-5グリッドに位置する。規模は長軸4.1m、短軸3.9mを測る。平面形態は方形と考えられる。上部は完全に削り取られた状態で竪穴状の掘り込みを有した住居か平地式であるかの判断はできなかった。確認できたのは壁際に掘りこまれたと考えられる部分的な溝溝及びコーナーに掘り

込まれたピットである。

出土遺物が認められないため時期の確定はできなかった。



(3) 溝跡

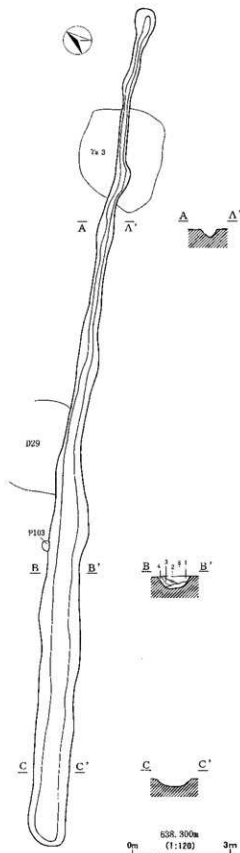
M1号溝跡

遺構はI-き-3グリッドからJ-え-7グリッドにかけて、およそ東西方向に延びる。確認された規模はいずれも最大値で長さ26.4m、確認面での幅1.2m、底幅0.7m、確認面から底面までの深さは0.2mを測る。とぎれているがM2号溝状遺構につながる可能性が考えられる。

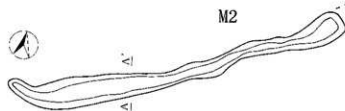
遺物は、出土しなかった。

- 1 暗赤灰色土 (2.5YR3/1) 96%主体、軽石・炭化物含む。
- 2 褐色土 (7.5YR4/4) 96%主体。
- 3 黒褐色土 (7.5YR3/1) 96%少ない。
- 4 褐色土 (7.5YR4/4) 96%多く含む。
- 5 灰褐色土 (7.5YR4/2) 96%主体。

C区M1号溝跡実測図



M2号溝跡

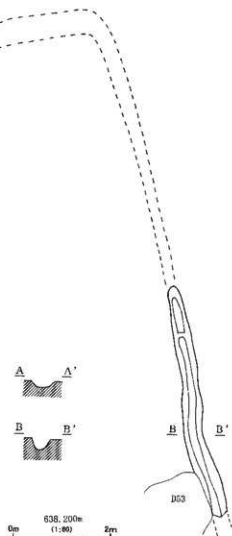


遺構はJ-カ-9グリッドからJ-キ-6グリッドにかけて存在し、途中でほぼ直角に方向を変えるが、この間の掘り込みは検出段階で消滅した。掘り込みが残存する地域は2カ所で、規模はいずれも最大値で長さ7.2m、確認面での幅0.7m、底幅0.4m及び長さ5m、確認面での幅0.4m、底幅0.2mである。とぎれる区域が長いが、M1号溝跡につながる可能性があると考えられる。

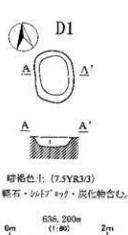
(4) 土坑

竪穴状遺構及びピットと区別するため、直径または1辺が30cm以上で3mに満たない掘り込みを土坑として取り扱った。形態は円形・隅丸方形・楕円形等さまざまである。隅丸方形状の土坑には中世の輪人鏡が出土する遺構が含まれ、覆土中に骨粉と思われる白色粒が認められることから、土坑墓と考えられた。またやや大型で楕円形の掘り込みの底部には小ピットが数個掘り込まれていることから、落とし穴の可能性が認められる。この他用途不明の掘り込みも多いが、焼土を含む掘り込み、土鍋・中近世の陶磁器が出土する掘り込みなどが存在した。

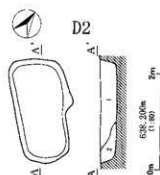
時期は、周辺遺構出土の遺物の特徴から、中世から近世にかけて掘り込まれた遺構と考えられる。



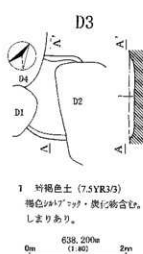
C区M2号溝跡実測図



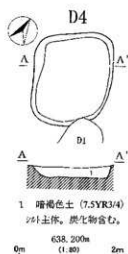
暗褐色土 (7.5YR3/3)
軽石・タタキアツク・炭化物含む。



1 暗褐色土 (10YR3/3)
タタキアツク・炭化物・糠 (5cm大) 含む。
2 暗褐色土 (10YR3/4)
タタキアツク (0.5-2cm大) 多く含む。

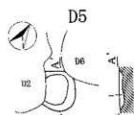


1 暗褐色土 (7.5YR3/3)
褐色タタキアツク・炭化物含む。
しきりあり。

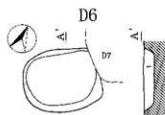


1 暗褐色土 (7.5YR3/4)
タタキ主体。炭化物含む。

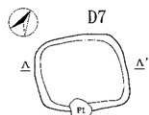
C区土坑実測図 (1)



D5
1 暗褐色土 (7.5YR3/3)
褐色土アロック・砂含む。
638, 200m
(1:80) 2m

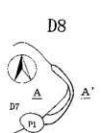


D6
1 黒褐色土 (7.5YR3/2)
砂・炭化物含む。
638, 200m
(1:80) 2m

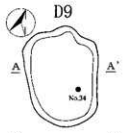


D7
1 暗褐色土 (7.5YR3/4)
砂土体、炭化物含む。
2 褐色土 (7.5YR4/4)
砂土体、砂含む。

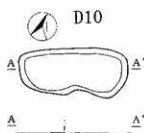
638, 200m
(1:80) 2m



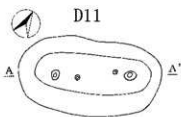
D8
638, 200m
(1:80) 2m



D9
1 暗褐色土 (7.5YR3/3)
砂・炭化物含む。
638, 200m
(1:80) 2m

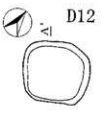


D10
1 黒褐色土 (10YR2/3)
砂・礫 (1-3 cm大) 多く含む。
638, 100m
(1:80) 2m

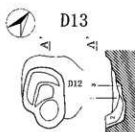


D11
1 黒褐色土 (7.5YR2/2) 炭化物・砂含む。砂質。
2 暗褐色土 (7.5YR3/4) 砂質。
3 黒色土 (7.5YR2/1) 砂含む。砂質。しまりあり。
4 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂・炭化物含む。砂質。
638, 200m
(1:80) 2m

638, 200m
(1:80) 2m

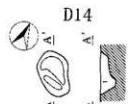


D12
1 黒色土 (7.5YR2/1) 砂・炭化物含む。
638, 200m
(1:80) 2m

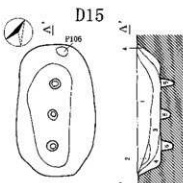


D13
638, 200m
(1:80) 2m

D13
1 褐色土 (7.5YR4/4)
暗褐色土アロック・軽石含む。砂質。
2 黒色土 (7.5YR2/1)
褐色土アロック・砂・炭化物含む。
砂質。
3 褐色土 (7.5YR4/3)
暗褐色土アロックと褐色土の混合。
砂質。



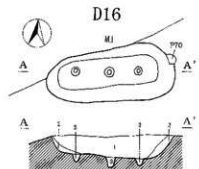
D14
638, 200m
(1:80) 2m



D15
638, 200m
(1:80) 2m

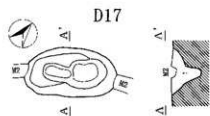
D15
1 黒色土 (7.5YR2/1) 砂質。軽石・砂含む。
2 暗褐色土 (7.5YR2/2) 砂質。軽石・砂含む。
3 黒褐色土 (7.5YR3/2) 砂質。軽石・砂含む。
4 褐色土 (7.5YR4/3) 砂土体。
5 暗褐色土 (7.5YR3/3) しまりなし。砂土体。
黒色土含む。

D16
1 黒褐色土 (10YR2/2) 砂質。軽石・砂含む。
2 暗褐色土 (10YR3/3) 砂質。軽石・砂含む。
3 暗褐色土 (10YR3/4) しまりなし。



D16
638, 200m
(1:80) 2m

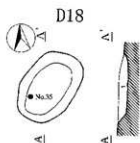
C区土坑実測図 (2)



D17

1 渾暗褐色土 (7.5YR2/3)

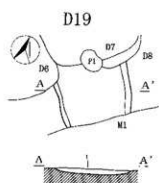
砂・炭 (5 cm大) やや多く含む。しじりあり。



D18

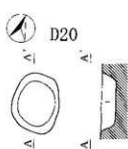
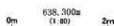
1 黒褐色土 (7.5YR2/2)

砂・炭化物含む。ややしじりあり。



D19

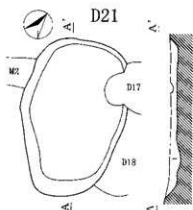
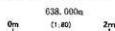
1 暗褐色土 (7.5YR2/3) 粘質。炭化物含む。



D20

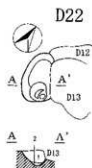
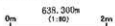
1 黒褐色土 (10YR2/2)

砂主体。礫 (1-5 cm大) 含む。



D21

1 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・炭化物・礫 (1-10 cm大) 含む。



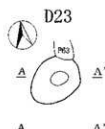
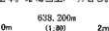
D22

1 黒褐色土 (10YR2/3)

粘土体。炭化物・礫土含む。

2 暗褐色土 (10YR3/4)

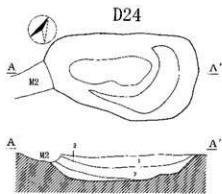
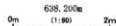
粘土体。暗褐色土アツク含む。



D23

1 黒褐色土 (7.5YR2/2)

粘質。礫・軽石・砂・炭化物含む。

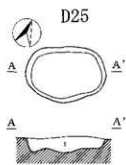
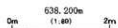


D24

1 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 粘質。砂・軽石・炭化物含む。

2 暗褐色土 (7.5YR2/2) 砂・軽石・炭化物・礫 (10 cm大) 含む。やや粘性あり。

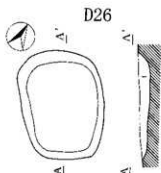
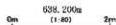
3 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂主体。



D25

1 黒褐色土 (10YR2/2)

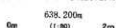
砂・礫 (1-10 cm大)・炭化物含む。



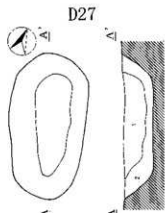
D26

1 黒褐色土 (10YR2/3)

砂多い。礫 (1-5 cm大)・炭化物含む。



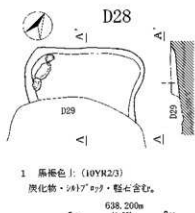
C区土坑実測図 (3)



1 黒褐色土 (10YR2/2)
 赤褐色土・砂・炭化物含む。
 ややこまきりあり。

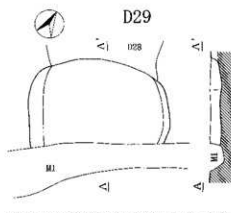
2 暗褐色土 (10YR3/3)
 砂・礫 (5-15 cm大) 含む。

638, 300m
 (1:80) 2m



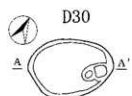
1 黒褐色土 (10YR2/3)
 炭化物・赤褐色土・軽石含む。

638, 200m
 (1:80) 2m



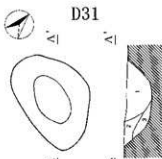
1 黒褐色土 (10YR2/2) 炭化物・褐色土・砂・炭化物含む。

638, 200m
 (1:80) 2m



1 黒褐色土 (10YR2/3)
 砂・礫 (1-5 cm大) 含む。

638, 000m
 (1:80) 2m



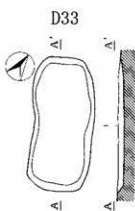
1 黒褐色土 (10YR2/2)
 砂・小石・炭化物含む。
 2 暗褐色土 (10YR3/4)
 赤土主体。小石・砂含む。
 3 暗褐色土 (10YR3/4)
 赤土主体。小石・砂・礫 (5-10 cm大) 含む。

638, 400m
 (1:80) 2m



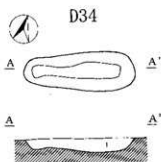
1 暗褐色土 (7.5YR2/3)
 砂・小石・炭化物含む。

638, 300m
 (1:80) 2m



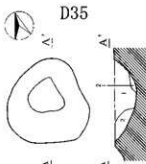
1 黒褐色土 (7.5YR2/2)
 褐色土・砂・炭化物含む。

638, 000m
 (1:80) 2m



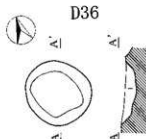
1 暗褐色土 (7.5YR2/3)
 褐色土・砂・炭化物含む。

638, 300m
 (1:80) 2m



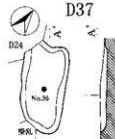
1 黒褐色土 (10YR2/3)
 褐色土・砂・小石含む。
 2 暗褐色土 (10YR3/4)
 赤土主体。砂・小石含む。

638, 000m
 (1:80) 2m



1 黒褐色土 (10YR2/3)
 砂・赤土・小石含む。

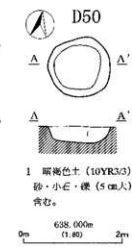
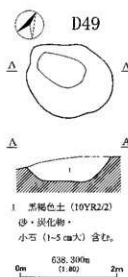
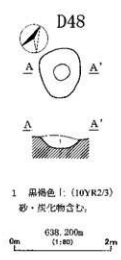
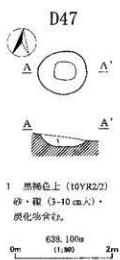
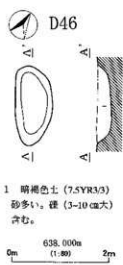
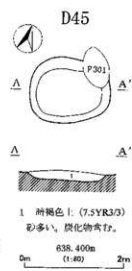
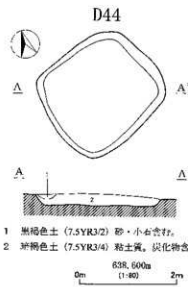
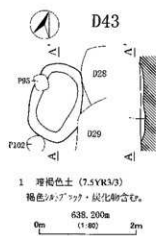
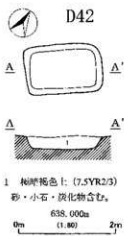
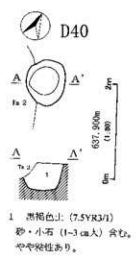
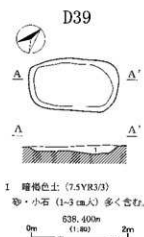
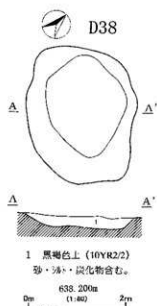
638, 000m
 (1:80) 2m



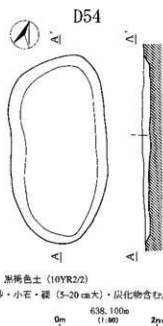
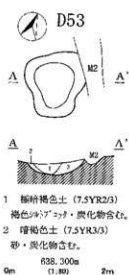
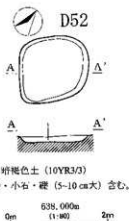
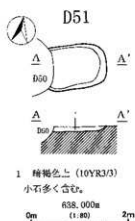
1 暗褐色土 (7.5YR3/3)
 砂・礫 (1-10 cm大) 含む。

638, 200m
 (1:80) 2m

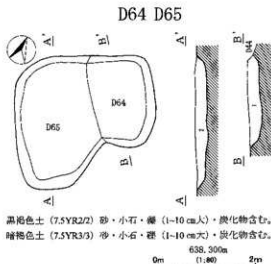
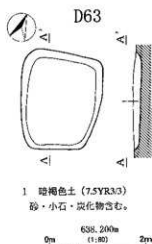
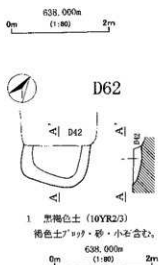
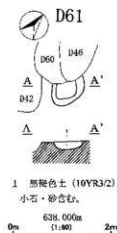
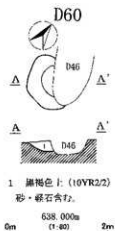
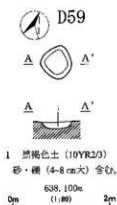
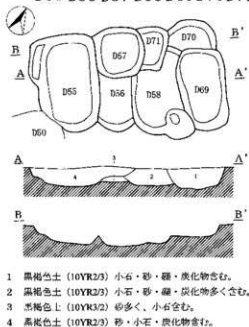
C区土坑実測図(4)



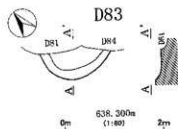
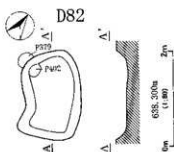
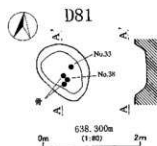
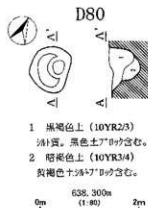
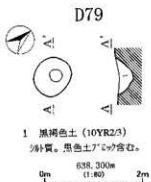
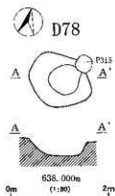
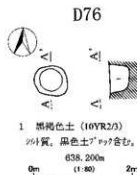
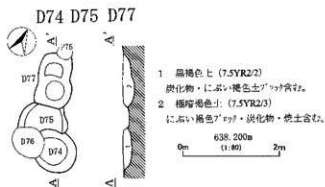
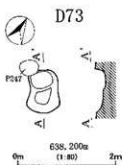
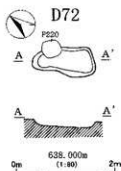
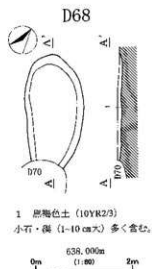
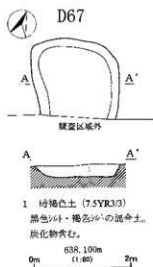
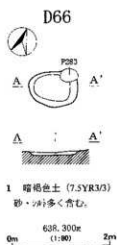
C区土坑実測図 (5)



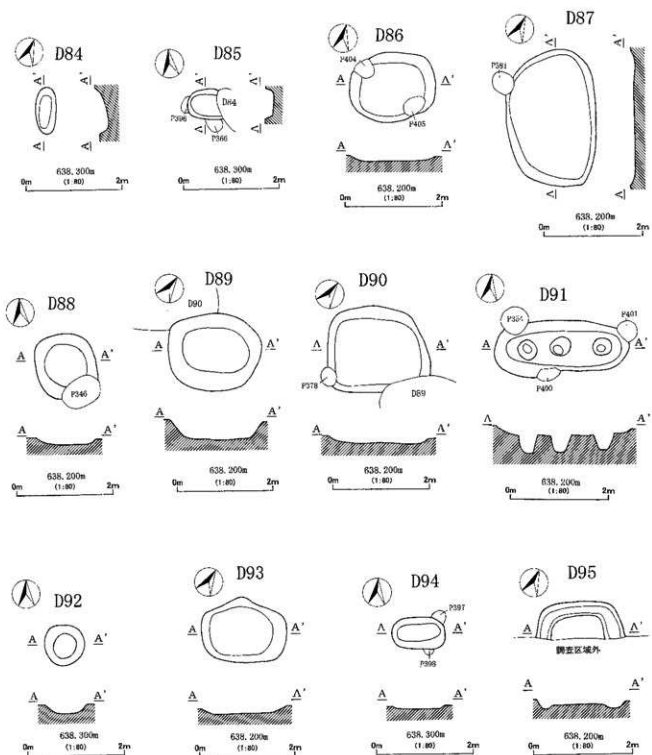
D55 D56 D57 D58 D69 D70 D71



C区土坑実測図(6)



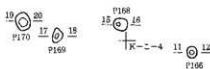
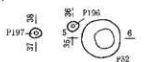
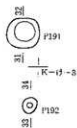
CK土坑実測図 (7)



CK十坑夾測圖(8)

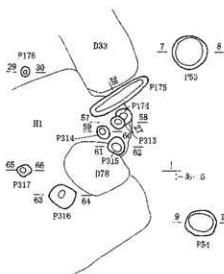
(5) ビット

- 1 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石・礫 (5-10 cm大) 含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石・礫 (5-10 cm大)・炭化物含む。
- 4 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石・礫 (5-10 cm大) 含む。
- 5 暗褐色土 (7.5YR3/3) 砂質。



1 | K-2-5

1 | K-2-3



1 P19 2 P51 3 P52 4 P53 5 P54 6 P55 7 P56 8 P57 9 P58 10 P59



11 P166 12 P167 13 P168 14 P169 15 P170 16 P171 17 P172 18 P173 19 P174 20 P175 21 P176 22 P177 23 P178 24 P179 25 P180 26 P181 27 P182 28 P183 29 P184 30 P185



31 P191 32 P192 33 P193 34 P194 35 P195 36 P196 37 P197 38 P198 39 P199 40 P200 41 P201 42 P202 43 P203 44 P204 45 P205 46 P206 47 P207 48 P208 49 P209

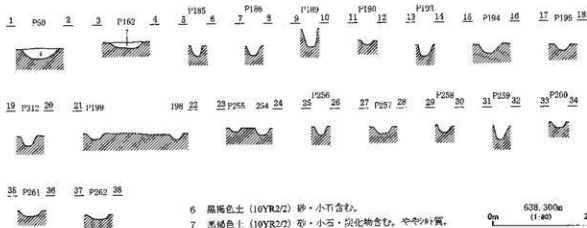
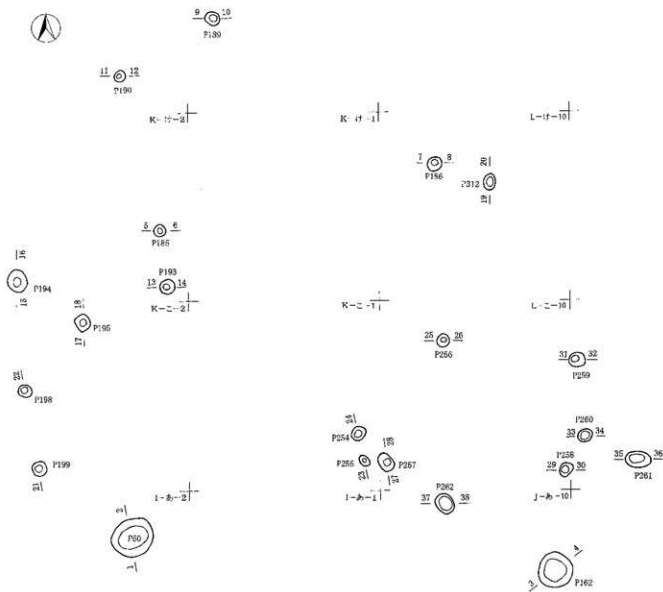


51 P229 52 P230 53 P231 54 P232 55 P233 56 P234 57 P235 58 P236 59 P237 60 P238 61 P239 62 P240 63 P241 64 P242 65 P243 66 P244



0m 63R. 300m (1.80) 2m

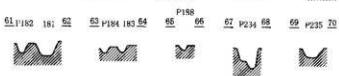
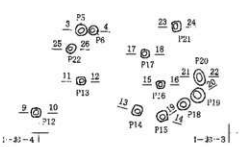
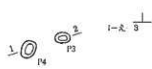
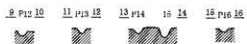
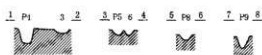
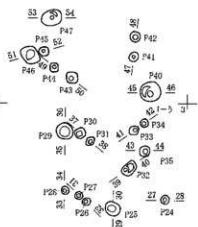
C区ビット実測図 (1)



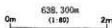
6 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石含む。
 7 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・小石・炭化物含む、ヤマト群。

0m 638.300m
 (1:40) 2m

Ckビット実測図 (2)



8 暗褐色土 (7.5YR3/3) が多く、炭化物を含む。



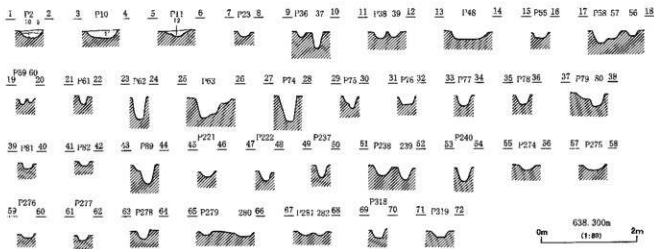
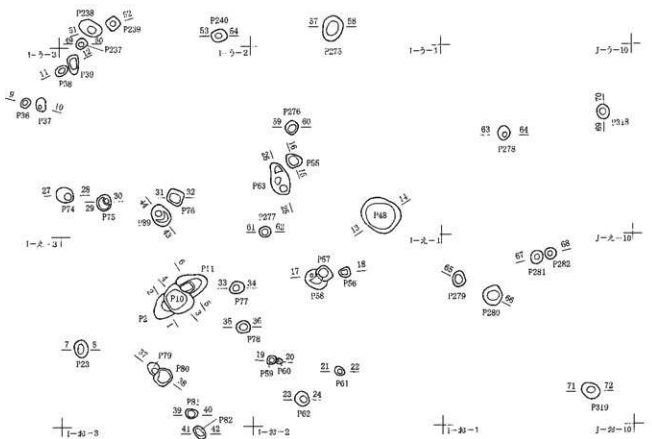
C区ピット実測図 (3)



45 46
P221

55 56
P274

47 48
P222



0m 638.300m
(1:80) 2m

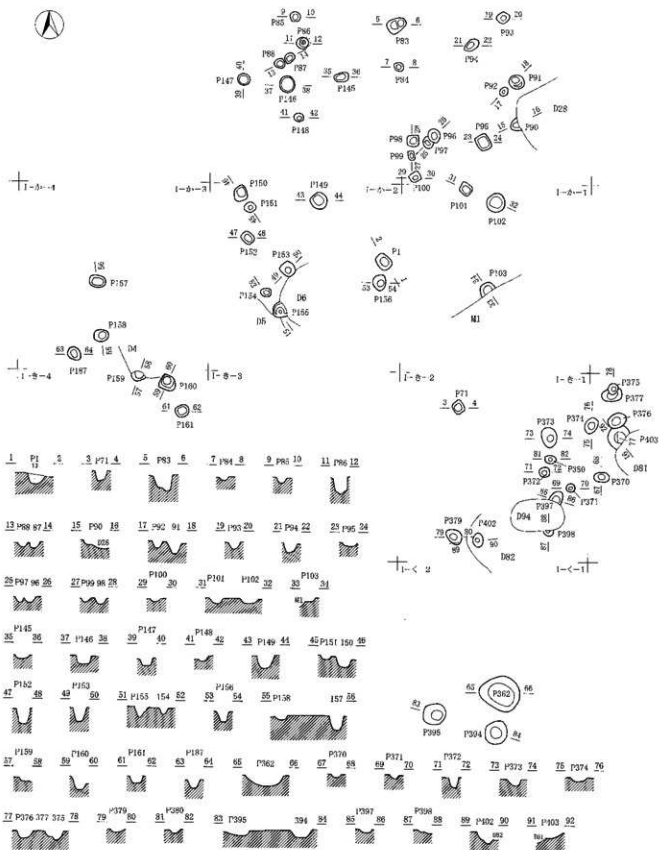
9 暗赤褐色土 (2.5YR3/6) 炭ノ屑多量に含む。

10 黒褐色土 (5YR2/2) 炭土粒含む。

11 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色ノ屑・炭土・炭化物少を含む。

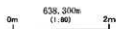
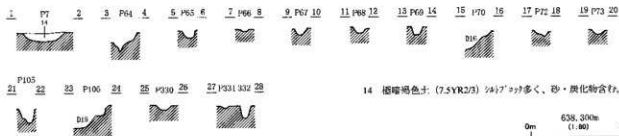
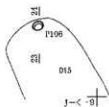
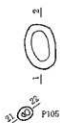
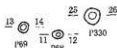
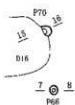
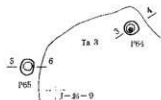
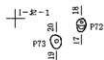
12 黒褐色土 (10YR2/3) 褐色ノ屑・炭土・炭化物少を含む。

C区ピット実測図 (4)

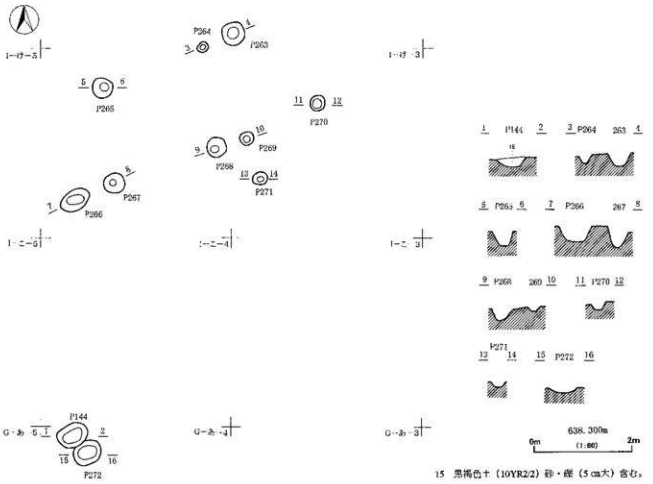
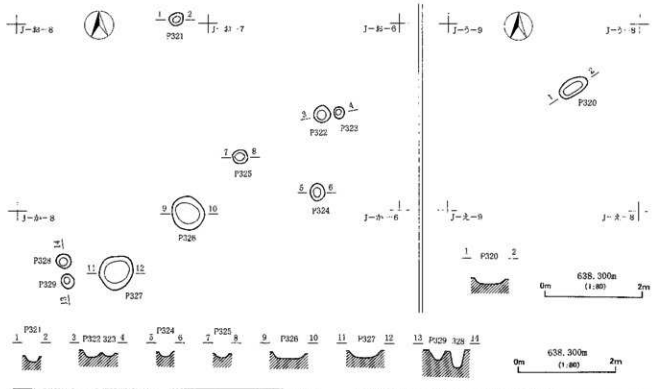


13 黒褐色土 (10YR2/3) の分布を記す。

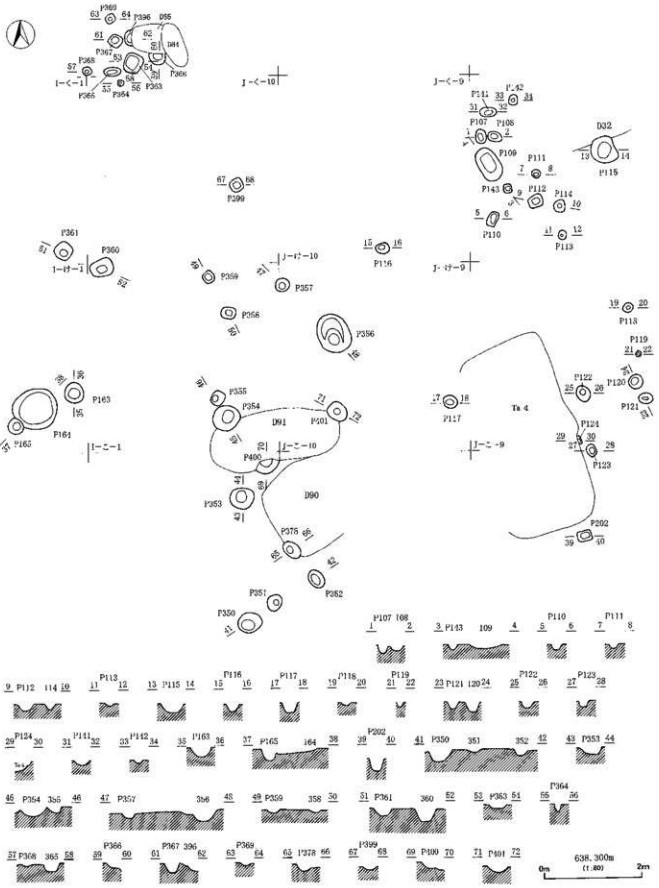
C区ビット実測図 (5)



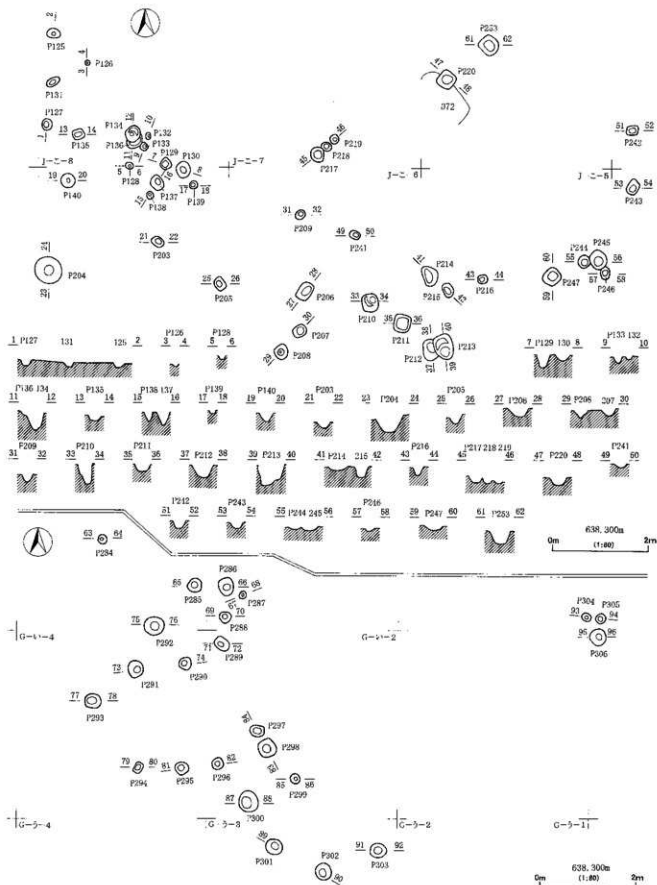
CKピット実測図 (6)



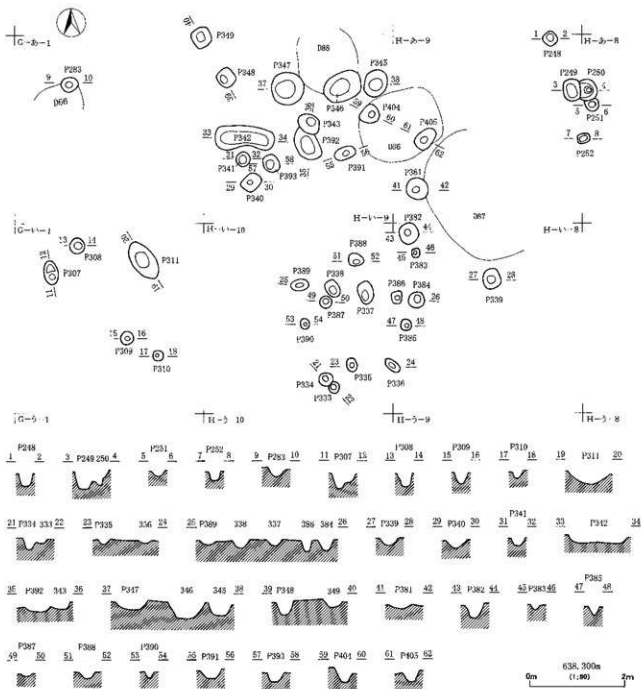
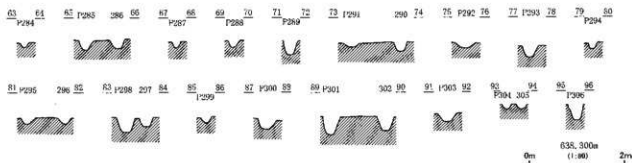
C区ビット実測図 (7)



C区ビット実測図(8)

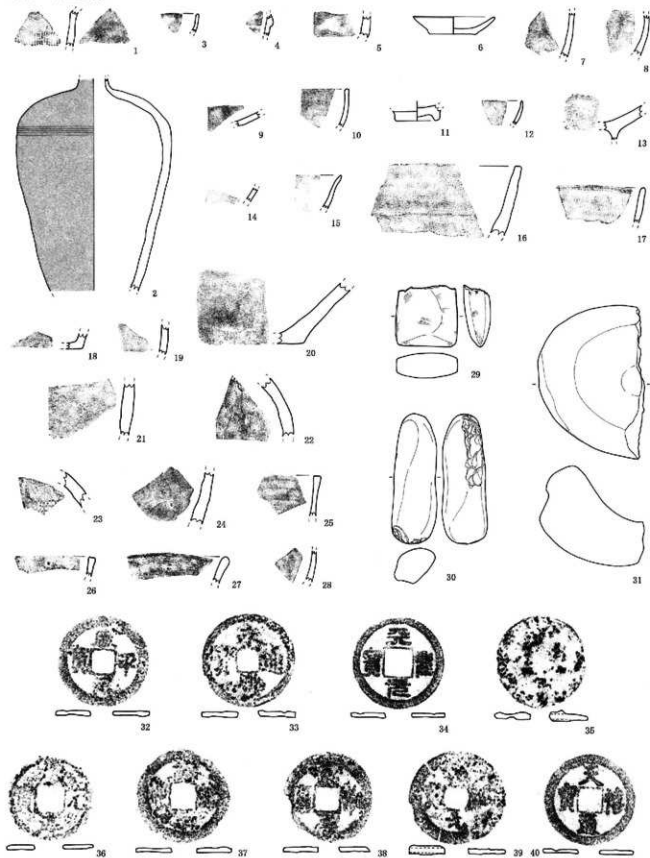


C区ビット実測図(9)



C区ビット実測図 (10)

(6) 出土遺物



C区遺物実測図

番号	品名	器形	器高	口径	底径	器底径	出所	調査		時期	特徴(外周)
								調査年	調査地		
1	土師器	土師器	112	80	30	1-1-3	香川	調査	調査	16c	25YR4/2赤褐色 土師器
2	土師器	土師器	226	126	34	1-1-3	香川	調査	調査	13c k-14c 前期	5Y7/2R1白 土師器
3	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
4	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
5	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
6	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
7	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
8	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
9	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
10	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
11	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
12	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
13	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
14	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
15	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
16	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
17	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
18	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
19	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
20	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
21	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
22	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
23	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
24	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
25	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
26	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
27	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
28	土師器	土師器	107	72	12	1-1-2	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	
番号	器名	器形	器高(cm)	口径(cm)	底径(cm)	器底径(cm)	出所	調査	調査	時期	特徴(外周)
29	土師器	土師器	96.0	66	22.0	22.0	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
30	土師器	土師器	136	88	36	36	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
31	土師器	土師器	118.0	118.0	18.0	18.0	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
番号	器名	器形	器高(cm)	口径(cm)	底径(cm)	器底径(cm)	出所	調査	調査	時期	特徴(外周)
32	土師器	土師器	2.47	0.39	0.16	0.16	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
33	土師器	土師器	3.51	0.56	0.17	0.17	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
34	土師器	土師器	3.48	0.59	0.15	0.15	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
35	土師器	土師器	2.45	0.33	0.3	0.3	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
36	土師器	土師器	2.3	0.73	0.13	0.13	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
37	土師器	土師器	3.53	0.69	0.15	0.15	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
38	土師器	土師器	3.16	0.59	0.14	0.14	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
39	土師器	土師器	2.58	0.62	0.27	0.27	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器
40	土師器	土師器	2.45	0.59	0.11	0.11	香川	調査	調査	19Y7/1R1白 土師器	土師器

C区遺物観察表

(7) 土坑・ピット観察表

遺構名	形態	南北(m)	東西(m)	深さ(m)	位置	調査	備考	遺構名	形態	南北(m)	東西(m)	深さ(m)	位置	調査	備考
D1	円形	112	80	30	1-1-3	香川	調査	D9	円形	214	158	16	1-1-4	香川	調査
D2	円形	226	126	34	1-1-3	香川	調査	D10	円形	98	225	12	1-1-10	香川	調査
D3	円形	178	72	12	1-1-2	香川	調査	D11	円形	168	300	35	1-1-2	香川	調査
D4	扇状	309	162	36	1-1-2	香川	調査	D12	扇状	330	141	14	1-1-2	香川	調査
D5	円形	84	276	13	1-1-2	香川	調査	D13	円形	125	92	40	1-1-2	香川	調査
D6	円形	161	172	22	1-1-2	香川	調査	D14	円形	90	66	32	1-1-2	香川	調査
D7	方形	161	194	25	1-1-2	香川	調査	D15	円形	283	164	50	1-1-2	香川	調査
D8	円形	122	280	180	1-1-1	香川	調査	D16	円形	1110	268	48	1-1-10	香川	調査

C区土坑観察表(1)

透視名	形種	高さ(cm)	底辺(cm)	頂辺(cm)	容積	備考
D17	楕円形	104	194	62	J-4-8	
D18	円形	162	112	20	J-4-8	六旗 中世
D19	楕円形	(180)	131	12	I-4-2	
D20	円形	120	101	29	I-4-3	
D21	楕円形	330	221	34	J-4-6	
D22	楕円形	310	160	30	I-4-2	
D23	円形	92	114	49	I-4-1	
D24	楕円形	184	318	36	J-4-7	
D25	円形	118	168	30	J-4-9	
D26	楕円形	230	176	26	J-4-7	
D27	楕円形	314	161	66	J-4-7	
D28	方形	(108)	246	280	I-4-1	
D29	円形	(178)	203	23	I-4-1	
D30	楕円形	124	180	12	J-4-8	
D31	楕円形	142	208	36	J-4-7	
D32	方形	160	252	23	J-4-8	
D33	長方形	284	123	14	K-2-5	
D34	楕円形	84	234	30	J-4-8	
D35	円形	178	170	48	J-4-6	
D36	円形	130	121	31	J-4-6	
D37	長方形	184	98	14	J-4-9	成澤西宮 中世
D38	不整形	285	216	34	J-4-4	山形西二石林 中世
D39	長方形	112	188	16	I-4-1	
D40	円形	96	84	34	I-4-4	
D41	方形	157	96	12	K-2-5	
D42	長方形	104	162	28	I-4-10	
D43	楕円形	162	(108)	10	I-4-1	鎌倉
D44	方形	222	218	20	I-4-1	
D45	円形	144	168	30	I-4-10	
D46	楕円形	169	78	28	I-4-10	
D47	円形	90	101	26	J-4-5	
D48	円形	106	92	24	J-4-1	
D49	円形	156	240	32	J-4-3	
D50	円形	129	130	34	K-4-2	
D51	長方形	92	(112)	13	K-4-1	
D52	楕円形	136	146	12	K-4-1	
D53	不整形	139	128	38	J-4-6	
D54	楕円形	201	202	13	J-4-9	
D55	楕円形	406	144	36	K-4-2	光厳遺蹟 中世
D56	?	(112)	(66)	(30)	K-4-1	

透視名	形種	高さ(cm)	底辺(cm)	頂辺(cm)	容積	備考
D57	円形	106	(104)	41	K-4-1	
D58	円形	192	(100)	28	K-4-1	
D59	楕円形	62	63	16	I-4-1	
D60	円形	90	(36)	(22)	I-4-10	
D61	円形	(67)	43	18	I-4-10	
D62	方形	(84)	141	(19)	I-4-10	
D63	長方形	214	174	14	H-4-10	
D64	方形	196	(136)	24	G-4-1	
D65	円形	282	(160)	28	G-4-1	資料
D66	円形	78	104	9	H-4-10	
D67	楕円形	(166)	186	26	G-4-1	
D68	楕円形	(220)	124	6	K-4-1	
D69	長方形	172	100	48	K-4-1	内閣府 種子磯片 中世
D70	円形	(96)	(96)	(24)	K-4-1	
D71	長方形	92	(90)	38	K-4-1	
D72	楕円形	129	61	20	J-4-5	
D73	楕円形	91	68	21	J-4-5	
D74	円形	80	(72)	16	I-4-2	
D75	円形	(52)	104	12	I-4-2	
D76	円形	64	68	41	I-4-2	
D77	楕円形	(108)	74	22	I-4-2	
D78	円形	112	131	38	I-4-5	
D79	円形	84	74	37	J-4-10	
D80	円形	96	82	64	J-4-10	
D81	楕円形	96	126	24	J-4-10	光厳遺蹟、光厳遺蹟、資料
D82	不整形	194	122	26	I-4-1	
D83	?	(64)	(96)	(12)	J-4-10	
D84	楕円形	100	41	28	J-4-10	
D85	楕円形	66	(62)	17	J-4-10	
D86	円形	118	180	12	I-4-9	
D87	楕円形	290	188	10	I-4-9	
D88	楕円形	106	128	14	H-4-9	
D89	円形	166	200	44	J-4-9	
D90	楕円形	184	216	18	J-4-9	
D91	楕円形	118	276	22	J-4-9	
D92	円形	81	85	19	J-4-10	
D93	円形	138	181	16	I-4-2	
D94	楕円形	66	112	8	I-4-1	
D95	楕円形	(70)	163	20	I-4-9	

C区上坑観察表(2)

ビット名	形種	高さ(cm)	底辺(cm)	頂辺(cm)	容積
1	楕円形	36	24	I-4-2	
2	楕円形	(32)	(16)	I-4-2	
3	円形	32	8	I-4-3	
4	円形	26	32	I-4-3	
5	円形	24	12	I-4-3	
6	円形	20	10	I-4-3	
7	楕円形	96	18	J-4-9	
8	円形	24	12	I-4-4	
9	円形	24	26	I-4-4	
10	円形	64	16	I-4-2	
11	楕円形	(56)	(14)	I-4-3	
12	方形	18	10	I-4-4	
13	方形	26	10	I-4-3	
14	方形	22	12	I-4-9	
15	長方形	24	20	I-4-8	
16	方形	26	8	I-4-3	
17	長方形	8	12	I-4-8	
18	円形	28	34	I-4-3	
19	円形	30	38	I-4-3	
20	楕円形	34	18	I-4-3	
21	方形	22	10	I-4-3	
22	方形	22	8	I-4-3	
23	円形	36	10	I-4-2	
24	円形	26	10	I-4-3	
25	円形	32	18	I-4-3	
26	円形	26	12	I-4-3	
27	円形	26	18	I-4-3	

ビット名	形種	高さ(cm)	底辺(cm)	頂辺(cm)	容積
28	円形	16	12	I-4-3	
29	方形	34	22	I-4-3	
30	楕円形	22	20	I-4-9	
31	方形	16	14	I-4-3	
32	楕円形	34	20	I-4-9	
33	方形	20	21	I-4-9	
34	円形	18	20	I-4-3	
35	円形	22	22	I-4-9	
36	円形	20	12	I-4-3	
37	楕円形	26	24	I-4-3	
38	楕円形	26	14	I-4-3	
39	楕円形	42	12	I-4-2	
40	円形	12	12	I-4-9	
41	円形	18	20	I-4-3	
42	円形	20	12	I-4-3	
43	円形	22	10	I-4-3	
44	円形	18	14	I-4-3	
45	円形	18	12	I-4-3	
46	楕円形	38	34	I-4-9	
47	円形	44	42	I-4-3	
48	円形	84	16	I-4-1	
49	円形	108	14	I-4-2	
50	円形	98	22	I-4-2	
51	円形	86	14	K-2-3	
52	円形	80	20	K-1-4	
53	円形	74	14	K-2-4	
54	円形	64	12	I-4-4	

C区ビット観察表(1)

ビット名	形種	高さ(cm)	底辺(cm)	頂辺(cm)	容積
55	円形	34	12	I-4-1	
56	楕円形	24	24	I-4-1	
57	楕円形	32	16	I-4-1	
58	円形	66	26	I-4-1	
59	円形	18	10	I-4-1	
60	円形	14	8	I-4-1	
61	円形	22	18	I-4-1	
62	円形	30	46	I-4-1	
63	円形	72	40	I-4-1	
64	円形	30	40	I-4-8	
65	円形	24	16	J-4-9	
66	円形	20	4	J-4-9	
67	円形	30	14	J-4-10	
68	円形	24	12	J-4-10	
69	円形	24	18	J-4-10	
70	円形	(18)	(12)	J-4-10	
71	円形	28	22	J-4-10	
72	円形	28	12	J-4-10	
73	円形	30	8	J-4-10	
74	円形	38	54	I-4-2	
75	円形	34	24	I-4-2	
76	円形	32	18	I-4-2	
77	円形	22	22	I-4-2	
78	円形	28	20	I-4-2	
79	円形	(26)	(12)	I-4-2	
80	楕円形	38	26	I-4-2	
81	円形	26	12	I-4-2	

ゾット号	形態	直径(cm)	高さ(cm)	検出位置
82	板中形	30	8	I-B-2
83	円形	40	34	I-B-2
84	方形	18	8	I-B-2
85	円形	22	12	I-B-2
86	円形	26	30	I-B-2
87	円形	22	14	I-B-2
88	円形	22	10	I-B-2
89	円形	46	50	I-B-2
90	円形	(16)	(12)	I-B-2
91	円形	31	20	I-B-1
92	円形	24	16	I-B-1
93	楕円方形	24	16	I-B-1
94	円形	34	20	I-B-1
95	方形	34	8	I-B-1
96	円形	30	12	I-B-1
97	円形	26	12	I-B-1
98	方形	24	14	I-B-1
99	円形	30	8	I-B-1
100	方形	22	6	I-B-1
101	方形	26	12	I-B-1
102	円形	40	40	I-B-1
103	円形	34	30	I-B-1
104	円形	26	12	I-B-1
105	円形	34	30	I-B-1
106	円形	(21)	22	I-B-1
107	円形	39	18	I-B-1
108	円形	32	30	I-B-1
109	楕円形	24	10	I-B-1
110	円形	32	12	I-B-1
111	円形	30	10	I-B-1
112	楕円方形	32	14	I-B-1
113	円形	20	6	I-B-1
114	円形	24	12	I-B-1
115	円形	38	20	I-B-1
116	円形	30	16	I-B-1
117	円形	30	22	I-B-1
118	円形	20	6	I-B-1
119	円形	12	12	I-B-1
120	円形	30	22	I-B-1
121	円形	30	16	I-B-1
122	方形	34	14	I-B-1
123	方形	26	14	I-B-1
124	楕円方形	18	30	I-B-1
125	円形	28	10	I-B-1
126	円形	10	6	I-B-1
127	円形	26	14	I-B-1
128	高形	16	8	I-B-1
129	方形	24	28	I-B-1
130	円形	30	14	I-B-1
131	楕円形	30	10	I-B-1
132	円形	16	8	I-B-1
133	楕円方形	16	14	I-B-1
134	円形	32	36	I-B-1
135	方形	26	12	I-B-1
136	方形	34	(10)	I-B-1
137	楕円方形	32	28	I-B-1
138	方形	14	20	I-B-1
139	円形	18	8	I-B-1
140	高形	30	18	I-B-1
141	楕円形	26	10	I-B-1
142	楕円方形	22	8	I-B-1
143	方形	30	12	I-B-1
144	円形	64	20	I-B-1
145	楕円形	30	8	I-B-1
146	高形	36	16	I-B-1
147	円形	26	16	I-B-1
148	円形	20	10	I-B-1
149	円形	36	28	I-B-1
150	楕円方形	32	24	I-B-1
151	円形	26	10	I-B-1
152	楕円方形	28	32	I-B-1
153	方形	30	30	I-B-1
154	方形	22	14	I-B-1
155	円形	32	24	I-B-1
156	円形	34	22	I-B-1

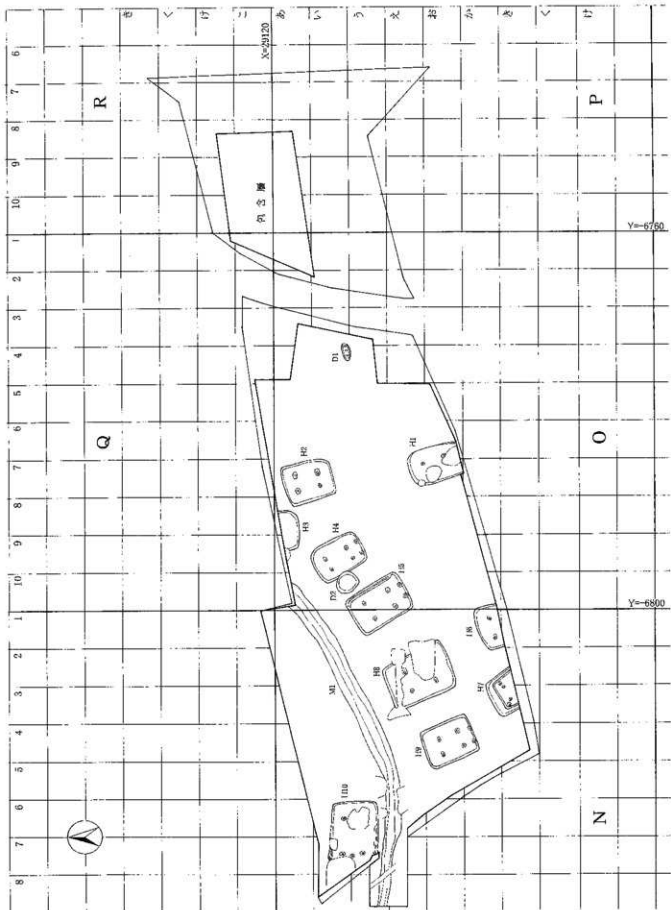
ゾット号	形態	直径(cm)	高さ(cm)	検出位置
157	楕円方形	34	32	I-B-3
158	円形	30	10	I-B-3
159	円形	(22)	(10)	I-B-3
160	楕円方形	30	30	I-B-3
161	楕円方形	30	16	I-B-3
162	円形	74	14	I-B-3
163	円形	44	22	I-B-3
164	円形	94	12	I-B-3
165	円形	32	20	I-B-3
166	円形	24	10	K-C-3
167	円形	20	14	K-C-3
168	方形	28	16	K-C-4
169	楕円形	30	10	K-C-4
170	円形	36	30	K-C-4
171	円形	48	48	K-C-4
172	楕円形	40	30	K-C-4
173	円形	18	8	I-A-4
174	円形	34	26	K-C-5
175	楕円形	140	16	K-C-5
176	円形	30	8	K-C-5
177	円形	28	22	I-A-4
178	円形	30	11	I-A-4
179	方形	30	28	I-A-4
180	円形	16	8	I-A-4
181	方形	30	30	I-A-5
182	円形	26	30	I-A-5
183	方形	18	16	I-A-5
184	方形	16	14	I-A-5
185	円形	26	24	K-C-2
186	円形	32	20	I-B-10
187	円形	32	18	I-B-3
188	方形	16	10	I-B-4
189	円形	32	38	K-C-1
190	円形	24	10	K-C-2
191	円形	68	12	K-C-3
192	円形	34	6	K-C-3
193	円形	32	24	K-C-3
194	円形	48	22	K-C-2
195	楕円方形	32	14	K-C-2
196	円形	24	6	K-C-1
197	円形	24	8	K-C-1
198	円形	28	12	K-C-2
199	円形	30	12	K-C-2
200	円形	28	15	I-B-2
201	円形	(22)	24	I-B-2
202	方形	30	28	I-B-2
203	方形	26	12	I-B-2
204	円形	56	38	I-C-7
205	方形	28	20	I-C-7
206	方形	40	18	I-C-6
207	楕円方形	30	16	I-C-6
208	円形	34	16	I-C-6
209	円形	22	16	I-C-6
210	楕円方形	34	44	I-C-6
211	方形	34	16	I-C-6
212	円形	46	20	I-C-5
213	円形	54	44	I-C-5
214	円形	46	8	I-C-5
215	方形	30	24	I-C-5
216	方形	20	20	I-C-5
217	円形	28	14	I-B-6
218	円形	22	16	I-B-6
219	円形	22	16	I-B-6
220	方形	36	16	I-B-6
221	円形	28	12	I-A-2
222	円形	28	20	I-A-2
223	円形	20	32	I-A-3
224	円形	24	8	I-A-3
225	円形	16	12	I-A-3
226	円形	18	8	I-A-3
227	円形	58	42	I-A-3
228	円形	32	38	I-A-3
229	円形	22	12	I-A-3
230	高形	18	6	I-A-3
231	円形	20	18	I-A-3

ゾット号	形態	直径(cm)	高さ(cm)	検出位置
232	円形	32	34	I-A-3
233	円形	38	36	I-A-3
234	楕円形	44	44	I-A-3
235	円形	41	20	I-A-3
236	円形	24	26	I-A-2
237	円形	24	26	I-A-2
238	楕円形	50	22	I-A-2
239	方形	26	26	I-A-2
240	楕円方形	36	30	I-A-2
241	楕円方形	22	8	I-A-2
242	方形	24	16	I-B-4
243	楕円方形	34	14	I-B-4
244	円形	28	6	I-B-5
245	円形	42	10	I-B-5
246	円形	28	6	I-B-5
247	円形	34	12	I-B-5
248	楕円方形	30	26	I-B-6
249	楕円方形	48	36	I-B-6
250	円形	16	32	I-B-6
251	円形	28	12	I-B-6
252	方形	26	20	I-B-6
253	方形	40	26	I-B-6
254	円形	32	16	K-C-2
255	円形	26	10	K-C-1
256	円形	28	18	I-C-10
257	円形	40	16	I-C-10
258	円形	32	16	I-C-10
259	円形	34	32	I-C-10
260	円形	32	12	I-C-9
261	楕円形	52	12	I-C-9
262	楕円方形	44	10	I-A-10
263	円形	48	28	I-B-4
264	円形	28	18	I-B-4
265	円形	44	30	I-B-4
266	楕円形	66	34	I-B-4
267	円形	44	46	I-B-4
268	円形	40	26	I-B-4
269	円形	30	12	I-B-5
270	円形	32	18	I-B-5
271	円形	32	12	I-B-5
272	円形	60	12	G-A-4
273	高形			
274	高形	32	10	I-B-1
275	高形	56	12	I-B-1
276	方形	30	8	I-B-1
277	円形	24	10	I-A-1
278	円形	28	18	I-A-10
279	円形	32	8	I-B-10
280	円形	42	8	I-B-10
281	円形	20	8	I-A-10
282	円形	24	8	I-A-10
283	円形	36	22	I-B-10
284	円形	20	12	G-A-3
285	高形	30	22	G-A-3
286	楕円方形	32	20	G-A-3
287	円形	16	14	G-A-3
288	円形	26	16	G-A-2
289	楕円方形	34	30	G-A-2
290	円形	26	20	G-A-3
291	円形	32	8	G-A-3
292	円形	42	12	G-A-3
293	高形	34	24	G-A-3
294	方形	24	16	G-A-3
295	円形	30	12	G-A-3
296	円形	26	12	G-A-2
297	円形	32	20	G-A-2
298	楕円方形	36	32	G-A-2
299	円形	20	14	G-A-2
300	円形	40	24	G-A-2
301	円形	36	40	G-A-2
302	円形	34	32	G-A-2
303	高形	36	20	G-A-2
304	高形	20	10	G-A-10
305	高形	22	10	G-A-10
306	円形	36	32	G-A-1

C区ビット観察表(2)

ビット名	形状	直径(mm)	長さ(mm)	射出位置	ビット名	形状	直径(mm)	長さ(mm)	射出位置	ビット名	形状	直径(mm)	長さ(mm)	射出位置
307	円形	52	32	H-10	340	方形	42	16	H-9	373	円形	42	14	I-8-1
308	円形	32	30	H-10	341	円形	30	16	H-9	374	円形	34	8	I-8-1
309	円形	26	24	H-10	342	楕円形	136	14	H-9	375	六角形	22	18	J-8-10
310	楕円形	32	14	H-10	343	円形	30	14	H-9	376	六角形	40	16	J-8-10
311	六角形	86	28	H-10	344	六角形				377	円形	42	11	J-8-10
312	円形	34	22	L-10	345	円形	38	26	H-9	378	円形	42	16	J-9
313	円形	28	44	K-5	346	六角形	84	36	H-9	379	円形	36	6	J-8-1
314	円形	26	38	K-5	347	六角形	70	23	H-9	380	円形	22	8	I-8-1
315	円形	26	38	K-5	348	楕円形	36	30	H-9	381	円形	30	20	J-8-8
316	楕円形	50	36	J-8-5	349	楕円形	40	18	H-10	382	円形	42	32	H-8
317	円形	22	14	J-8-5	350	円形	52	26	J-10	383	楕円形	18	12	H-8-8
318	円形	30	20	J-10	351	円形	34	6	J-10	384	六角形	34	24	H-8-8
319	円形	40	12	J-10	352	円形	42	14	J-10	385	六角形	24	18	H-8-8
320	楕円形	62	12	J-8-8	353	円形	52	16	J-10	386	円形	24	20	H-8-8
321	円形	28	14	J-8-7	354	円形	34	22	J-10	387	円形	26	6	H-8-9
322	円形	34	16	J-8-6	355	楕円形	26	24	J-10	388	円形	32	13	H-8-9
323	円形	26	8	J-8-6	356	円形	44	26	J-10	389	楕円形	34	9	H-8-9
324	六角形	38	22	J-8-6	357	円形	30	10	J-10	390	円形	24	14	H-8-9
325	六角形	32	8	J-8-6	358	楕円形	32	6	J-10	391	楕円形	46	20	H-8-9
326	六角形	72	14	J-8-7	359	六角形	24	8	J-10	392	楕円形	76	12	H-8-9
327	六角形	72	16	J-8-7	360	楕円形	48	28	J-10	393	六角形	38	20	H-8-9
328	六角形	32	38	J-8-7	361	楕円形	36	16	J-10	394	円形	52	16	J-10
329	六角形	32	22	J-8-7	362	円形	36	22	J-10	395	円形	44	10	J-10
330	円形	34	10	J-8-10	363	円形	42	8	J-8-10	396	円形	(14)	(16)	J-8-10
331	円形	20	4	J-8-9	364	円形	12	18	J-10	397	円形	(24)	6	J-8-1
332	円形	20	26	J-8-9	365	楕円形	34	27	J-8-10	398	円形	(11)	5	J-8-1
333	円形	24	8	H-9	366	円形	(34)	9	J-8-10	399	円形	38	8	J-10
334	円形	26	24	H-9	367	円形	25	20	J-8-10	400	円形	(28)	14	J-10
335	円形	29	10	H-9	368	楕円形	17	4	J-10	401	六角形	44	14	J-10
336	楕円形	26	6	H-9	369	楕円形	20	4	J-8-10	402	円形	30	26	J-8-1
337	楕円形	48	14	H-9	370	楕円形	32	8	J-8-10	403	円形	(48)	12	J-8-10
338	楕円形	27	18	H-9	371	円形	16	8	J-8-1	404	円形	48	32	H-8-9
339	円形	44	16	H-8-8	372	円形	32	20	J-8-1	405	楕円形	33	24	H-8-8

CKビット観察表(3)

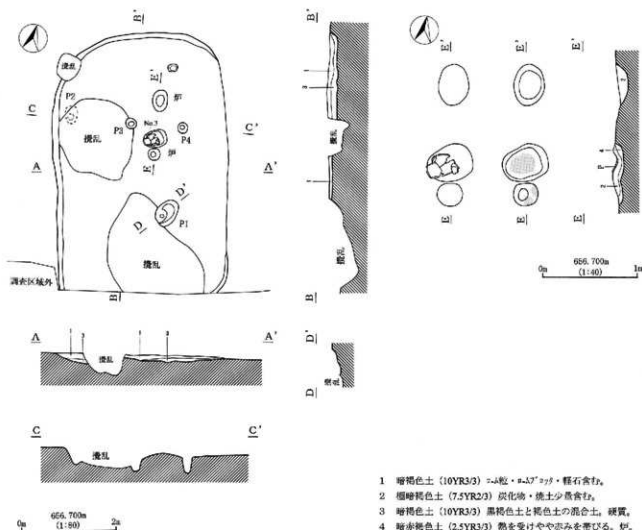


第四章 熊の堂遺跡

第1節 竪穴住居址

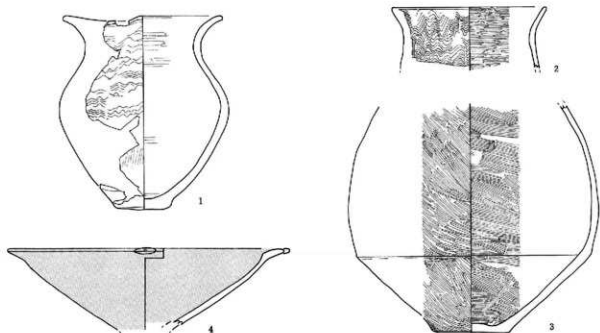
H1号住居址

遺構は調査区東南のO-え-6グリッドに位置し、南側の一部は調査区域外となる。また、東側は床面付近の高さまで削り取られ、住居址内も近年の擾乱に一部破壊されている。調査規模は南北5.4m、東西3.6m、検出面から床面までの深さは最大で12cmを測る。平面形態は調査状況から南北方向に長軸を持つ隅丸の長方形と考えられる。床面には貼床と考えられる、全体に薄い硬質層が存在する。地山を平らにする程度で土間状の床面としていたと考えられる。ピットは床面上で4個確認できた。P1・3・4が支柱穴と思われる。炉はP3・4間に存在し、弥生土器の壺底部が敷き詰められ、底面は熱によって硬質化していた。また、北側1mに地床炉と思われる焼土・炭化物を含む極暗褐色土が堆積した円形の窪みが存在した。掘方確認のため、硬質層を除去したが、直下は板状に剥離する軟質な岩盤となり、床面と掘方との間に明確な埋土は認められない。遺物は弥生土器の壺・甕・高坏が出土した。壺は丸みを持った胴部下に明瞭な稜を持ち、稜下部からは直線的に底部に至る。甕の表面は磨耗気味で外面に縞掛波状文を施す。高坏は坏部の破損品で内外面赤色塗彩を施し、口縁部は大きく外に開く鈎状口縁で突起が認められる。本住居址は、丸みを持つ胴部下半に明瞭な稜を伴う壺及び大きく開く鈎状口縁を持つ高坏から、弥生時代後期後半と考えられ、遺物は箱清水式とした。



- 1 暗褐色土 (10YR3/3) 赤土・黒土・粘土・軽石含む。
- 2 極暗褐色土 (7.5YR2/3) 炭化物・焼土少量含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3/3) 黒褐色土と褐色土の混合土、硬質。
- 4 暗赤褐色土 (2.5YR3/3) 熱を受けやや赤みを帯びる。

H1号住居址実測図

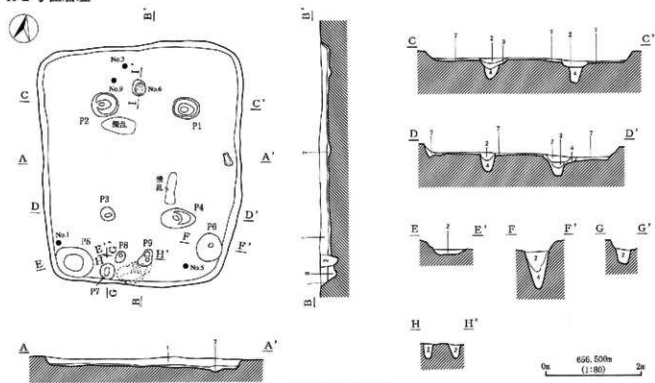


H 1号住居址遺物実測図

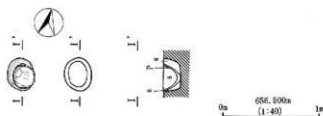
番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調査・文様	現在所・出所	備考
1	赤土器	甕	[16.7]	5.7	20.7	外面1/3線-縁部中央付対稱條状文・表面厚味著しい 内面1/3線付・土器全	50	外底に2.5x3.6の赤褐色 墨区出上
2	赤土器	甕	[16.2]	—	16.6	口縁外周部條状文・内面1/3線	山形権片	外底に2.5x3.6の赤褐色 墨区出上
3	赤土器	甕	—	7.0	10.0	外底の寸目・文等全・内面ハ寸目	板塚-調査所	外底に1.7x0.9の赤褐色 墨区出上
4	赤土器	甕	[29]	—	16.0	内外面赤褐色・表面1/3線・口縁・底部あり	河部10	内底に2.5x3.6の赤褐色 墨区出上

H 1号住居址遺物観察表

H 2号住居址



H 2号住居址実測図 (1)

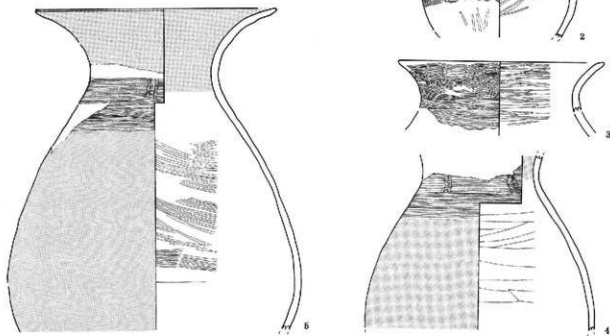


- 1 黒褐色土 (10YR2/3) 礫・炭化物・礫石含む。
- 2 黒褐色土 (10YR2/3) 礫を含む。しまりなし。
- 3 暗褐色土 (10YR3/4) 礫を含む。しまりなし。
- 4 にぶい黄褐色土 (10YR4/3) やや砂質。しまりなし。
- 5 暗褐色土 (7.5YR3/4) 灰・粘土少量含む。しまりなし。
- 6 暗赤褐色土 (2.5YR3/2) 熱を受けやや赤みを帯びる。灰。
- 7 褐色土 (10YR4/6) 硬質。灰。
- 8 黒褐色土 (10YR2/3) 硬質。灰。

H 2号住居址実測図 (2)

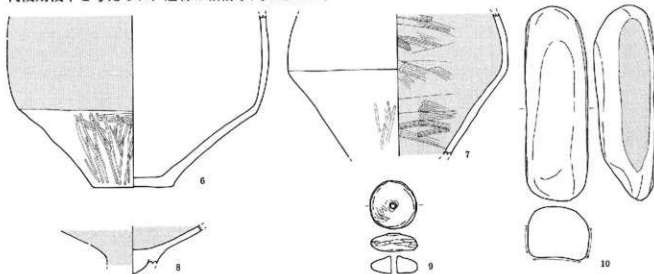
遺構は調査区東のO-あ-7グリッドに位置する。規模は南北5.2m、東西4.0m、検出面から床面までの深さは20cmを測る。平面形は南北に長軸を持つ、やや台形状の長方形である。床面は全体的に硬質で、薄い貼り床と思われる硬質層が一面に認められる。ピットは9個確認でき、P1~4が主柱穴である。平面形態は、確認面上では楕円形または円形だが、10cm程度掘り下げた下部の掘り込み形態は全て東西に長軸を持つ楕円形となる。深さは45cm内外を測る。南壁際のP7・8・9の平面形は南北方向に長軸を持つ楕円形で入口に関するピット、P6の平面形は円形で貯蔵に関するピットと思われる。炉はP1・2の中間やや北に位置し、上部が欠損した弥生土器の壺の底部から胴下半付近を埋め込んだ埋設炉である。埋設土器直下と掘り間に堆積した土は熱による焼け込みが認められ、炉の掘方である窪みの壁側面は赤く硬質化していた。住居址の掘方確認のため、硬質層を除去した結果、床面と掘方の間に明確な埋土は認められなかった。掘方を平らにする程度で土間状の床として利用していたと考えられる。

遺物は弥生土器の壺・高杯・甕、すり石、紡錘車が出土した。壺は外面及び口縁内部に赤色塗彩を施し、頸部に櫛描縞状文及び櫛描横線文を施す。炉に埋設されていた胴部下部は明瞭な稜を持ち、やや内湾気味に底部に至る。甕は外面櫛描波状文、または櫛描波状文に頸部櫛描横線文・櫛描縞状文を施すものが存在する。高



H 2号住居址遺物実測図 (1)

坏は坏部の破損品である。壺の胴下部に明瞭な襷を伴い、やや内湾気味に底部に至る形状から弥生時代後期後半と考えられ、遺物は箱清水式としたい。



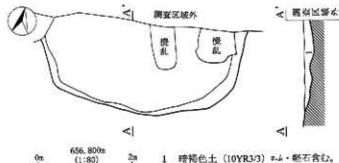
H 2号住居址遺物実測図(2)

番号	器種	形状	口径cm	口径cm	器高cm	調査・文様	残存部位	備考
1	弥生土器	甕	20.3	—	(22.6)	外胴1/3部・趾部曲線部破損状文・底面無縁部破損状文 頸下凹溝ミダキ 内面ミダキ	35	外胴2YR7/4に赤い橙黄色 1・5区出土
2	弥生土器	甕	17.6	—	(13.8)	外胴1/3部-胴中央区部から-部曲線部破損状文 内面ミダキ	70	外胴2YR7/4に赤い橙黄色 1区出土
3	弥生土器	甕	21.4	—	(7.9)	1区出土無縁部破損状文 表部無縁部破損状文 内面無ミダキ	口縁100	外胴2YR7/4に赤い橙黄色 1区出土
4	弥生土器	甕	—	—	(18.4)	外胴無縁部破損状文・部曲線部破損状文 赤色地影 内面ヘラナデ	胴部-胴下破損片	外胴2YR5/5-6弱赤褐色 1区出土
5	弥生土器	甕	25.5	—	(34.1)	外胴無縁部破損状文・部曲線部破損状文 赤色地影 内面曲線部破損状文 ミダキ 頸下凹溝ミダキ	30	外胴2YR5/5-6弱赤褐色 1区出土
6	弥生土器	甕	—	8.5	(18.3)	外胴赤色地影 頸下凹溝ミダキ 内面無縁	底部-胴下破損片	外胴2YR5/5-6弱赤褐色 1区出土
7	弥生土器	甕	—	—	(13.0)	外胴赤色地影 内面赤色地影 ハケ目 やや厚紙	胴下破損片	外胴2YR6/2弱赤褐色 2区出土
8	弥生土器	西坏	—	—	(5.0)	内外面赤色地影破損 縁部差しい 裏面縁部折欠部	坏部結合破損片	外胴2YR7/2弱赤褐色 1区出土
番号	器種	形状	最大径(cm)	最大径(cm)	最大径(cm)	調査・文様	重量(g)	備考
9	土製品	磁器	5.1	4.9	1.9	中央に穿孔 95.0-95.6mm 表割ケ文字・ナデ	41.09	
10	石器	すり石	20.6	6.7	6.2	表面なめらかな すり面あり	1414.43	

H 2号住居址遺物観察表

H 3号住居址

遺構は調査区北のO-あ-8グリッドに位置し、北側の多くは調査区域外となる。調査規模は南北2.0m、東西4.0m、検出面から床面までの深さは20cm内外を測る。床面は部分的に硬質面が残るものの近年の耕作によって凹凸感が著しい。ピット・炉などの施設は確認できなかった。



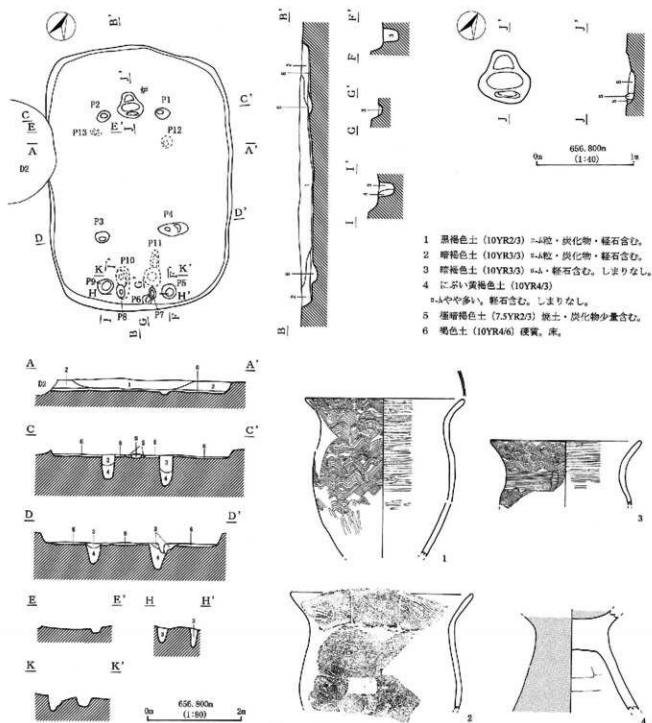
H 3号住居址実測図

H 4号住居址

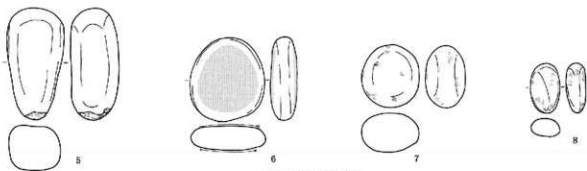
遺構は調査区北のO-い-9グリッドに位置し、西側の一部をD2に破壊される。規模は南北5.5m、東西3.7m、検出面から床面までの深さは最大で30cmを測る。平面形態は隅の丸い南北方向に長軸を持つ長方形である。床面には薄い硬質層が一面に存在し、直下は地山である板状に剥離する軟質の岩盤となる。ピットは床面上で9個確認できた。主柱穴はP1~4で、深さは65cm内外を測る。平面形態はやや東西方向に長軸を持つ楕円形である。P5・9は貯蔵に、P7・8は入口に関係すると考えられる。これらのピットはいずれも地山の岩盤へ掘り込まれている。炉は北側主柱穴のP1・2間に設置され、床面を僅かに掘り窪めた地床炉である。南際には炉縁石が設置され、焼土・炭化物を含む極薄

色土が堆積していた。他の住居址に認められる底面への焼け込みは存在しなかった。住居址の掘方確認のため、硬質層を除去したが、床面と掘方の間に明確な埋土は認められなかった。地山を平らにする程度で土間状の床として利用したと考えられる。

遺物は弥生土器の甕・高坏、敲石、すり石が出土した。甕は外面縞描波状文、または縞描波状文に頸部縞描簾状文を施す。口唇部には刻みが施される。高坏は脚部外面・みこみ部に赤色塗彩された脚部破損品で透かし孔の痕跡が認められる。本住居址は脚部に透かし孔の痕跡が認められる高坏の存在から弥生時代後期後半と考えられ、土器は箱清水式としたい。



H4号住居址遺構・遺物実測図

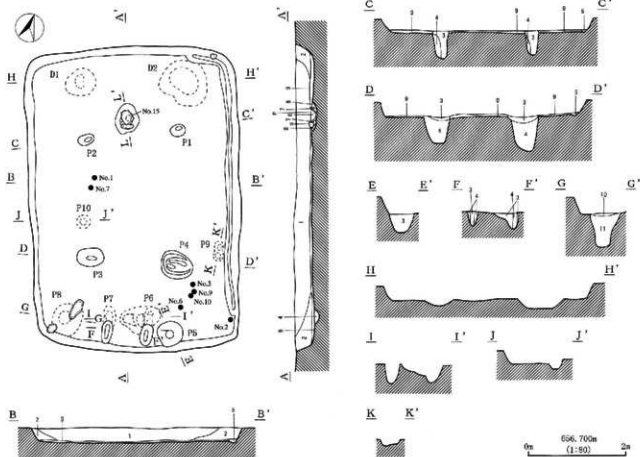


H4号住居址遺物実測図

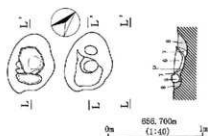
番号	部種	部形	口径(cm)	直径(cm)	器高(cm)	調査・文意	残存中・単位	備考
1	赤生土器	壺	[16.7]	—	(20.7)	外底口縁から裏上縁縁起状文・胴下彫刻ミダキ 内底縁ミダキ・ミダキ・口縁縁起目	50	外底7.5×27.4に赤い帯色 M区出土
2	赤生土器	甕	[19.0]	—	(21.1)	口縁部削目 内底口縁・胴部縁起状文 胴部縁起状文	口縁部—口縁起目	7.5×14.2に褐色斑 I・M区出土
3	赤生土器	甕	[15.2]	—	(6.6)	口縁外縁縁起状文 胴部縁起状文 内底ハケミダキ・胴ミダキ	口縁起目	外底7.5×16.4に赤い帯色 M区出土
4	赤生土器	高杯	—	—	(10.6)	胴部外縁・内底縁・口縁赤色帯形・ミダキ 胴部内面ヘラミダキ	胴部起目	内底10.4×6.4に赤い帯色 M・F区出土
番号	部種	部形	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	調査・文意	重量(g)	備考
5	石器	磁石	11.9	6	4.8	先端に磨打面 表面一面に埋込み	594.31	
6	石器	十字石	8.9	7.9	2.7	表面磨ら小	212.19	M区出土
7	石器	十字石	6.6	6.1	4.2	表面磨ら小	312.19	F区出土
8	石器	十字石	5.2	3.1	1.9	表面磨ら小	287.5	F区出土

H4号住居址遺物観察表

H5号住居址



H5号住居址実測図(1)



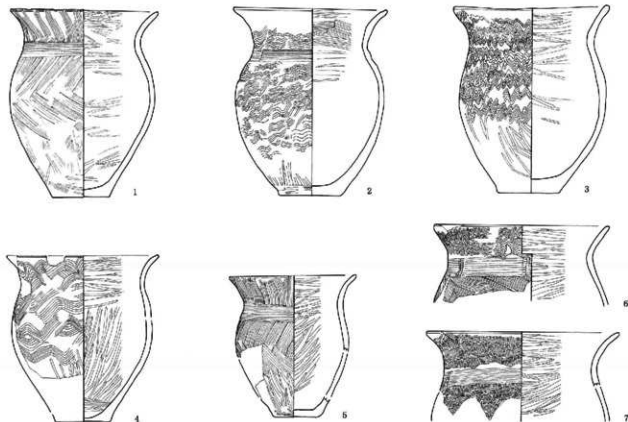
- 1 暗褐色土 (10YR3/3) s.s・炭化物・軽石含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3/4) s.s・炭化物・軽石含む。
- 3 暗褐色土 (10YR3/4) s.s・軽石含む。しまりなし。
- 4 にがい黄褐色土 (10YR4/3) s.s・軽石やや多く含む。
- 5 にがい黄褐色土 (10YR4/3) やや砂質。しまりなし。
- 6 暗褐色土 (7.5YR3/3) 炭化物・灰少量含む。炉。

- 7 暗赤褐色土 (2.5YR3/4) 焼土化。やや砂質。炉。
- 8 黒褐色土 (5YR2/2) 焼土含む。硬質。
- 9 黒色土 (10YR4/0) 灰面。硬質。
- 10 黒褐色土 (10YR2/2) s.s・軽石含む。硬質。床。
- 11 黒褐色土 (10YR2/2) s.s・軽石含む。しまりなし。

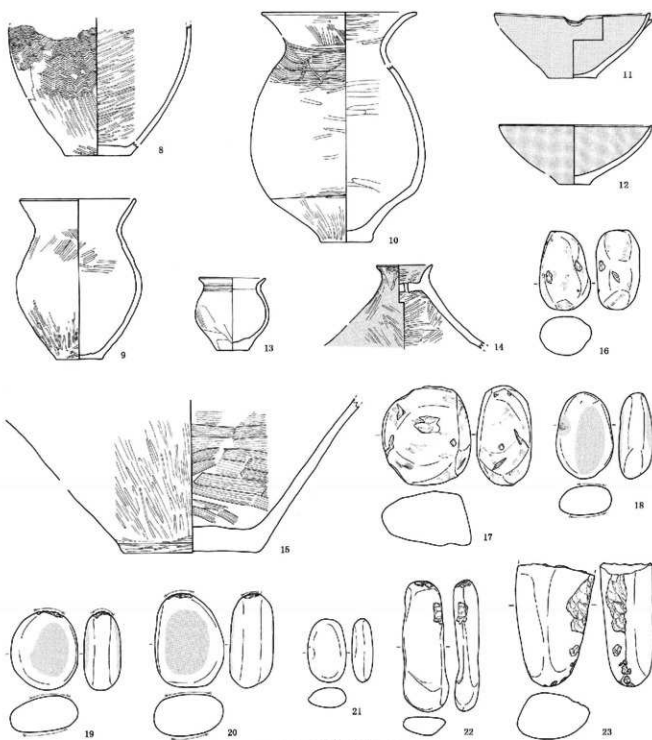
H5号住居址実測図(2)

遺構は調査区のO-う-10グリッドに位置する。規模は南北6.2m、東西4.2m、確認面から床面までの深さは最大40cmを測る。平面形態はやや隅丸の南北方向に長軸を持つ長方形である。床面は全体的に薄い硬質層が存在し、直下は地山の板状に剥離する軟質な岩盤層となる。東壁際には浅い壁溝が掘りこまれている。ピットは硬質層上で7個確認できた。主柱穴はP1~4で、確認面での平面形態は楕円形、円形を呈するが掘り込み形態は全て東西に長軸を持つ楕円形である。P6・7は入口に、P5は貯蔵に関するピットと考えられる。炉は北側主柱穴P1・2の中間からやや北に寄った位置で確認された。炉には上部の大半を欠損した大型の壺底部付近を、床に掘り込んだ窪みに埋設し、壺の南脇に炉縁石が設置されている。炉の掘方と壺の間には焼土化した暗赤褐色土が堆積し、掘方である窪みの側面壁は赤く焼土化し、硬質であった。床面全体に薄く存在する硬質層除去後、地山の岩盤上から小ピット2個、南西コーナーから1個のピット及び北壁沿いから窪み状の土坑2基を新たに確認した。住居址の掘方確認のため、硬質層を除去したが、床面と掘方の間に明確な埋土は認められなかった。掘方を平らにする程度で土間状の床として利用したと考えられる。

遺物は、南東コーナー付近の床直上から形状の残る弥生土器の甕等が出土した。本住居址の時期は弥生時代後期と考えられる。



H5号住居址遺物実測図(1)



H 5号住居址遺物実測図(2)

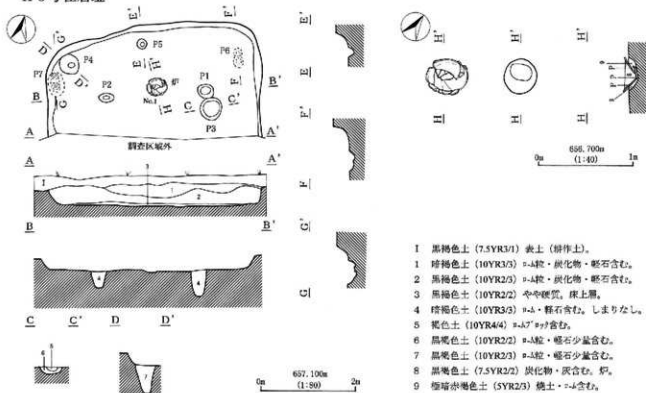
番号	器名	器形	口径mm	高/mm	器底径mm	施文・文様	保存部・部位	備考
1	炊土器	甕	155	6	30	口内縁斜打 外肩1/4部中央縁斜線文の組み合わせによる同文 他縁動線縁文 胴下部ニギキ 内面縁ニギキ	90	外肩10YR7/41:25+赤褐色
2	焼土土器	甕	16	64	30	外肩1/4部斜打 口下部から胴部漸進状文 胴下部ニギキ 内面縁ニギキ	90	外肩5YR7/41:25+赤褐色
3	焼土土器	甕	16.3	64	19.8	外肩1/4部一帯部中央縁斜線文 胴下部ニギキ 内面縁ニギキ	70	外肩5YR5/21:25+赤褐色
4	焼土土器	甕	[16]	59	17.6	外肩1/4部一帯部中央縁斜線文 胴下部ニギキ 内面縁ニギキ	60	外肩2YR5/41:25+赤褐色
5	炊土器	甕	13.3	8.1	18	外肩縁部斜打文の組み合わせによる同文 胴部斜線縁文 口下部ニギキ 内面縁ニギキ	90	外肩2YR7/41:25+赤褐色 口内縁上
6	炊土器	甕	18.3	—	08.0	外肩1/4部斜打斜打文 胴部斜線縁文 胴部斜線縁文 内面縁ニギキ	口縁一帯上部	外肩2YR5/41:25+赤褐色

H 5号住居址遺物観察表(1)

番号	品名	形状	口径cm	底径cm	高さcm	調査・文様	保存年・部位	備考
7	赤色土器	罌	20.2	—	(10.5)	外周1線・胴部斜線文・肩部條線海状文・内面直文など・NO2と同一個体の可能性あり	I層~II上部	外観10YR7/4に近い赤褐色
8	赤色土器	罌	—	6.8	(13.0)	外周飾帯斜線文・胴下部直文・肩部條線海状文・内面直文など・NO2と同一個体の可能性あり	III層~III下部	外観10YR7/4に近い赤褐色
9	赤色土器	罌	12.2	4.8	7.7	外周飾帯斜線文・胴下部直文・肩部條線海状文・内面直文など・NO2と同一個体の可能性あり	III層	外観10YR7/4に近い赤褐色
10	赤色土器	罌	[16.2]	5.4	21.3	外周1線・胴部直文・肩部條線海状文・内面直文など・NO2と同一個体の可能性あり	I層下部	外観10YR7/4に近い赤褐色
11	赤色土器	罌	16	4.8	6.8	内周赤褐色塗彩・口縁部一ヶ所竹片あり	85	内周飾帯斜線文・胴下部直文・肩部條線海状文・内面直文など・NO2と同一個体の可能性あり
12	赤色土器	罌	15.8	3.1	6.3	内周赤褐色塗彩・外周斜線文	30	外観10YR7/4に近い赤褐色
13	赤色土器	小罌	[7]	3.4	7.6	外周飾帯斜線文・胴下部直文	30	外観10YR7/4に近い赤褐色
14	赤色土器	罌	つまみ 18.6	—	(8.8)	内周飾帯斜線文・胴下部直文・つまみ部深さ6cmの穿孔	86	外観10YR7/4に近い赤褐色
15	赤色土器	罌	—	14.2	(16.2)	外周斜線文・内周斜線文	86	外観10YR7/4に近い赤褐色
番号	品名	形状	口径(cm)	底径(cm)	高さ(cm)	調査・文様	保存年・部位	備考
16	軽石罌	すり石	8.4	5.3	4.2	全体にすり石	69.79	25YR 2/6 白色 I 区白土
17	軽石罌	すり石	10.5	9.2	5.8	全体にすり石	161.23	25YR 2/6 白色 I 区白土
18	石罌	すり石	9.1	5.8	3.3	全体にすり石 腹面に空みあきのすり石 縦溝状に使用か?	270.05	5Y6 1/8 褐色 II 区白土
19	石罌	すり石・磨石	8.3	7.2	3.8	腹縁先端部に磨打痕 正面・裏面にすり石	306.05	25YR 1/1 褐色 I 区白土
20	石罌	すり石・磨石	9.9	7.3	4.6	腹縁先端部に磨打痕 正面・裏面にすり石	519.18	5Y7 1/6 褐色 I 区白土
21	石罌	すり・磨石	6.7	4	2.2	全体に磨りか	87.17	10Y5 1/1 褐色 I 区白土
22	石罌	磨石	13.8	4.9	2.6	腹縁先端部に磨打痕 腹面一部磨打	245.57	10Y5 1/1 褐色 I 区白土
23	石罌	磨石	(13)	8.2	5.5	片欠欠損 腹縁先端から片側腹面にかけて磨打痕	796.60	10YR 7/2 に近い赤褐色 I 区白土

H 5号住居地層観察(2)

H 6号住居址

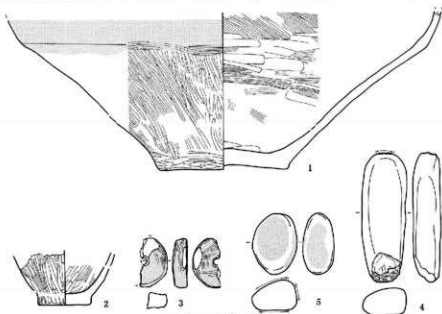


H 6号住居址実測図

遺構は調査区南のN-1-1グリッドに位置し、南側は調査区域外となる。調査規模は南北2.4m、東西4.2m、確認面からの床面までの深さは40cm、表土から床面までの深さは60cmを測る。平面形態は調査範囲から、やや隅丸の方形又は長方形と考えられる。床面には薄い貼り床と思われる硬質層が一面に存在し、直下は板状に剥離する軟質な岩盤となる。ピットは床面と思われる硬質層上で5個確認できた。P1・2が主柱穴である。平面形態は確認面上で楕円又は円形を呈するが、掘り込み形態は全て東西方向に長軸を持つ楕円形となる。P5は位置的に椀持柱の可能性が考えられる。ピットは

いずれも軟質な岩盤層に掘り込まれている。炉はP1・2の中間から僅かに北に寄った位置で確認された。炉には上部の大半を欠損した大型壺の底部周辺を、床面に掘り込んだ窪みに埋設していた。炉と窪みの僅かな隙間には焼土化した極暗赤褐色土が堆積し、炉の掘方である窪み側面壁の一部は熱により焼土化し、硬質であった。住居址の掘方確認のため薄い硬質層を除去した結果、床面と掘方の間に明確な埋土は認められなかった。掘方を平らにする程度で土間状の床として利用していたと考えられる。また、壁際に小ピット2個が確認できた。

遺物は弥生土器の壺・甕紡錘車、敲石、すり石が出土したが、炉に使用された壺底部以外は小破片が大半を占める。壺底部は大型で残存部の最大径は45cmを超える。胴下部には明瞭な稜を持ち、稜から底部に向かってやや内湾気味である。本住居址の時期は、胴下部に明瞭な稜を持つ壺から弥生時代後期後半と考えられ、土器は箱清水式としたい。



H 6号住居址遺物実測図

番号	器種	器形	118cm	底径cm	高径cm	調査文書	残存部・部位	備考
1	壺の上部	甕	—	13.4	(16.6)	外側面赤褐色塗 胴下部4寸 内面ハシ目・ナメ	外側面5/17/45.2、赤褐色 硝化面	
2	壺の上部	甕	—	5.4	(5.4)	外側面赤褐色塗 胴下部1寸半 内面1寸半	外側面5/17/45.2、赤褐色 硝化面	
番号	器種	器形	最大径(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	調査文書	重量(g)	備考
3	土紡錘	紡錘車	(5.2)	(2.9)	1.5	中央に160.6cmの穿孔 外側赤褐色	(20.9)	1/2欠損
4	石器	敲石	13.7	4.8	3	上下面に粗粒質 表面滑らか	340.65	先端部一小欠損による欠陥か?
5	石器	すり石	6.4	4.6	3.3	表面滑らか	139.55	

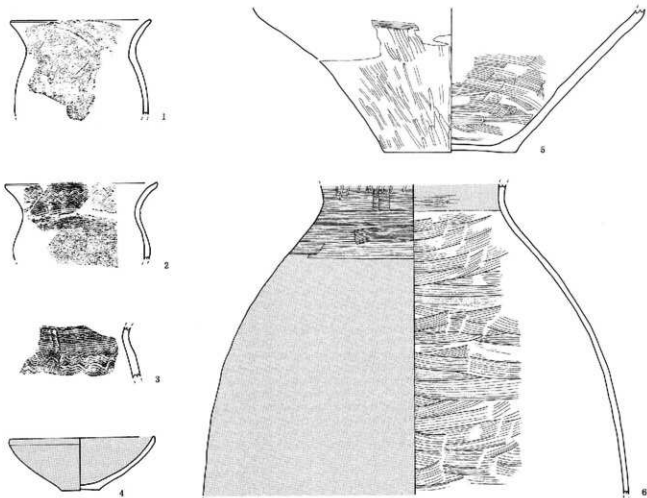
H 6号住居址遺物観察表

H 7号住居址

遺構は調査区南西のN-カ-3グリッドに位置し、南側は調査区域外となる。調査規模は南北3.0m、東西3.9m、検出面から床面までの深さ20cm、表土からの深さ44cmを測る。平面形態は調査範囲から、やや角のとれた方形又は長方形と考えられる。床面には硬質面が存在し、ピット5個が確認でき、北・東壁の一部に浅い壁溝が掘り込まれている。主柱穴はP1・2で、平面形態は東西に長軸を持つ楕円形を呈している。P4は位置的に棟持柱の可能性が考えられる。炉はP1・2の間で確認できた。炉には上部の大半を欠損した大型の壺周辺の破片を、床面に掘り込んだ窪みに重ねるように埋設し、直下に扁平楕円形の河原石2個が重ねられ、壺南側には炉緑石が据え置かれていた。壺内部の覆土には焼土・灰を含む暗褐色土が堆積していた。

床面上での調査終了後、床面の除去作業を実施した結果、本住居址直下に、一回り小型の住居址床面及び付随するピット・炉が確認できた。調査規模は壁高5cm内外の段差から南北2.0m、東西3.2mが計測できた。ピットは3個確認でき、P5・6が主柱穴である。上層住居址のやや内側に掘り込まれ、平面形態は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈する。炉はP5の南側50cmに設置され、掘り込まれた径30cm、深さ12cmの窪み周囲に土器片が貼り付けられていた。また、P5・6の中間のやや南側床面上に焼け込みによる焼土が確認できた。

本住居址は下層で発見された住居址と同一個所に、規模を拡大した住居址が拡張または新たに建築されたと考えられる。



H7号住居址遺物実測図

番号	物種	形状	寸法cm	底径cm	高さcm	遺物・文様	発出中・部位	備考
1	焼土土器	壺	[24.6]	—	(10.1)	外面縞線状文 内面口縁横ミガキ 胴部縦ミガキ	口縁・胴部横穴	外底2.5YR5.6明赤褐色 口縁上
2	焼土土器	壺	[16]	—	(8.2)	外面口縁横線状文 胴部縞線状文 胴部縦面内面横ミガキ	口縁・胴部横穴	外底5YR5.6/1.25明赤色 口縁上縁
3	焼土土器	壺	—	—	(5.1)	外面縞線状文 胴部縞線状文 内面ナデ	胴部横穴	外底5YR5.6/1.25明赤色 7層色の伊土
4	焼土土器	鉢	15.2	4	5.6	内外面赤色塗彩	底	外底10R3.6/0.5赤色 口縁上
5	赤土土器	壺	—	13.8	(15.4)	外面ミガキ 内面ハケ目	底部・胴部	外底7.5YR5.6/0.5赤色 口縁上
6	赤土土器	壺	—	—	(22.5)	外面赤色塗彩 胴部縞線状文・口縁横線文 内面ハケ目	胴部・胴部	外底2.5YR5.6/0.5明赤色 口縁上

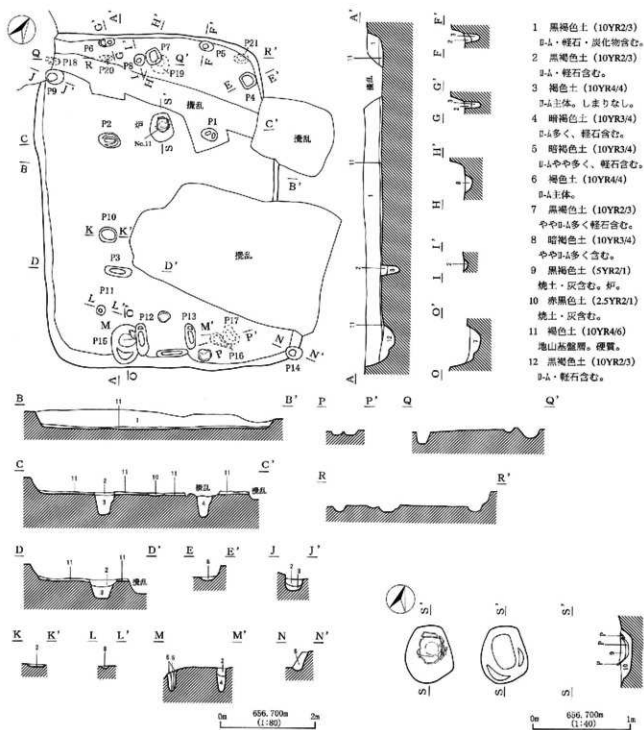
H7号住居址遺物観察表

H8号住居址

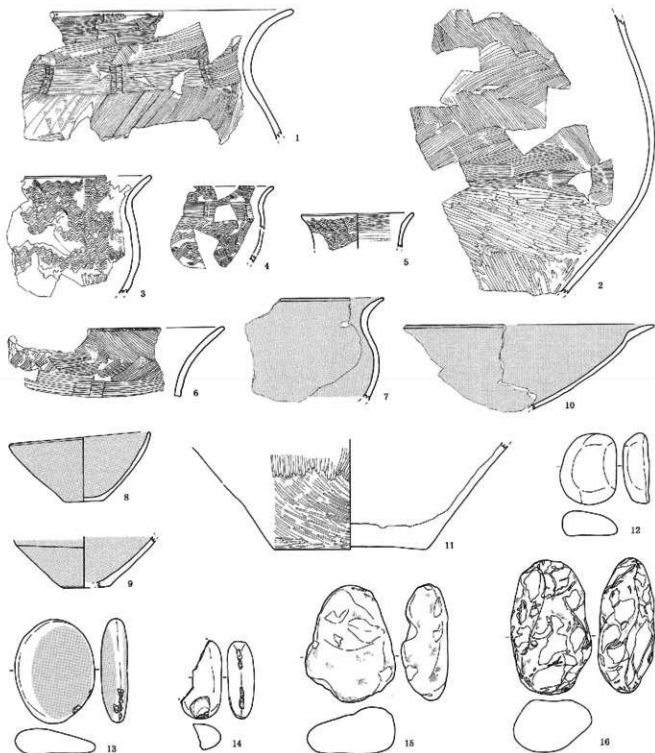
遺構は調査区N-エ-2グリッドに位置し、部分的に大きく近年の掘削に破壊されている。規模は南北6.8m、東西4.8m、確認面から床面までの深さは最大36cmを測る。平面形態は、南北方向に長軸を持つ、やや隅丸の長方形である。床面には貼床と思われる薄い硬質層が一面に存在し、直下は板状に剥離する軟質岩盤層となる。ピットは床面と思われる硬質層上面で15個確認できた。P1・2・3が主柱穴で平面形態は東西方向に長軸を持つ楕円形を呈する。平面形態が南北方向に長軸を持つ楕円形を呈する南壁際のP12・13は入り口に、P12脇の円形ピットは貯蔵に関すると考えられる。炉は主柱穴である北側のP1・2の中間に位置する。炉には上部の大半を欠損した大型の壺底部を、床に掘り込んだ窠みに埋設していた。壺と窠み底部との隙間には焼土・灰を主体とした赤黒色土が堆積し、炉の掘方である窠み側面壁の一部に焼け込みが認められた。住居址掘方確認のため、薄い硬質層を除去した結果、床面と堀方との間に明確な埋土は認められなかった。堀方を平らにする程度で土間状の床として利用していたと考えられる。

遺物は弥生土器の甕・甕・高坏・鉢、敲石、すり石が出土した。甕は外面赤色塗彩の破片が多数を占め、上部を欠損した底部は埋設炉に転用されている。甕は外面櫛描斜線文を羽状に配し頸部に櫛描簾状文を施すものと、外面櫛描波状文のみを施すもの、外面櫛描波状文及び頸部櫛描簾状文を施す小型品が存在する。高坏は破片資料で、坏部口縁は大きく外に開く鐮状口縁で内外面赤色塗彩を施す。鉢は平らな底部から逆ハの字状に開き口縁付近で僅かに内湾し、内外面赤色塗彩を施す。

本住居址は、赤色塗彩された甕・鉢、外面櫛描波状文と櫛描簾状文を組み合わせた甕の施工方法から弥生時代後期と考えられ、土器は箱清水式としたい。



H 8号住居址実測図



H 8 号住居址遺物実測図

番号	器種	形状	口径cm	底径cm	高さcm	調査・文様	出土層・部位	備考
1	粘土器	片	—	—	(13.3)	口縁部埋片、外周口母線部不縁、縁部斜線文、胴部斜線文 窪凹部斜線文 内面口縁部ミガキ 取部ナシ	口縁—胴部埋片	外周SYK7/40褐色 1区、2区出土
2	粘土器	片	—	—	(29.2)	胴部外面斜線斜線文による凹状文 胴下部斜め・面ミガキ 内面ナシ	胴部埋片	外周SYK7/42.6A褐色 1・2区出土
3	粘土器	片	—	—	(12.5)	外周部窪凹状文 胴下部埋ミガキ 表面一部窪凹埋片 内面ナシ	口縁—胴部埋片	外周SYK7/41.2A褐色 1区出土
4	粘土器	片	—	—	—	外周部窪凹状文 胴部斜線文 内面ナシ、ミガキ	口縁—胴部埋片	外周SYK7/41.2A褐色 2区出土
5	粘土器	片	(11.7)	—	(3.7)	外周部窪凹状文 内面埋ミガキ	口縁埋片	外周SYK7/41.2A褐色 2区出土

H 8 号住居址遺物観察表 (1)

番号	器種	形状	口径mm	底径mm	器高mm	調査・文相	発見層・部位	備考
6	赤土器	罍	—	—	73.0	口縁部目 口縁部透孔縁文 胎部刺透蓋状文 内面十字	口縁部片	外周7.5YR6-6褐色 胎・底土器上
7	赤土器	甕鉢	—	—	111	内外赤色塗彩	14層~16層破片	外周2.5YR5-5中赤褐色 土器上
8	赤土器	鉢	14.8	4.1	9.3	内外赤色塗彩	8層	外周2.5YR4-4赤褐色 裏土器上
9	赤土器	鉢	—	5.2	7.0	内外赤色塗彩	35	外周2.5YR5-5赤褐色 裏土器上
10	赤土器	器	—	—	110	内外赤色塗彩 縁状1線	14層14層破片	外周10YR5-5赤色 裏土器上
11	赤土器	甕	—	16.2	111	外周黒と赤ややや摩耗 内面刺透蓋文	底層~17層落	外周2.5YR8-4或赤褐色 中層土
番号	器種	形状	最大径(mm)	最大径(mm)	最大厚(mm)	調査・文相	数量(片)	備考
12	石器	すり石	7.5	5.8	2.7	全体に磨らさ	16606	B区土上
13	石器	すり石	11	8.4	2.7	正面にすり面 側面に縁打痕	31275	B区土上
14	石器	磨石	6.2	4.2	2.6	先端に縁打痕 片葉欠損	110419	B区土上
15	石器	研石(すり石)	12.3	9.4	4.8	全体にすり面あり	17836	B区土上
16	灰石	—	14.2	8.4	3.5	暗赤色に白色の面より高域に散入する灰石	89616	B区土上

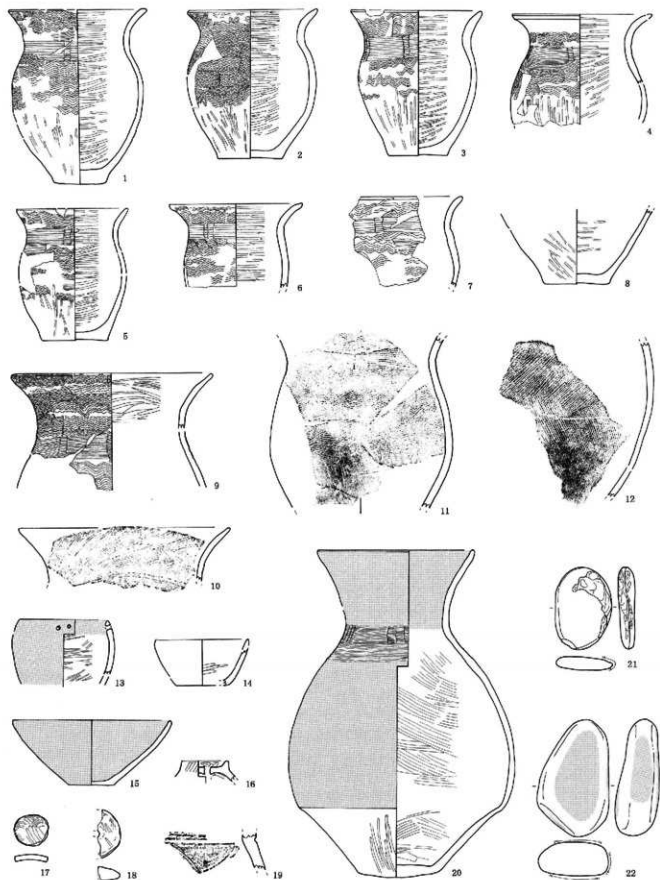
H 8号住居址遺物観察表(2)

H 9号住居址



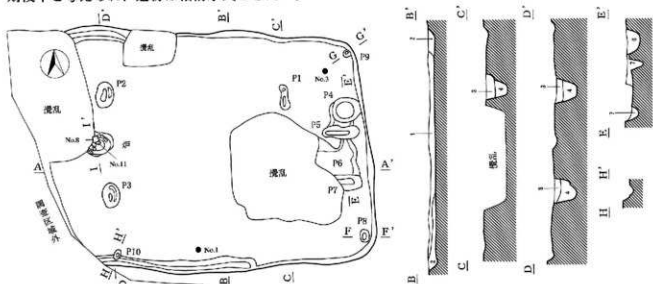
H 9号住居址実測図

遺構は調査区西のN-お-4グリッドに位置する。規模は南北5.4m、東西4.0m、確認面から床面までの深さは20cmを測る。平面形態は隅丸で南北方向に長軸を持つ長方形である。床面には貼床と思われる薄い硬質層一面に存在し、直下は板状に剝離する軟質な岩盤となる。ピットは床面上で15個確認できた。主柱穴はP1~4である。平面形態は東西方向に長軸を持つ楕円形で、深さはいずれも50cm内外を測る。P11・12・13・15は壁柱穴、P8・9は入口に関係するピットと考えられる。ピットは全て岩盤層に掘り込まれている。炉はP1・2の中間からやや北に寄った位置で確認された。炉には、床面から掘り込まれた窪みの側面及び底面に土器片が貼りつけられ、炉の南脇に

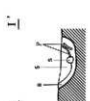
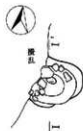
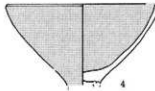
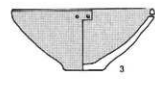
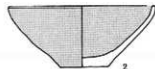
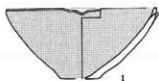


H 9 号住居址遺物実測図

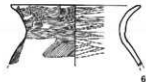
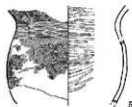
内湾する。内外面には赤色塗彩を施し、口縁部に2個の穿孔を持つものが認められる。甌は口縁に片口を有する鉢に焼成後底部穿孔を施した転用甌と考えられる。高坏は坏部の破損品で、内外面赤色塗彩された深みのある形状で口縁部は内湾気味である。本住居址の時期は開き気味の鉢から弥生時代後期後半と考えられ、遺物は箱清水式としたい。



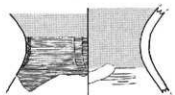
0m 656.600m (1:80) 0m



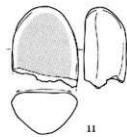
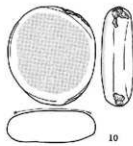
0m 656.600m (1:80) 0m



- 1 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・軽石・炭化物含む。
- 2 暗褐色土 (10YR3/3) 砂・軽石・炭化物含む。
- 3 黒褐色土 (10YR2/3) 砂・軽石含む。
- 4 褐色土 (10YR4/4) 砂主体。しまりなし。
- 5 黒褐色土 (5YR2/1) 灰・黄土含む。
- 6 黒褐色土 (10YR2/2) 砂・軽石含む。
- 7 暗褐色土 (10YR3/3) 砂多い。軽石含む。
- 8 黒褐色土 (5YR2/2) 灰土・灰含む。



H10号住居址遺構・遺物実測図



H10号住居址遺物実測図

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調査・文様	現在所・部位	備考	
1	弥生土器	鉢	15.9	4.2	7.4	内外赤色塗彩 底部中央に径1.0cmの穿孔あり 口縁に黒色片口跡から転用痕あり	90	内外面3YR5-4暗赤色 赤区なし	
2	弥生土器	鉢	15.4	5	6.4	内外赤色塗彩 口縁部黒色区あり	85	内外面3YR5-4暗赤色 赤区なし	
3	弥生土器	鉢	14.6	5.3	6.5	内外赤色塗彩 中央部 口縁部に黒色片口跡あり	90	内外面3YR5-2に濃い赤褐色色 赤区なし	
4	弥生土器	高坏	[16]	—	08.6	胴部欠品 内外赤色塗彩	57部25	内外面3YR5-2に濃い赤褐色色 赤区なし	
5	弥生土器	壺	—	—	10.4	外周口縁・胴上部縞線状文 底部縞線状文	内面残ミダキ	30	外周3YR4-3に濃い赤褐色色 赤区なし
6	弥生土器	壺	13.6	—	06.0	外周口縁部縞線文 胴部縞線状文 底部縞線状文	内面残ミダキ	口縁・胴上部残片・裏面残	外周3YR6-6暗赤色 赤区なし
7	弥生土器	壺	—	—	09	外周口縁部赤色塗彩 表面摩耗著しい 底部縞線状文	内面口縁から縞線赤色塗彩 赤区残著しい	胴部残片	外周3YR7-4に濃い赤褐色色 赤区なし
8	弥生土器	壺	—	—	08.0	内外赤色塗彩 底部縞線状文	内面ミダキ	胴部・胴部残片	外周3YR4-6赤褐色色 赤区なし
番号	器種	器形	最大径(cm)	最大高(cm)	最大厚(cm)	調査・文様	重量(g)	備考	
9	石器	鏡石	17	5.9	4.6	丸形部に数打痕	408.8	赤区なし	
10	石器	すり鉢石	16.4	9.3	3.3	表面にすり面 下部縁部に線行痕	523.8	赤区なし	
11	石器	すり石	08.0	07	0.0	底部欠損 すり面あり	348.6	赤区なし	

H10号住居址遺物観察表

第2節 溝跡

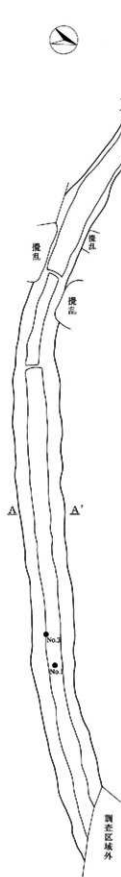
遺構は調査区北のO-あ-10からN-え-7グリッドにかけて確認された。調査規模は長さ33m、検出面上での幅1.6m～2.2m、底幅40cm～90cmを測る。掘り込み形態はやや角度のついたすり鉢状を呈する。溝の下層付近からは弥生土器が数多く出土した。

遺物は弥生土器の壺・甕・鉢・高坏が出土した。壺は口縁部の内外面に赤色塗彩された単純口縁及び3段の縞線状文を持つ頸部破片が認められた。また、底部から大きく開く皿状の形状となった壺の底部も存在する。壺の破損品を鉢として転用していた可能性も窺える。甕は小型で外面縞線状文に頸部縞線状文を施す。鉢は内外面赤色塗彩を施し、口縁内湾気味である。

本溝跡は出土した鉢がH7号出土の鉢と形状が同一であること及び他の出土遺物の特徴が住居址出土の遺物と同一であることから、周辺に存在する住居址と同時期に存在していたと考えられ、弥生時代後期後半としたい。

番号	器種	器形	口径cm	底径cm	器高cm	調査・文様	現在所・部位	備考
1	弥生土器	鉢	15.6	4.6	6.3	内外赤色塗彩	90	内外面3YR5-6赤褐色色 赤区なし
2	弥生土器	鉢	[16]	—	6.5	内外赤色塗彩	口縁部残片	内外面3YR5-6赤褐色色
3	弥生土器	壺	—	9.4	(5.7)	外周縞線赤色塗彩 胴下部縞ミダキ 内面ヘラナジ 底部縞線として使用か	底部一部残片	外周3YR7-2に濃い褐色色
4	弥生土器	壺	[25]	—	08.0	口縁内外赤色塗彩 表面摩耗著しい	胴部残片	外周3YR7-4に濃い褐色色
5	弥生土器	壺	—	—	10.2	胴部に2段の縞線状文	胴部残片	外周3YR7-2に濃い褐色色
6	弥生土器	壺	—	7.6	(4.1)	内外赤ミダキ	底部一部残片	外周3YR5-2に濃い褐色色
7	弥生土器	高坏	—	—	06.0	外周赤色塗彩	胴部残片	外周3YR5-6暗赤褐色色 赤区なし
8	弥生土器	壺	14.2	—	(0.7)	外周口縁・胴上部縞線状文 底部縞線状文	内面残ミダキ	口縁一部なし
9	弥生土器	鉢	[10]	4.7	8.5	内外赤色塗彩 口縁部に穿孔1・片11ヶ所あり 内面赤色塗彩の痕跡あり	30	外周3YR5-6暗赤褐色色

M1号溝跡遺物観察表

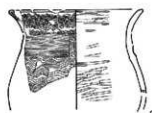
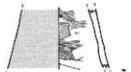
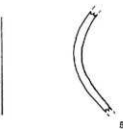
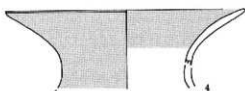
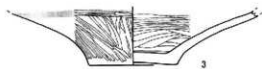


調査区域外



0m 50m 100m
(1:160)

- 1 暗褐色土 (10YR3/4) 3-4と暗褐色土の混合土。軽石含む。
- 2 濃い黄褐色土 (10YR5/3) 5-4と暗褐色土の混合土。軽石含む。D-4や多い。
- 3 黄褐色土 (10YR5/6) D-4主体。
- 4 黒褐色土 (10YR2/3) D-4・軽石含む。
- 5 黄褐色土 (2.5Y5/4) D-4主体。
- 6 黒褐色土 (10YR2/3) 3-4・軽石含む。
- 7 暗赤褐色土 (2.5Y4/3) 暗褐色土と3-4の混合土。軽石含む。
- 8 暗赤褐色土 (2.5Y3/3) 暗褐色土と3-4の混合土。軽石含む。
- 9 黒褐色土 (10YR2/3) 5-4・軽石少量含む。
- 10 黒褐色土 (10YR3/1) 5-4・軽石少量含む。
- 11 黒色土 (2.5Y2/1) 3-4・軽石少量含む。
- 12 暗赤褐色土 (2.5Y3/3) D-4やや多く含む。



M1号溝跡遺構・遺物実測図

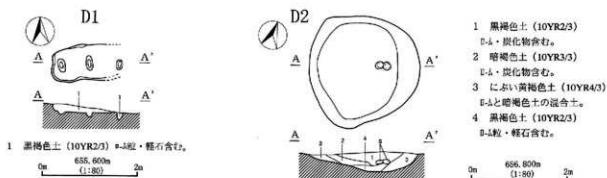
第3節 土坑

D1号土坑

遺構は調査区東のOーウー4グリッド、東方向への緩やかな傾斜地に位置する。東壁周辺部は削り取られている。調査規模は南北70cm、東西1.5m、確認面から底までの深さは最大20cmを測る。平面形態は、やや不整の長方形である。底に楕円形のピットが3個掘り込まれていた。

D2号土坑

遺構は調査区Oーウー10グリッドに位置し、H4を切る。規模は直径2.2m内外を測る円形で、深さは最大40cmを測る。性格は不明である。



D1・2号土坑実測図

まとめ

今回調査を実施した猫田遺跡群井戸尻遺跡及び熊の堂遺跡は千曲川右岸に形成された河岸段丘上の遺跡である。第1段丘に位置する井戸尻遺跡からは縄文時代から中世の遺物及び中世の遺構が発見された。縄文時代では段丘中央付近(B区)の中近世生活面下層に存在する黒色土の堆積した低地帯から中期・後期の土器片が出土した。調査区北の微高地で調査が行われた海戸田A遺跡から同時期の集落が発見されている。弥生時代は、台地西寄りのおよそ南北方向に堆積した黒色帯中から弥生時代後期から古墳時代初頭と考えられる土器が比較的まとまって出土した。南の台地端部に所在する大ふけ遺跡から同時期の墓跡である周溝墓が発見されており、関連性が窺われる。また、後述するが、東側の第2段丘上で発見された熊の堂遺跡から後期の集落が整然とした配列で発見されているのも興味深い。古墳・奈良・平安時代は中世面直下の低地から土師器・須恵器が出土しているが遺構は確認されなかった。中世以降になると住居と考えられる堅穴状遺構、墓跡と思われる土坑が確認され、集落が形成されていたことが確認できた。周辺からは11～16世紀の陶磁器が出土し、墓跡と思われる土坑からは中世の輸入銭が出土した。

熊の堂遺跡は猫田遺跡群井戸尻遺跡の一段上(比高差19m)の第2河岸段丘端部に形成された南北方向に細長い微高地に位置し、弥生時代の集落跡が発見された。検出された住居址は10軒、溝跡1条等である。うち南北方向に長軸を持つ住居址は9軒で、溝の南側に整然と並ぶ状態で構築されていた。唯一、東西方向に長軸を持つ住居址H10は溝の北側から確認された。南側の住居址が同一方向の長軸を持ち、整然と並ぶのに対し、溝の北側に存在する1軒だけ長軸が異なる理由が、地形の制約によるものか、溝を境に異なる集落形態が存在するのか、疑問が生じるところである。現状では調査範囲も僅かで、特に北に隣接する地域では不明な点が多ことから、今後、周辺地域における更なる発掘調査に期待したい。



猪田道跡群井戸尻道跡A区全景（西から）



猪田道跡群井戸尻道跡B区全景（南西から）



彌田遺跡群井戸尻遺跡B区全景（北西から）



彌田遺跡群井戸尻遺跡B区全景（東から）



猫田遺跡群井戸尻遺跡C区全景（西から）



猫田遺跡群井戸尻遺跡C区全景（北東から）



井戸尻遺跡A区表土除去作業（東から）



井戸尻遺跡B区表土除去作業（西から）



井戸尻遺跡C区表土除去作業（西から）



井戸尻遺跡駐車場造成・ハウス設置状況



井戸尻遺跡A区調査風景（西から）



井戸尻遺跡B区調査風景（北西から）



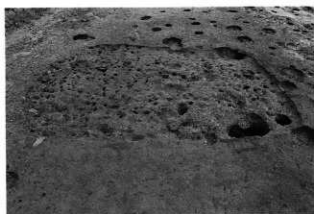
井戸尻遺跡B区調査風景（北西から）



井戸尻遺跡B区調査風景（北西から）



B区 Ta1号壑穴状遺構全景 (西から)



B区 Ta1号壑穴状遺構掘方全景 (南から)



B区 Ta2号壑穴状遺構全景 (北から)



B区 Ta2号壑穴状遺構炭化物出土状況



B区 M1・2号溝跡全景 (南から)



B区 M3・4号溝跡北側状況 (北西から)



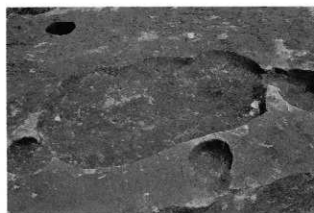
B区 M3・4号溝跡全景 (南東から)



B区 石筈出土状況



B区 黒色土掘り下げ状況



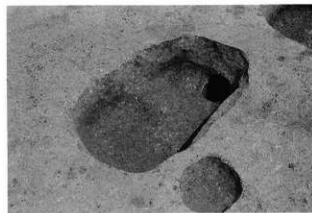
B区 D1号土坑全景(南西から)



B区 D2号土坑全景(南西から)



B区 D3号土坑全景(西から)



B区 D4号土坑全景(南から)



B区 D5号土坑全景(南から)



B区 D6号土坑全景(東から)



C区 H1号住居址全景 (南から)



C区 Ta1号竪穴状遺構全景 (南から)



C区 Ta2号竪穴状遺構全景 (南から)



C区 Ta3号竪穴状遺構全景 (南から)



C区 Ta4号竪穴状遺構全景 (西から)



C区 M1号溝跡全景 (西から)



C区 Ta5号竪穴状遺構全景 (南西から)



C区 M2号溝跡全景(西から)



C区 D1号土坑全景(北から)



C区 D2号土坑全景(西から)



C区 D3号土坑全景(北から)



C区 D4号土坑全景(北から)



C区 D5号土坑全景(北から)



C区 D6号土坑全景(北から)



C区 D7号土坑全景 (東から)



C区 D8号土坑全景 (北から)



C区 D9号土坑全景 (東から)



C区 D9号古銭出土状況



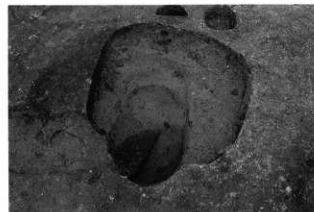
C区 D10号土坑全景 (北から)



C区 D11号土坑全景 (北から)



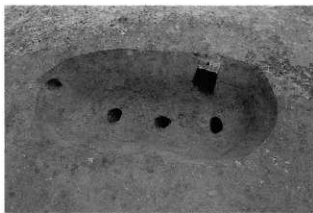
C区 D12号土坑全景 (東から)



C区 D13号土坑全景 (南東から)



C区 D14号土坑全景（西から）



C区 D15号土坑全景（西から）



C区 D15号土坑底部ピット検出状況



C区 D16号土坑全景（北から）



C区 D16号土坑底部ピット検出状況



C区 D17号土坑全景（北から）



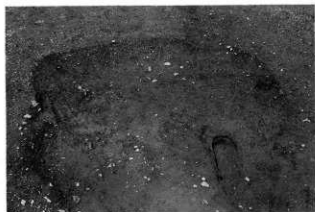
C区 D18号土坑全景（東から）



C区 D19号土坑全景（北から）



C区 D20号土坑全景 (南から)



C区 D21号土坑全景 (東から)



C区 D22号土坑全景 (南から)



C区 D23号土坑全景 (東から)



C区 D24号土坑全景 (北から)



C区 D25号土坑全景 (北から)



C区 D26号土坑全景 (東から)



C区 D27号土坑全景 (東から)



C区 D28-29号土坑全景(北から)



C区 D30号土坑全景(北から)



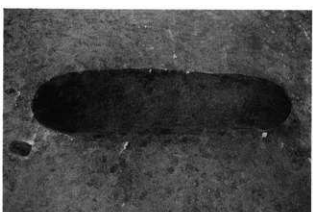
C区 D31号土坑全景(北から)



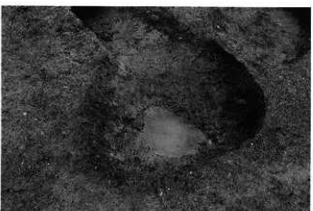
C区 D32号土坑全景(北から)



C区 D33号土坑全景(東から)



C区 D34号土坑全景(北から)



C区 D35号土坑全景(北から)



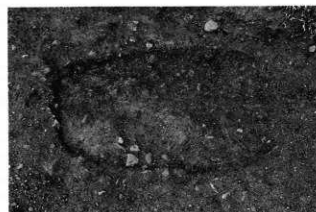
C区 D36号土坑全景(北から)



C区 D37号土坑全景(東から)



C区 D38号土坑全景(西から)



C区 D39号土坑全景(南から)



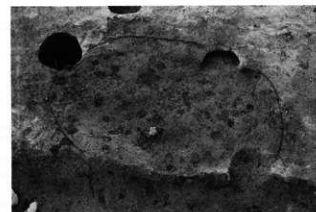
C区 D40号土坑全景(北から)



C区 D41号土坑全景(東から)



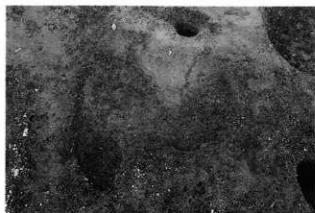
C区 D42号土坑全景(北から)



C区 D43号土坑全景(東から)



C区 D44号土坑全景(南から)



C区 D45号土坑全景（北から）



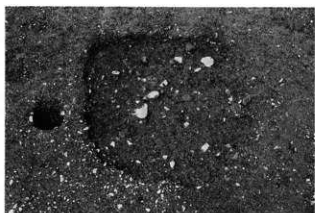
C区 D48号土坑全景（南から）



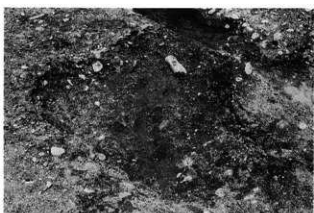
C区 D49号土坑全景（北から）



C区 D50・51号土坑全景（南から）



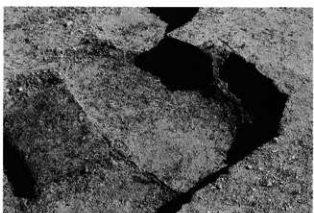
C区 D52号土坑全景（東から）



C区 D53号土坑全景（西から）



C区 D54号土坑全景（北から）



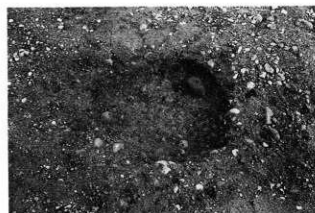
C区 D55号土坑全景（北東から）



C区 D56・58・69～71号土坑全景（北から）



C区 D56号土坑全景（北から）



C区 D59号土坑全景（南から）



C区 D60号土坑全景（南から）



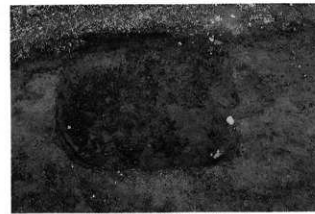
C区 D62号土坑全景（北から）



C区 D63号土坑全景（西から）



C区 D64・65・66号土坑全景（西から）



C区 D67号土坑全景（北から）



C区 D68号土坑全景(東から)



C区 D69号土坑全景(東から)



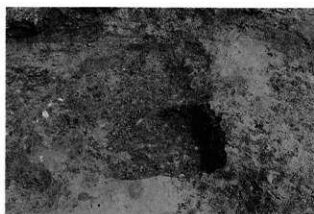
C区 D69号土坑遺物出土状況(1)



C区 D69号土坑遺物出土状況(2)



C区 D72号土坑全景(東から)



C区 D73号土坑全景(北から)



C区 D74・75・76・77号土坑全景(西から)



C区 D78号土坑全景(南から)



C区 D79号土坑全景 (東から)



C区 D81号土坑全景 (北東から)



C区 D82号土坑全景 (西から)



C区 D83号土坑全景 (東から)



C区 D84号土坑全景 (東から)



C区 D85号土坑全景 (東から)



C区 D86-87号土坑全景 (西から)



C区 D88号土坑全景 (南から)



C区 D89-90号土坑全景(東から)



C区 D91号土坑全景(北から)



C区 D93号土坑全景(東から)



C区 H1号住居址周辺(西から)



C区 Ta1-5号竪穴状遺構周辺(南東から)



C区 Ta1-5号竪穴状遺構周辺(西から)



C区 D74-76号土坑周辺(南西から)



C区 D87号土坑周辺(南から)



熊の堂遺跡全景（東から）



熊の堂遺跡表土除去作業（東から）



熊の堂遺跡表土除去後（西から）



熊の堂遺跡駐車場造成・ハウス設置状況



熊の堂遺跡基壇杭設定作業



熊の堂遺跡調査風景（東から）



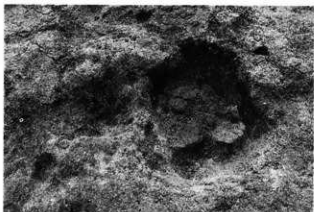
熊の堂遺跡東側包含層調査風景（西から）



H1号住居址全景（北から）



H1号住居址炉跡埋設土器



H1号住居址炉跡埋設土器除去後



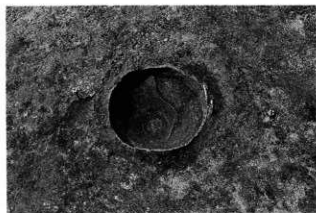
H1号住居址炉跡掘方



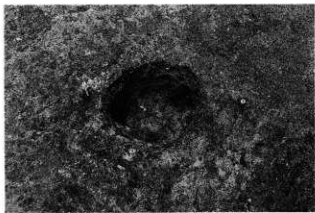
H2号住居址全景（東から）



H2号住居址南側入り口周辺ピット（東から）



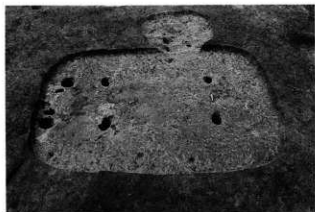
H 2号住居址跡埋設土器



H 2号住居址跡埋設土器除去後掘方



H 3号住居址全景 (南から)



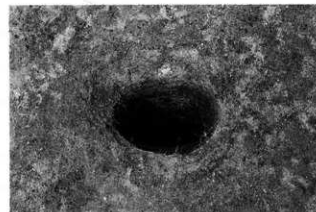
H 4号住居址全景 (東から)



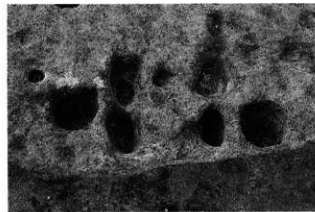
H 4号住居址跡・か緑石



H 4号住居址南側入り口周辺ピット



H 4号住居址P 2号主柱穴



H 4号住居址南側入り口周辺掘方



H5号住居址全景遺物あり(東から)



H5号住居址遺物出土状況(1)



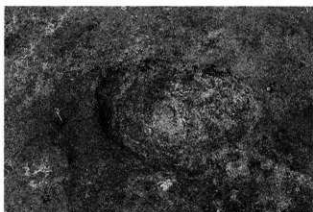
H5号住居址遺物出土状況(2)



H5号住居址全景遺物除去後(東から)



H5号住居址炉跡埋設土器・伊碌石



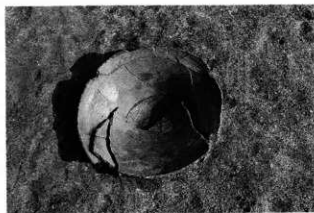
H5号住居址炉跡埋設土器・伊碌石除去後掘方



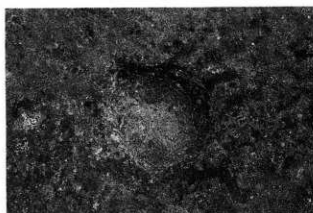
H5号住居址南側入り口周辺ピット



H6号住居址全景(北から)



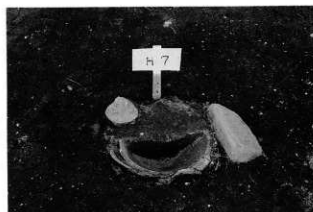
H 6号住居址炉跡埋設土器



H 6号住居址炉跡埋設土器除去後掘方



H 6号住居址床面除去状況（北から）



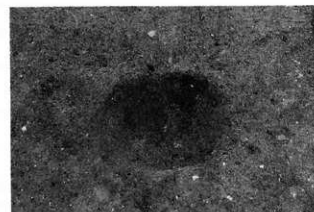
H 7号上層住居址炉跡埋設土器・弁・緑石



H 7号上層住居址炉跡埋設土器除去後（1）



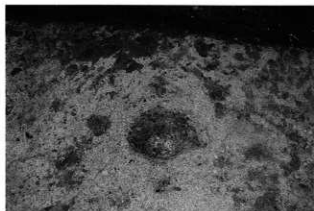
H 7号上層住居址炉跡埋設土器除去後（2）



H 7号上層住居址炉跡掘方



H 7号下層住居址全景（北から）



H 7号下層住居址炉跡



H 8号住居址全景(南から)



H 8号住居址炉跡埋設土器



H 8号住居址炉跡埋設土器除去後



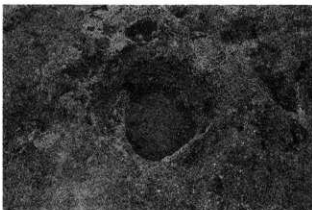
H 8号住居址南側入口周辺ピット



H 9号住居址全景(南から)



H 9号住居址炉跡石・土器片埋設状況



H 9号住居址炉跡土器片除去後掘方



H9号住居址P2号主柱穴



H9号住居址P12号壁柱穴



H10号住居址全景（東から）



H10号住居址炉跡土器片埋設状況



H10号住居址炉跡土器片除去後掘方



H10号住居址床面除去状況（南東から）



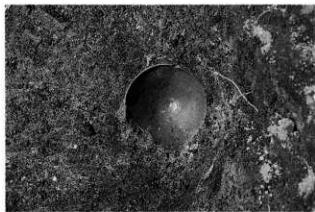
M1号溝跡全景（東から）



M1号溝跡全景（西から）



M1号溝跡遺物（弥生土器）出土状況（1）



M1号溝跡遺物（弥生土器）出土状況（2）



M1号溝跡土層断面状況（西から）



D1号土坑全景（南から）



D2号土坑全景（南から）



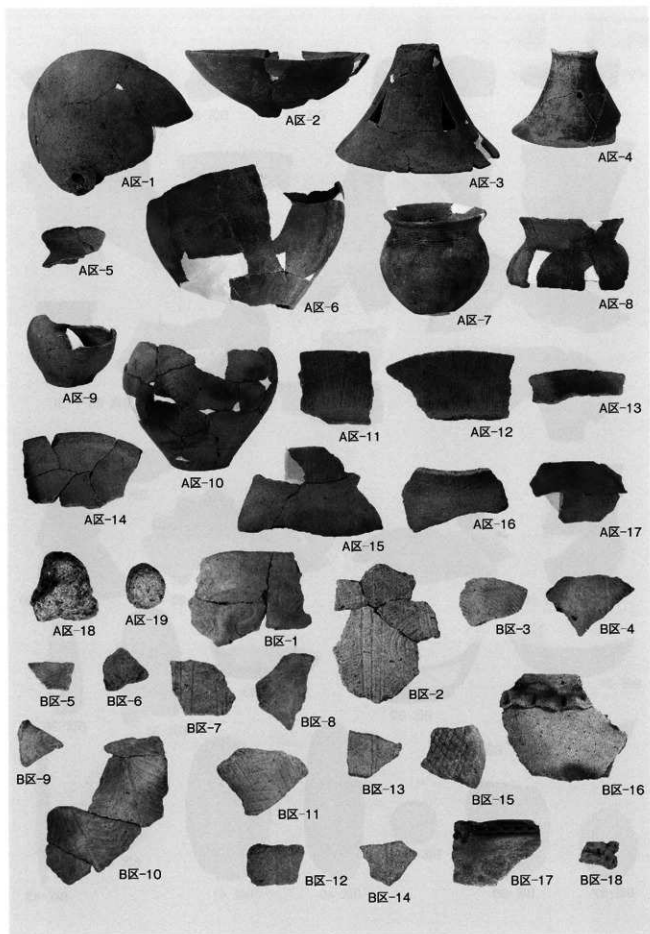
熊の堂遺跡東側包含層掘り下げ状況（西から）



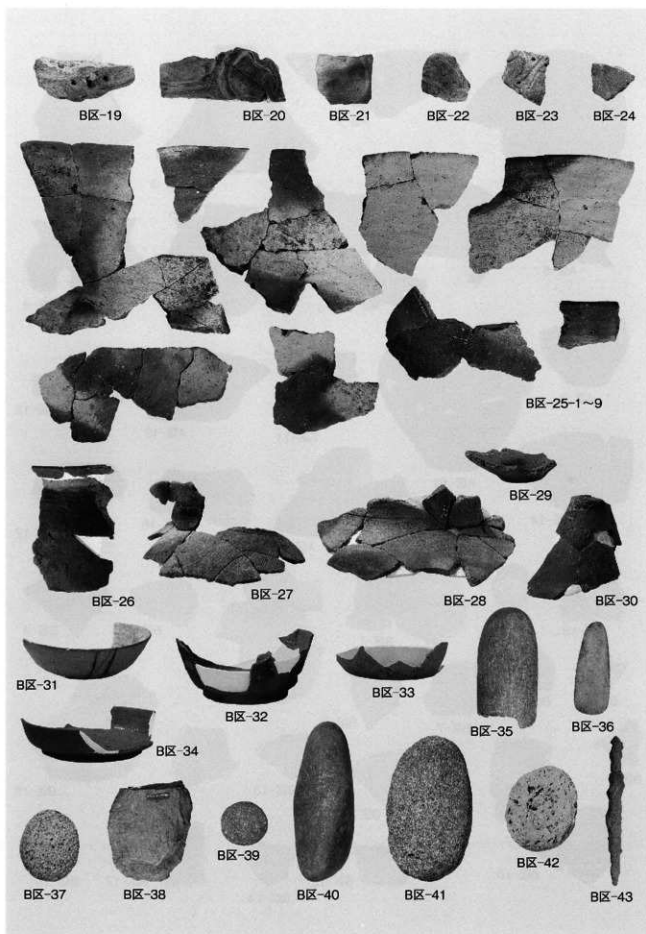
熊の堂遺跡東側調査地域埋め戻し状況（西から）



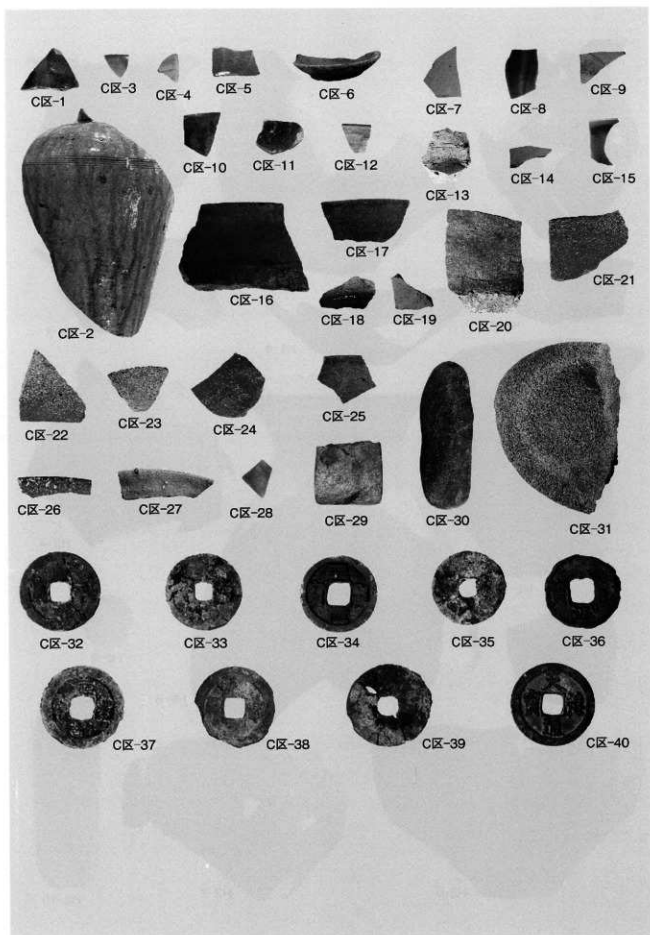
熊の堂遺跡西側調査地域埋め戻し状況（西から）



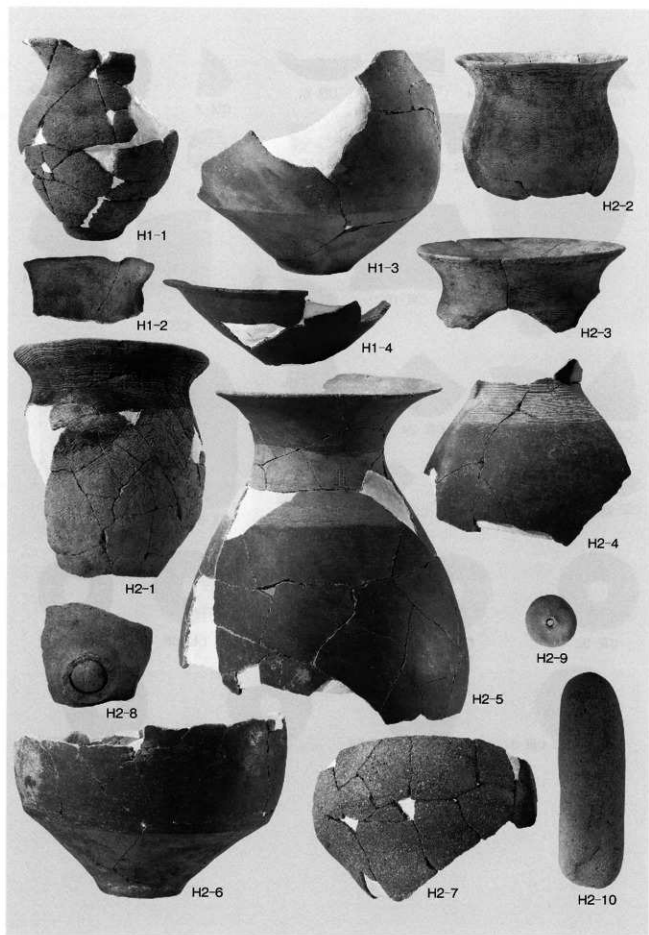
集田遺跡群 井戸尻遺跡A・B区出土遺物



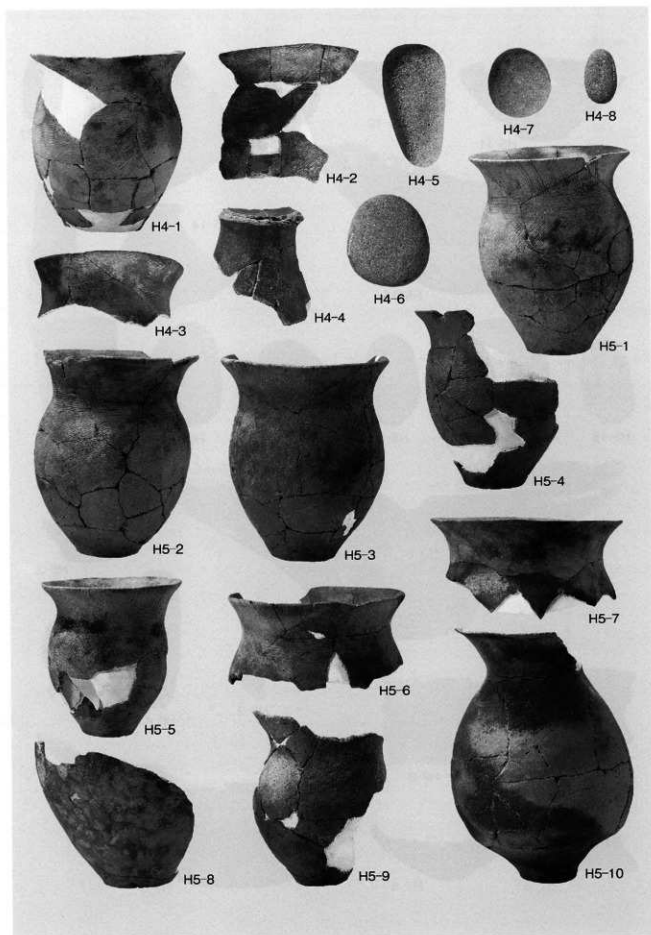
猫田道跡群 井戸尻遺跡B区出土遺物



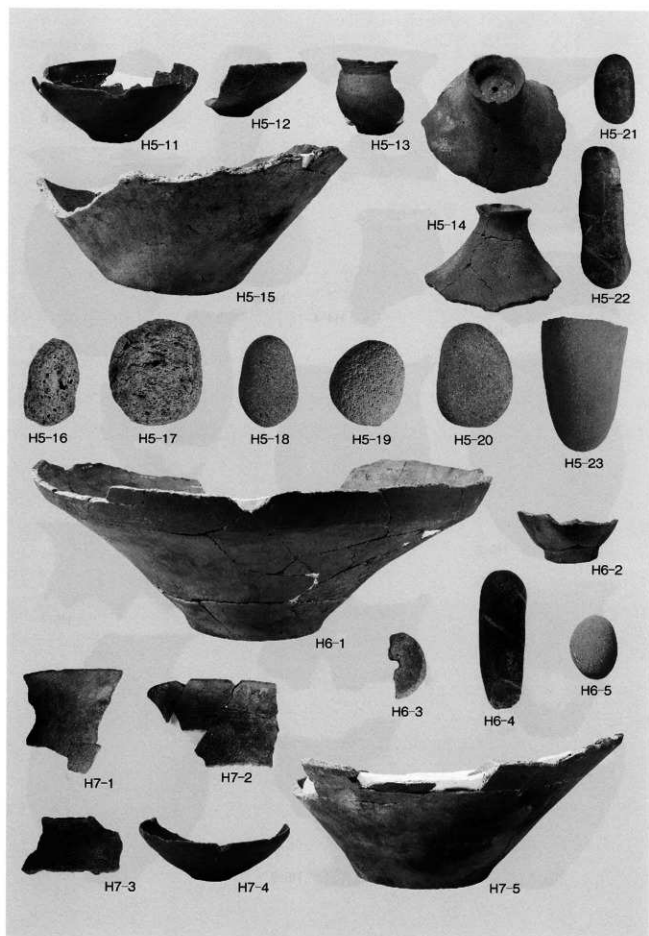
龜田遺跡群 井戸尻遺跡C区出土遺物



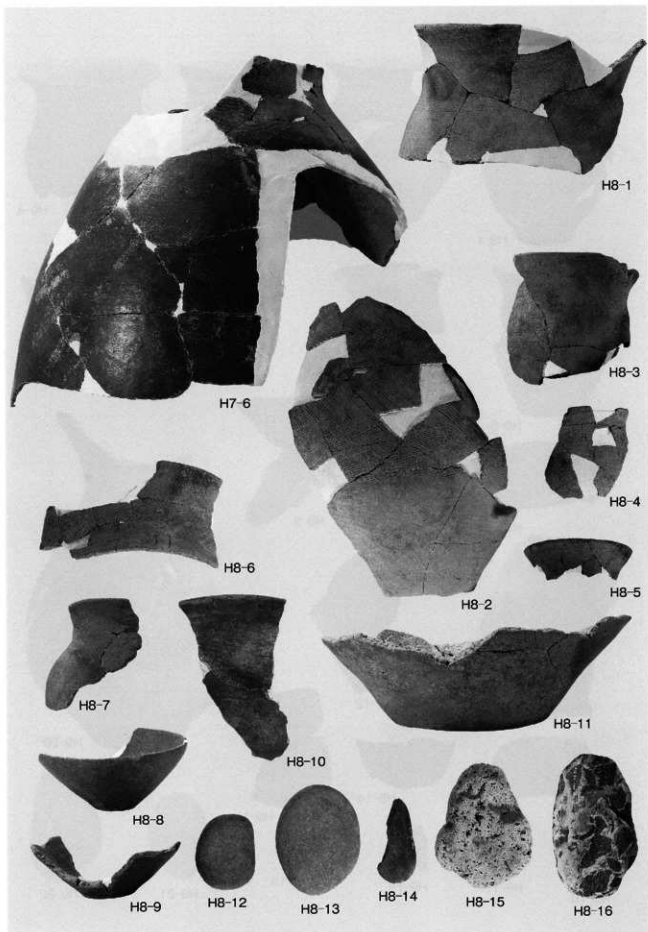
熊の堂遺跡H1・2号住居址出土遺物



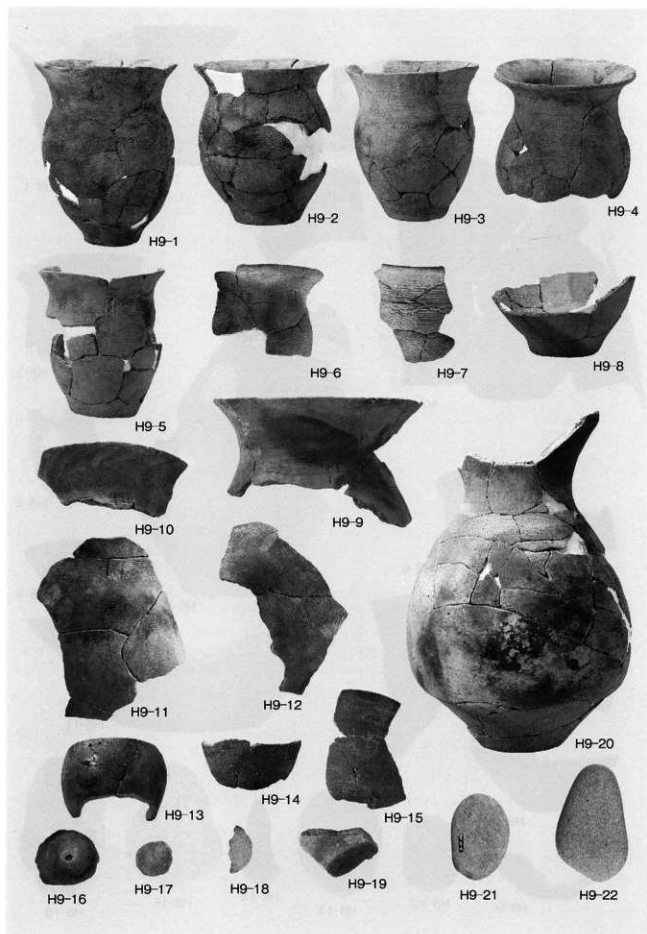
熊の堂遺跡H4・5号住居址出土遺物



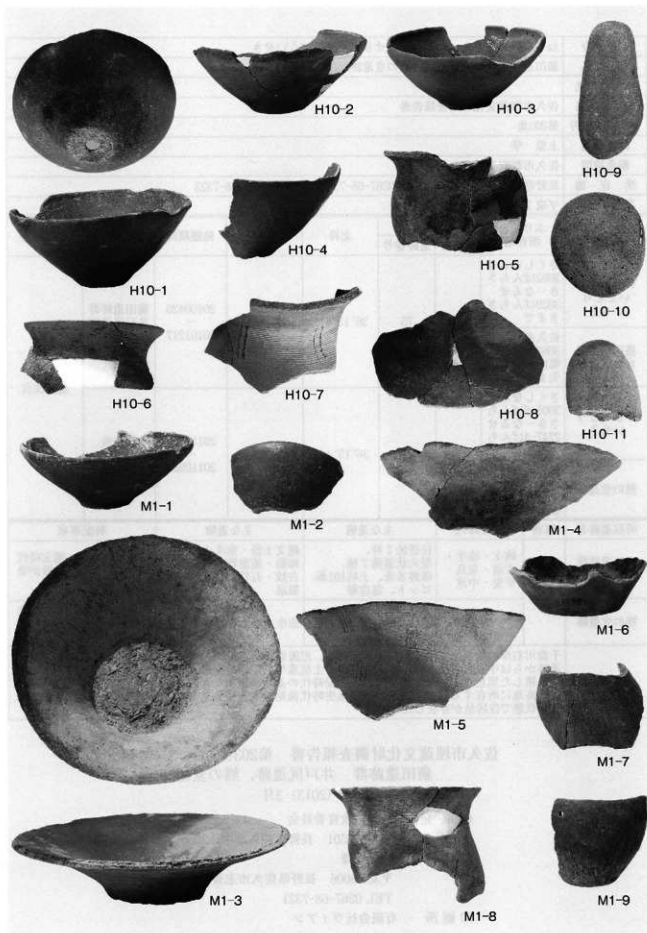
熊の堂遺跡II 5・6・7号住居址出土遺物



熊の堂遺跡H7・8号住居址出土遺物



熊の堂遺跡H9号住居址出土遺物



熊の家遺跡H10号住居址・M1号溝跡出土遺物

ふりがな	ねこたいせきぐん いどりいせき・くまのどういせき							
書名	猫田遺跡群 井戸尻遺跡・熊の堂遺跡							
副書名	—							
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第203集							
編者者名	上原 学							
編集機関	佐久市教育委員会文化財課							
所在地	長野県佐久市志賀5953 TEL 0267-68-7321 FAX 0267-68-7323							
発行年月日	平成 25年 (2013) 3月							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積㎡	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ねこた いせきぐん いどり いせき	さくしなるせ 3062ばんち さきーなるせ 3029ばんちさ きまで	20217	75	36°15'41"	138°25'18"	20100426 ～ 20101217	猫田遺跡群 井戸尻遺跡 4,955	道路改良
猫田遺跡群 井戸尻遺跡	佐久市鳴瀬 3062番地先～ 鳴瀬3029番地 先まで		78	36°15'44"	138°25'27"	20110801 ～ 20110922	熊の堂 遺跡 1,235	
くまのどう いせき	さくしなるせ 3005-6ばんち さきーなるせ 2747-4ばんち さきまで							
熊の堂遺跡	佐久市鳴瀬 3005-6番地先 ～鳴瀬2747-4 番地先まで							
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
猫田遺跡群 井戸尻遺跡	集落	縄文・弥生・ 古墳・奈良・ 平安・中世	住居址1軒、 竪穴状遺構7棟、 溝跡8条、土坑101基、 ピット、包含層		縄文土器・弥生土器・土 師器・須恵器・陶磁器・ 古銭・石器・石製品・鉄 製品		中世の集落跡・縄文時代 ～平安時代の包含層が発 見された。	
熊の堂遺跡		弥生	竪穴住居址10軒、 土坑2基、溝跡1条、 包含層		弥生土器・石器・土製品		東西方向に整然と並ぶ弥 生時代後期の集落及び溝 跡が発見された。	
要 約	千曲川右岸の段丘上に展開する遺跡である。氾濫源となる第一段丘上に位置する猫田遺跡群井戸尻遺跡からは中世と考えられる竪穴状遺構、土坑墓等、中世の生活痕が認められ、中世面下層の谷状に堆積した黒色土中からは縄文時代～平安時代の遺物が出た。また、一段上段の第二段丘端部の微高地に所在する熊の堂遺跡からは弥生時代後期の集落が発見され、一定の間隔を持ち、整然と並ぶ状態で住居址が存在した。							

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第203集

猫田遺跡群 井戸尻遺跡、熊の堂遺跡

平成25年 (2013) 3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市志賀5953

TEL 0267-68-7321

印刷所

有限会社ヴィアン

